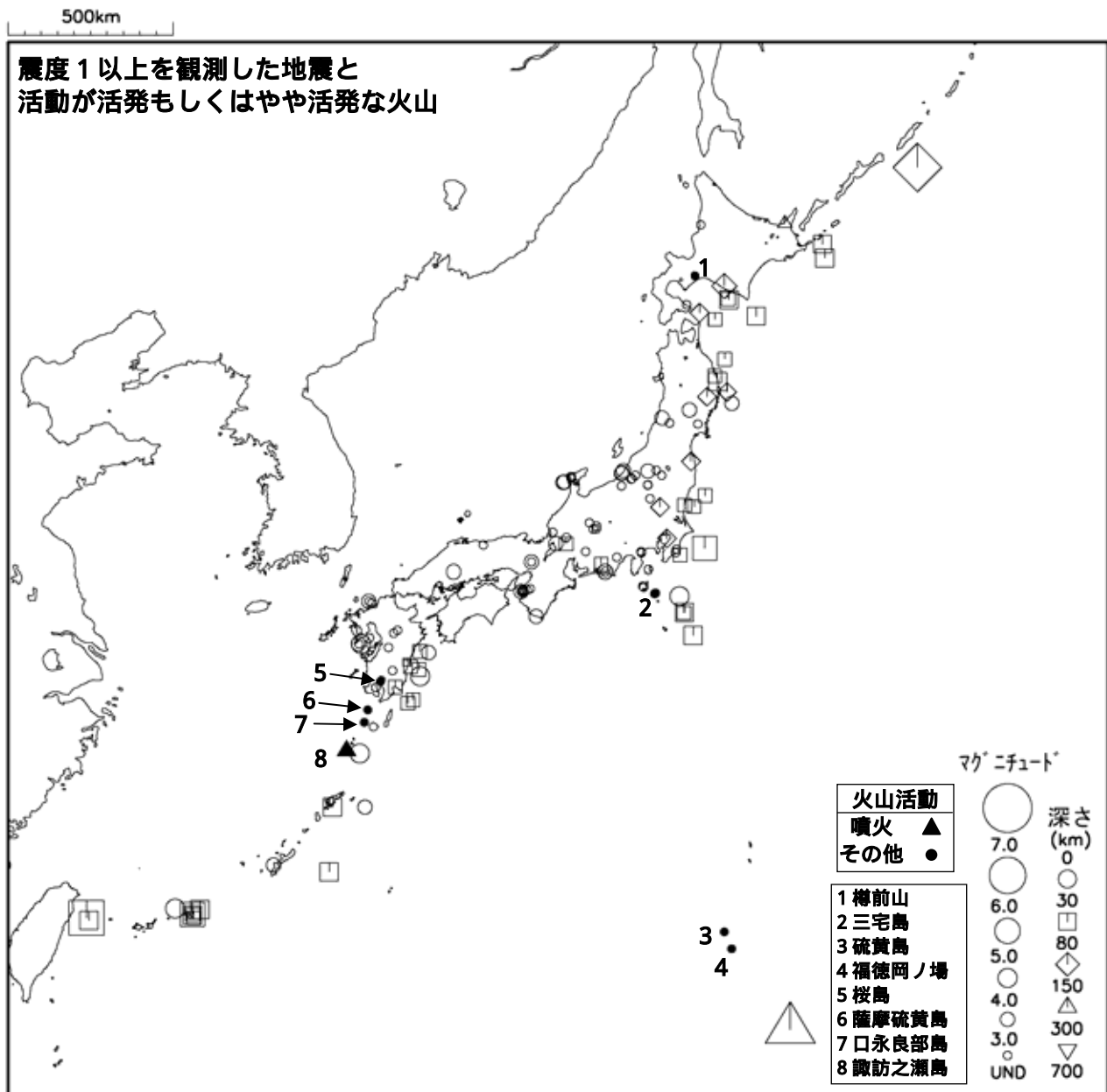


平成 19 年 9 月 地震・火山月報（防災編）

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

September 2007



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成 9 年 11 月 10 日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体及び独立行政法人防災科学技術研究所^注から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成 9 年 10 月 1 日より、大学や独立行政法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け^注、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

なお、地震・火山観測データの整理結果については、本編の姉妹編の「地震・火山月報（カタログ編）」に掲載している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注¹ 秋田県、埼玉県、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、山口県、横浜市（神奈川県）（以上 1 府 8 県、1 政令指定都市は平成 9 年 11 月 10 日から発表）、群馬県、福井県、静岡県、三重県、島根県及び愛媛県（以上 6 県は平成 10 年 6 月 15 日から発表）、青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、宮崎県及び鹿児島県（以上 1 府 11 県は平成 10 年 10 月 15 日から発表）、東京都、長野県（以上 1 都 1 県は平成 11 年 7 月 21 日から発表）、栃木県、千葉県、岐阜県、名古屋市（愛知県）（以上 3 県、1 政令指定都市は平成 12 年 1 月 12 日から発表）、滋賀県（平成 12 年 3 月 28 日から発表）、富山県、香川県、大分県（以上 3 県は平成 12 年 7 月 18 日から発表）、佐賀県（平成 13 年 3 月 22 日から発表）、山梨県、川崎市（神奈川県）（以上 1 県、1 政令指定都市は平成 13 年 5 月 10 日から発表）、高知県（平成 13 年 7 月 19 日から発表）、福島県（平成 13 年 12 月 12 日から発表）、岩手県、宮城県、神奈川県、福岡県、仙台市（宮城県）（以上 4 県、1 政令指定都市は平成 14 年 3 月 20 日から発表）北海道、長崎県（以上 1 道 1 県、平成 14 年 7 月 29 日から発表）、沖縄県（平成 15 年 3 月 10 日から発表）の 47 都道府県、4 政令指定都市と独立行政法人防災科学技術研究所（平成 16 年 5 月 26 日から発表）。

注² 平成 19 年 9 月末現在：独立行政法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人産業技術総合研究所、国土地理院、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所、横浜市及び独立行政法人海洋研究開発機構による地震観測データを利用している。また、富山・石川・岐阜・長野県を中心とする総合観測として、歪集中帯大学合同地震観測グループ（北海道大学・弘前大学・東北大学・千葉大学・東京大学地震研究所・名古屋大学・京都大学防災研究所・金沢大学・福井工業高専・九州大学・鹿児島大学）が行っている自然地震観測のデータを利用している。また、能登半島地震合同観測グループ（東京大学地震研究所、北海道大学、東北大学、名古屋大学、金沢大学、京都大学防災研究所、九州大学、鹿児島大学、防災科学技術研究所、産業技術総合研究所）が行っている自然地震観測のデータを利用している。このほか、2007 年新潟県中越沖地震緊急観測グループのデータを利用している。

本書利用上の注意

・震央分布図中の語句について

M：マグニチュード

Depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=XX：図中の地震数を表す（通常図の右肩上に示してある）

・発震機構解の図中の語句について

NP1：節面 1

NP2：節面 2

STR：走向（°：北から時計周り）

DIP：傾斜角（°：水平 0°、垂直 90°）

SLIP：すべり角（°：断層の走向から断層面に沿って反時計周り）

P：P 軸（圧力軸）

T：T 軸（張力軸）

N：N 軸（中立軸）

AZM：方位角（°：北から時計周り）

PLG：傾斜角（°：水平 0°、垂直 90°）

Mw：モーメントマグニチュード

Mo：地震モーメント（単位：Nm[ニュートン・メートル]）

・M - T 図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用するものを用いる。情報発表時と異なる震央地名を用いた場合は、「異なる震央地名[情報発表時に使用する震央地名]」と併記した。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については「地震・火山月報（カタログ編）（CD-ROM）」、「地震年報（CD-ROM）」を参照のこと。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、「地震・火山月報（カタログ編）（CD-ROM）」、「火山報告（CD-ROM）」を参照のこと。

・本書で使用した地図等について

本書中の地図の作成にあたっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』、『数値地図 25000（地図画像）』、『数値地図 50000（地図画像）』、『数値地図 10m メッシュ（火山標高）』、『数値地図 50m メッシュ（標高）』、『数値地図 250m メッシュ（標高）』を使用したものである（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

また、震央分布図等に表記した活断層のデータは、「新編日本の活断層」（東京大学出版会、1991）を使用した。

・図版作成には一部 GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W.H.F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol.79 (47), pp.579, 1998]) を使用した。

目 次

日本及びその周辺で発生した主な地震	1
東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動	12
日本の主な火山活動	22
世界の主な地震	31
世界の主な火山活動	38
付表	
1．震度 1 以上を観測した地震の表	39
2．過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	48
3．日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数	49

日本及びその周辺で発生した主な地震

表 1

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名（注3）	M	M H S T （注4）	最大震度・被害状況等（注5）	掲載 ページ
1	9 4 01 14	千島列島	6.3	M・・・	2：北海道 標津町北2条* など1道3県 14地点	4
2	9 7 02 51	台湾付近	6.6	M・・・	3：沖縄県 与那国町役場*、与那国町祖納	10
3	9 22 17 00	宮古島近海	5.1	・・・S	3：沖縄県 宮古島市平良西仲宗根 など1県 5地点	11
4	9 28 22 38	マリアナ諸島	7.6	M・・・	2：東京都 小笠原村母島 など1都8県 24地点	35

注1) 主な地震とは、M6.0以上、震度4以上、内陸M4.0以上かつ震度3、海域M5.0以上かつ震度3、その他注目した地震を指す。

注2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

注3)〔〕内は、気象庁が情報発表の際に使用した震央地名を表す。

注4) M H S Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

注5) 最大震度の観測点名にある*印は地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点の情報であることを表す。被害の報告は総務省消防庁による。

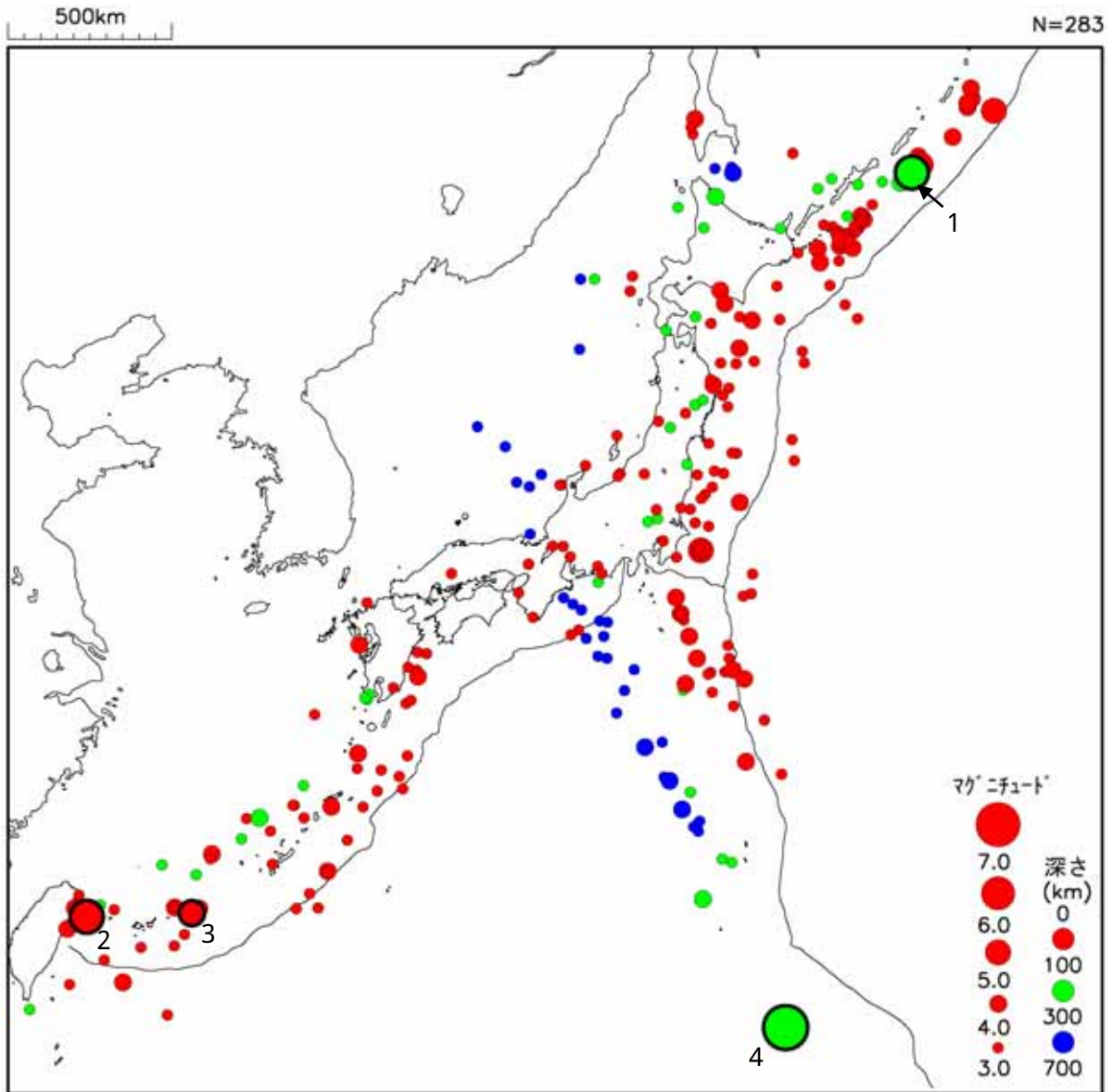
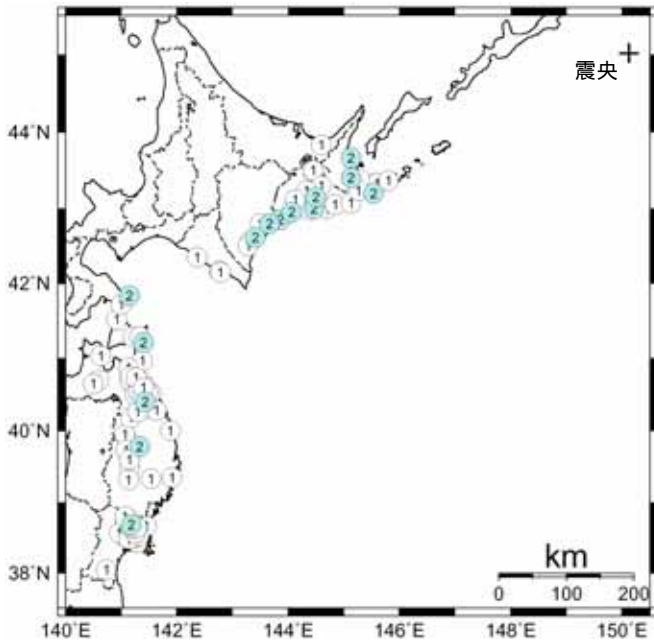


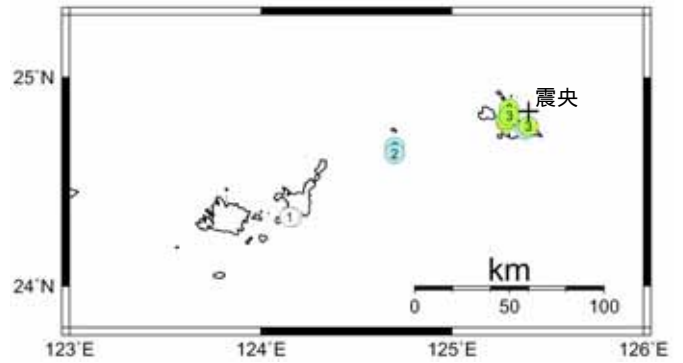
図 1 2007 年 9 月に日本及びその周辺で発生した M3.0 以上の地震の震央分布図
（図中の数字は表 1 の番号に対応）

図 2 各観測点の震度分布図（数字は表 1，図 1 の番号に対応する。+印は震央を示す。）

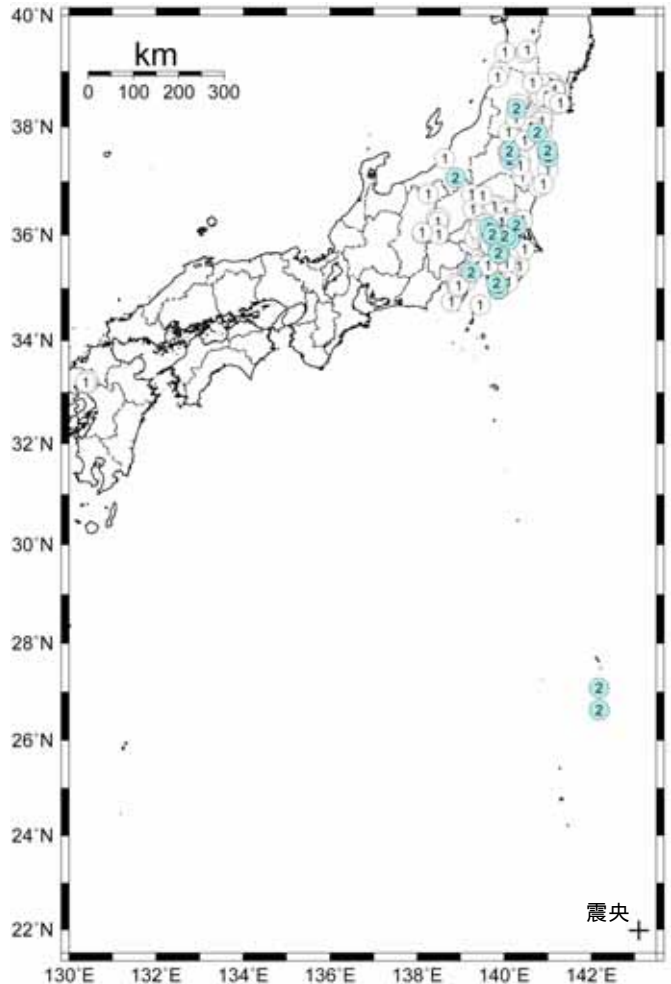
1 9月4日 01時14分 千島列島
(M6.3, 深さ 126km, 最大震度 2)



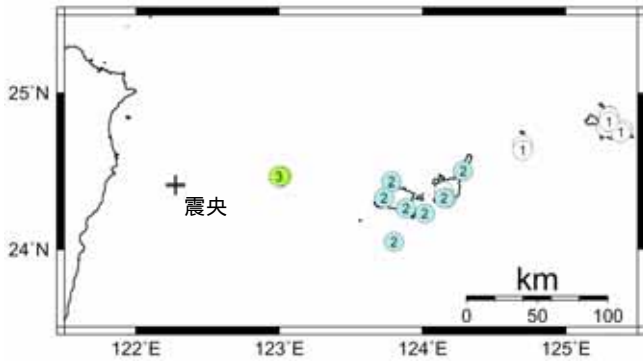
3 9月22日 17時00分 宮古島近海
(M5.1, 深さ 48km, 最大震度 3)



4 9月28日 22時38分 マリアナ諸島
(M7.6, 深さ 268km, 最大震度 2)



2 9月7日 02時51分 台湾付近
(M6.6, 深さ 66km, 最大震度 3)



北海道地方の地震活動

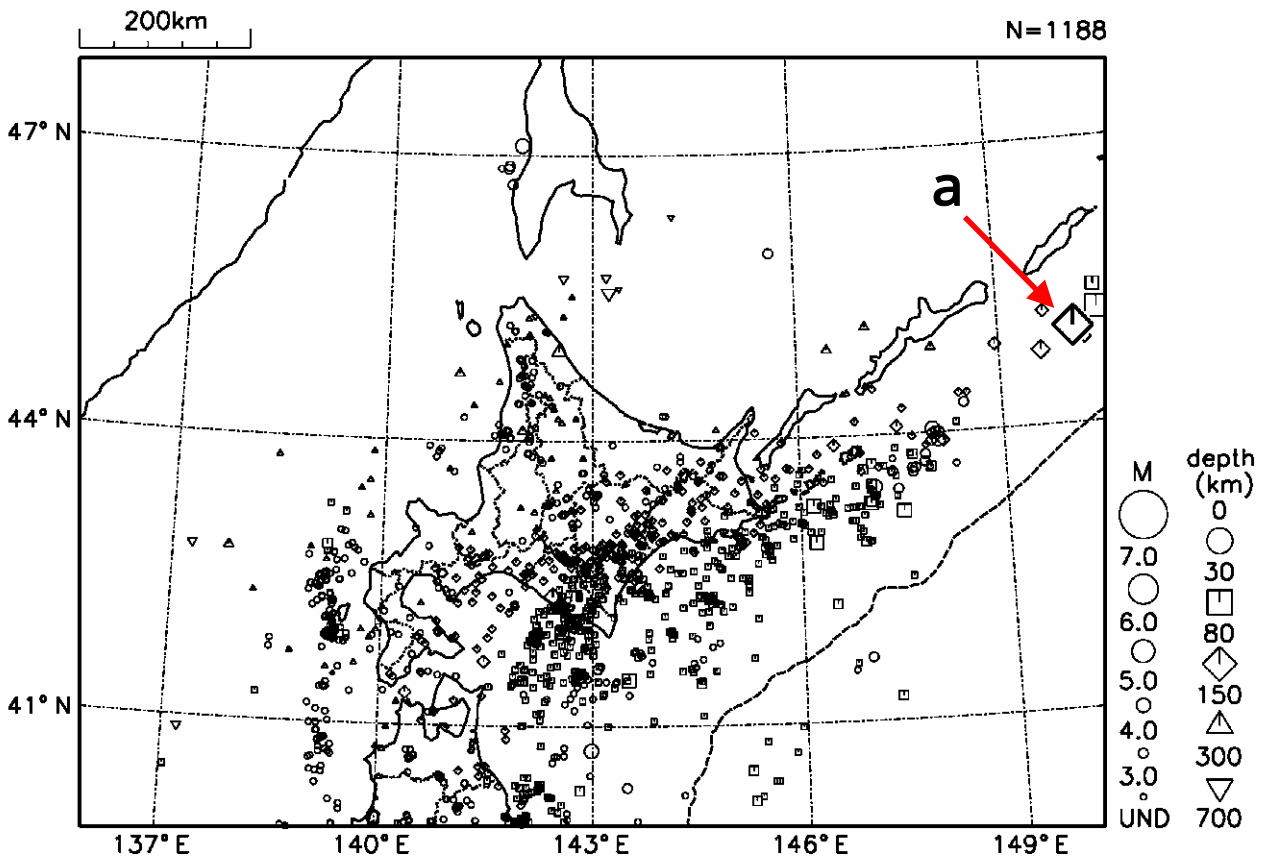


図3 北海道地方の震央分布図（2007年9月1日～9月30日）

[概況]

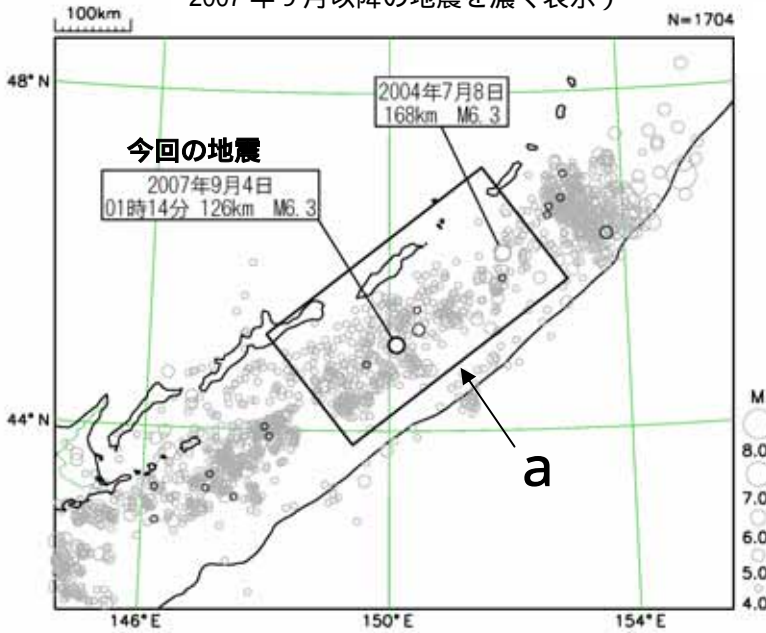
9月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は11回（8月は18回）であった。9月中の主な活動は次のとおりである。

4日01時14分、千島列島でM6.3の地震（図3中のa）があり、北海道、青森県、岩手県、宮城県で震度2～1を観測した（p4を参照）。

9月4日 千島列島の地震

震央分布図

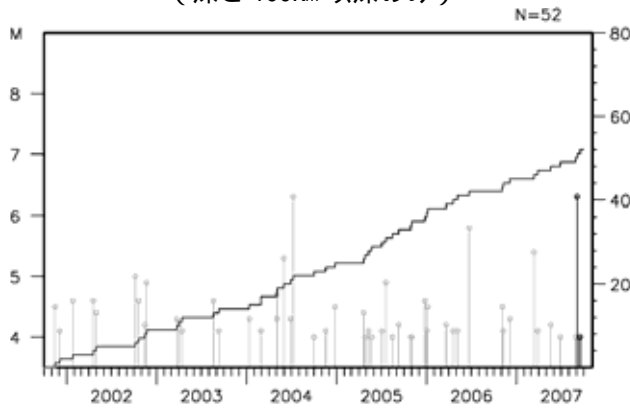
(2001年10月1日～2007年9月30日 M 4.0 深さ0～200km
2007年9月以降の地震を濃く表示)



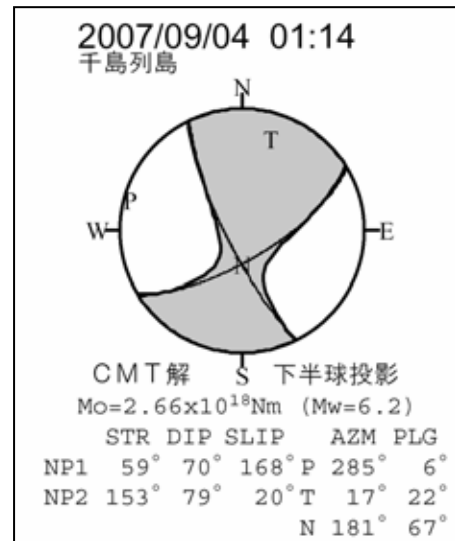
2007年9月4日01時14分、千島列島の深さ126kmでM6.3(最大震度2)の地震が発生した。発震機構(CMT解)は、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ型であった。今回の地震の震源付近では、2004年7月8日にM6.3(最大震度1)の地震が発生している。

1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近では、M7クラスの地震が度々発生している。最大は1958年11月7日(最大震度5)と1963年10月13日(最大震度4)に発生したM8.1の地震である。

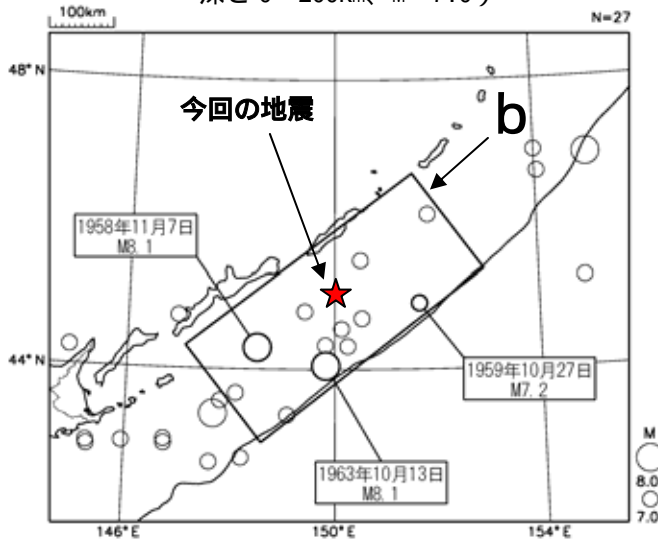
領域a内のM-T図及び回数積算図
(深さ100km以深のみ)



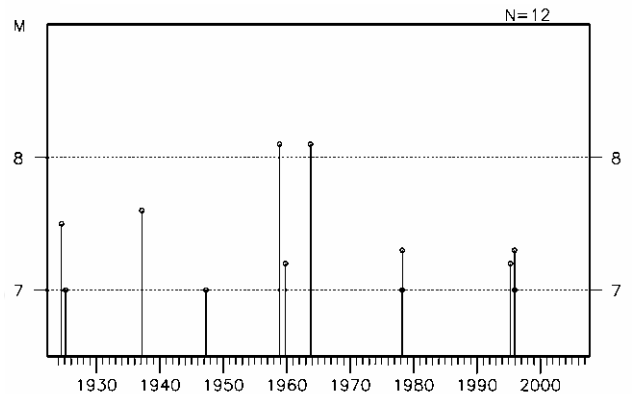
今回の地震の発震機構解(CMT解)



震央分布図
(1923年8月1日～2007年9月30日
深さ0～200km、M 7.0)



領域b内のM-T図



東北地方の地震活動

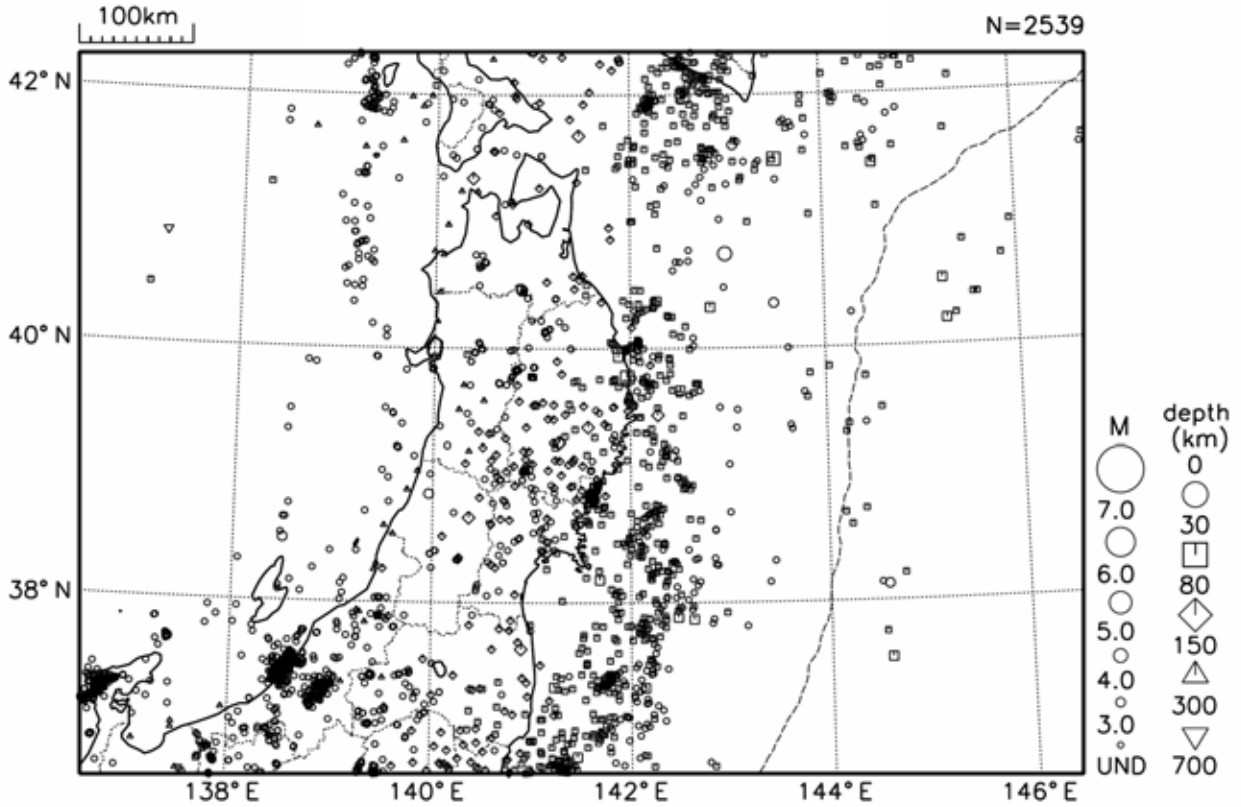


図4 東北地方の震央分布図（2007年9月1日～9月30日）

[概況]

9月に東北地方で震度1以上を観測した地震は25回（8月は30回）であった。

9月中、特に目立った活動はなかった。

関東・中部地方の地震活動

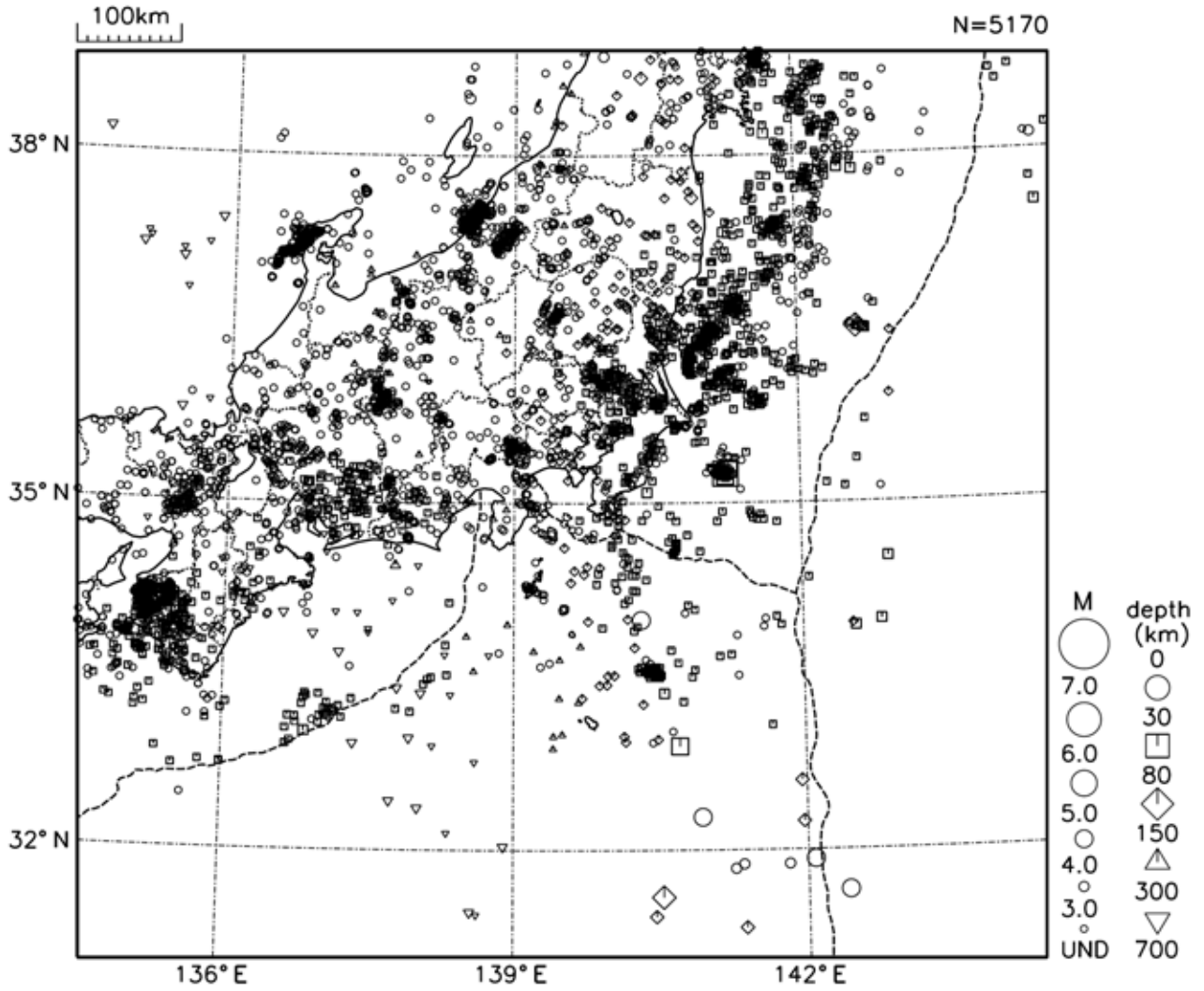


図5 関東・中部地方の震央分布図（2007年9月1日～9月30日）

[概況]

9月に関東・中部地方で震度1以上を観測した地震は48回（8月は101回）であった。
9月中、特に目立った活動はなかった。

近畿・中国・四国地方の地震活動

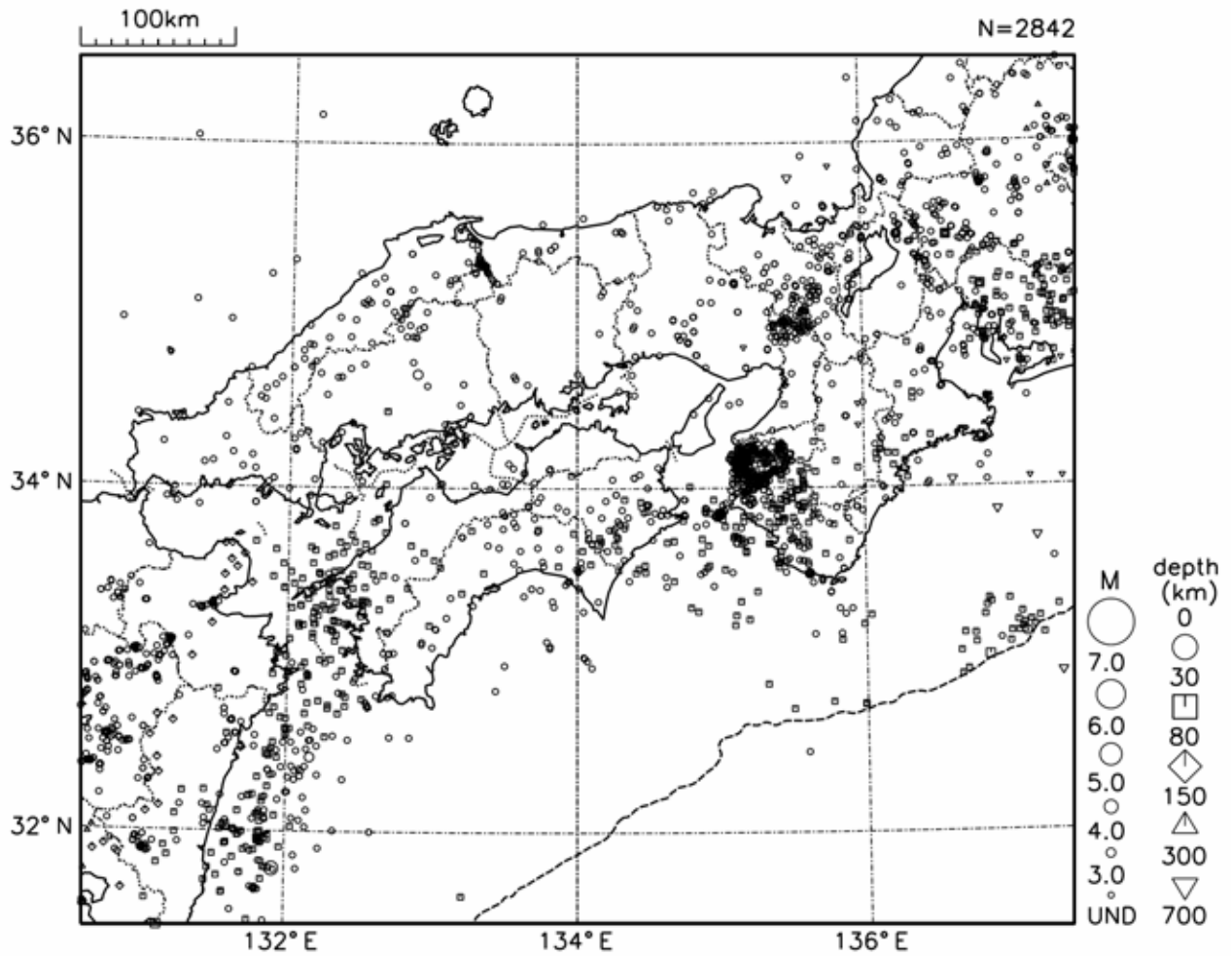


図6 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2007年9月1日～9月30日）

[概況]

9月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は15回（8月は14回）であった。9月中、特に目立った活動はなかった。

九州地方の地震活動

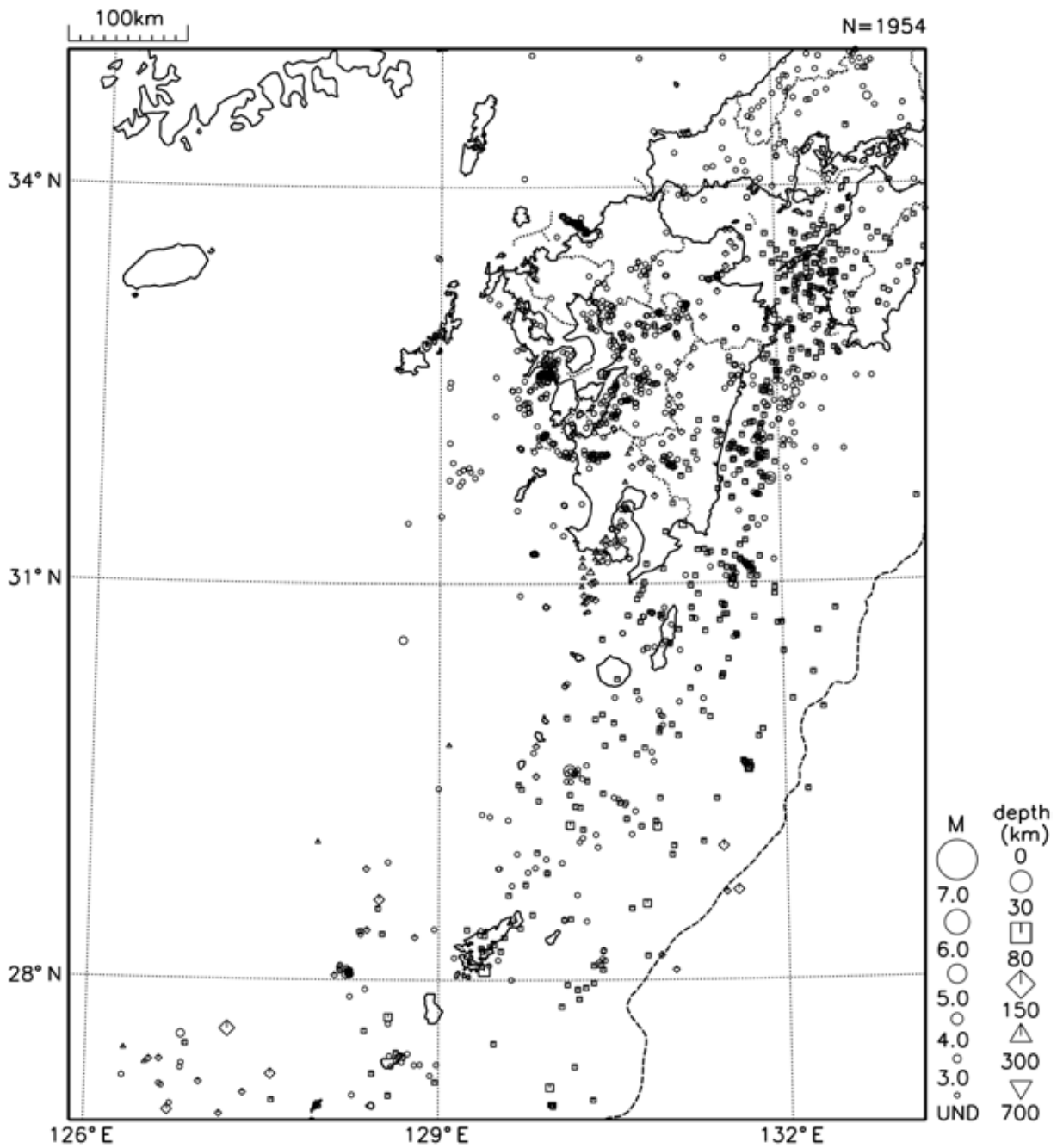


図7 九州地方の震央分布図（2007年9月1日～9月30日）

[概況]

9月に九州地方で震度1以上を観測した地震は25回（8月は16回）であった。
9月中、特に目立った活動はなかった。

沖縄地方の地震活動

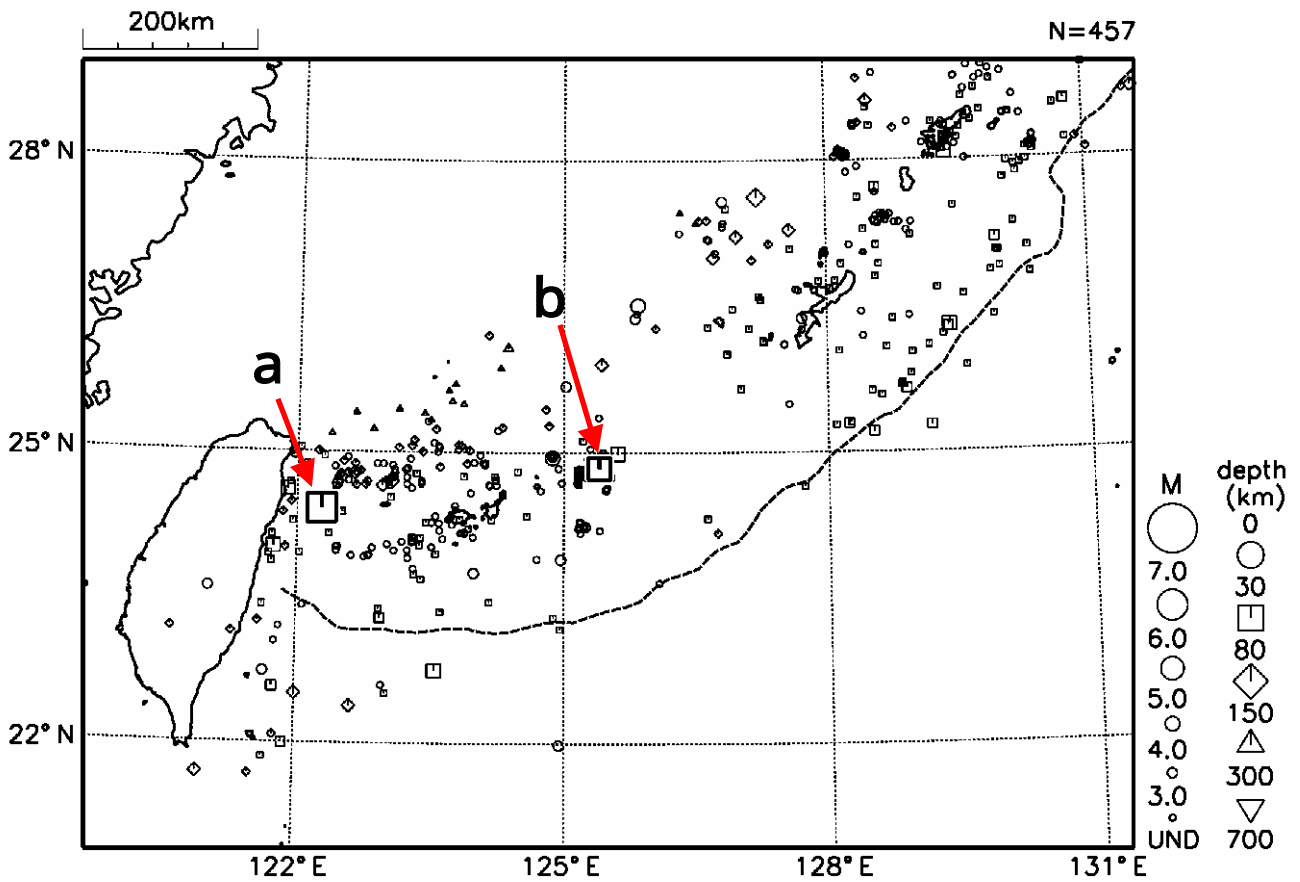


図 8 沖縄地方の震央分布図（2007 年 9 月 1 日～ 9 月 30 日）

〔概況〕

9 月に沖縄地方で震度 1 以上を観測した地震は 10 回（8 月は 9 回）であった。
9 月中の主な活動は次のとおりである。

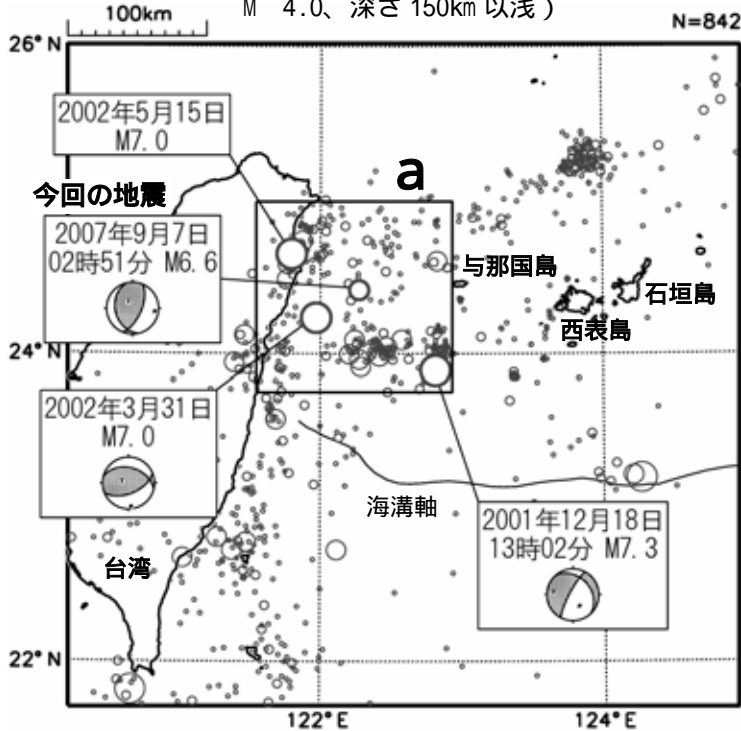
7 日 02 時 51 分に台湾付近で M6.6 の地震（図 8 中の a）があり、与那国島から宮古島で震度 3～1 を観測した（p10 参照）。

22 日 17 時 00 分に宮古島近海で M5.1（深さ 48km）の地震（図 8 中の b）があり、宮古島から石垣島で震度 3～1 を観測した（p11 参照）。

9 月 7 日 台湾付近の地震

震央分布図

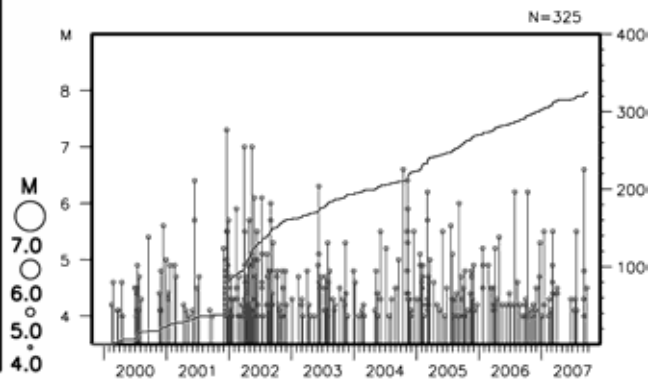
(2000 年 1 月 1 日 ~ 2007 年 9 月 30 日、
M 4.0、深さ 150km 以浅)



* 図中の発震機構は CMT 解。

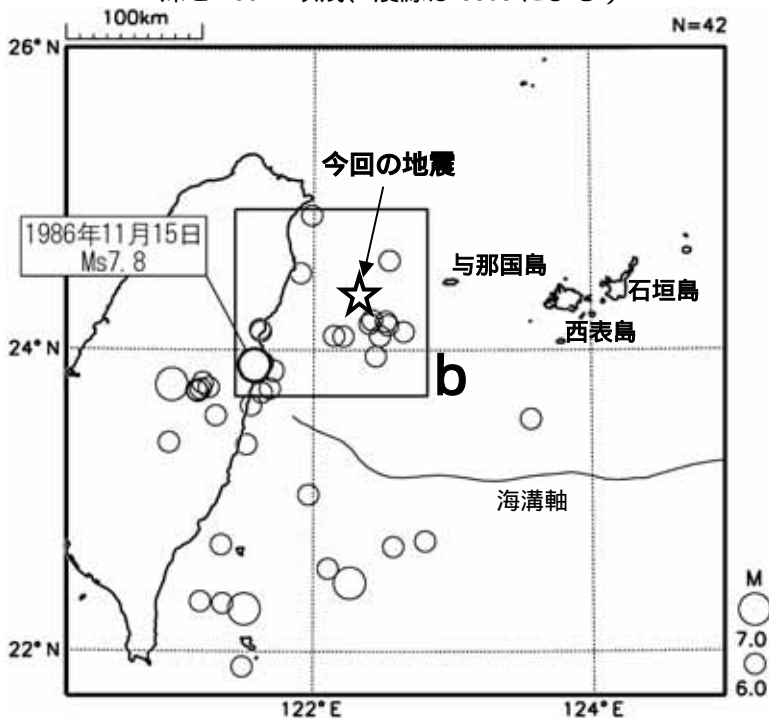
2007 年 9 月 7 日 02 時 51 分に台湾付近で M 6.6 の地震が発生した。この地震により、与那国島から宮古島にかけて震度 3 ~ 1 を観測した。この地震の発震機構は、東西方向に圧力軸をもつ逆断層型である。この地震の震央付近（領域 a）では、2002 年 3 月 31 日に M7.0 の地震により与那国島や石垣島で 10cm 程度の津波を観測するなど、M7.0 以上の地震が 3 回発生している。

領域 a 内の M - T 図、回数積算図



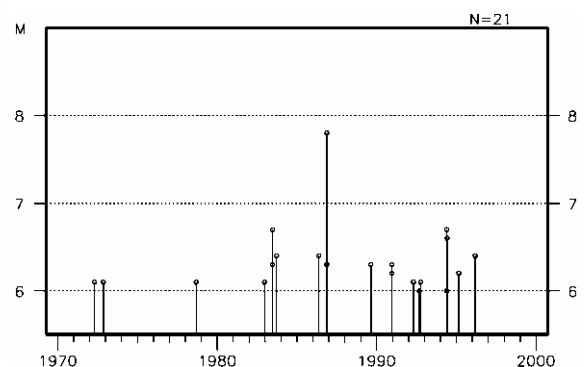
震央分布図

(1970 年 1 月 1 日 ~ 1999 年 12 月 31 日、M 6.0、
深さ 150km 以浅、震源は USGS による)



1970 年以降、今回の地震の震央付近（領域 b）では、1986 年 11 月 15 日に Ms7.8 (Ms は米国地質調査所による表面波マグニチュード) の地震が発生し、台湾では死者 13 名の被害が生じた（被害は宇津の「世界の被害地震の表」による）。また、日本国内では与那国島で最大震度 3 を観測し、宮古島平良港で津波の最大の高さ 30cm を観測した。

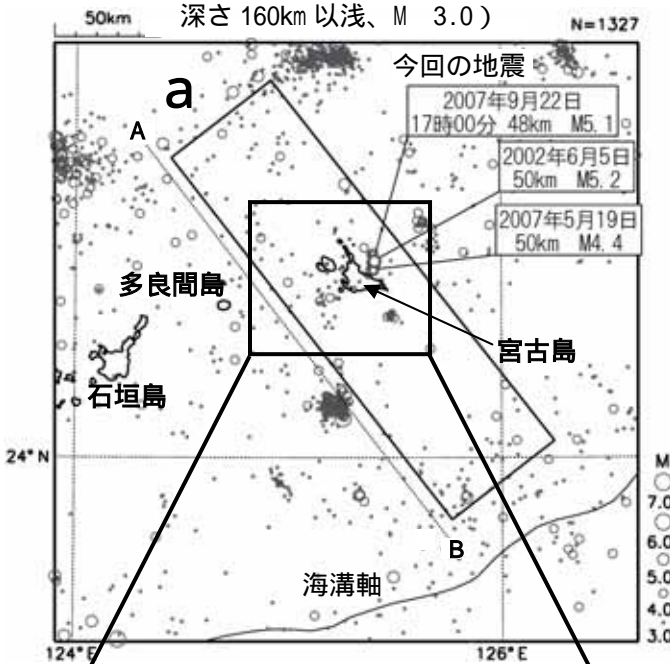
領域 b 内の M - T 図



9 月 22 日 宮古島近海の地震

震央分布図

(2000 年 1 月 1 日 ~ 2007 年 9 月 30 日、
深さ 160km 以浅、M 3.0)

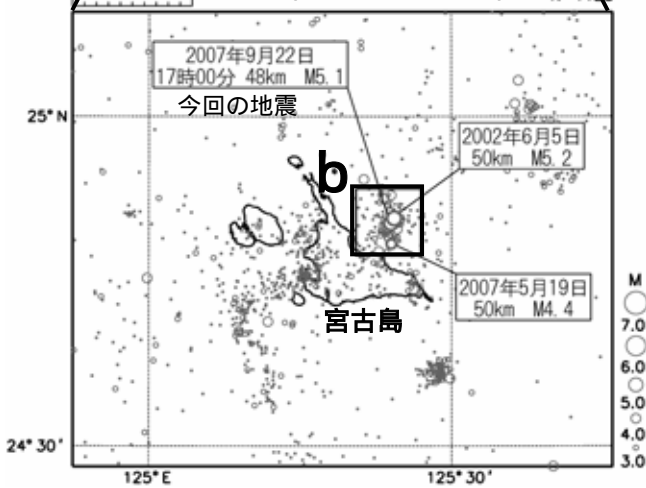


2007年9月22日17時00分に宮古島近海でM5.1（深さ48km）の地震が発生し、宮古島から石垣島にかけて震度3～1を観測した。この地震はフィリピン海プレートの沈み込みに伴う地震と考えられる。宮古島で震度3を観測したのは、2007年5月19日のM4.4（深さ50km）の地震以来である。

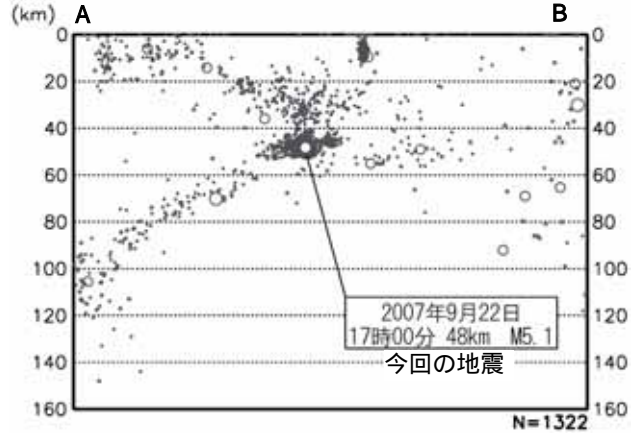
今回の地震の震源付近は定常的に活動が見られるところで、2002年6月5日にもM5.2（深さ50km）の地震が発生し、最大震度3を観測している（領域b）。

1970年以降、宮古島付近では、M5～6クラスの地震が時折発生している（領域c）。

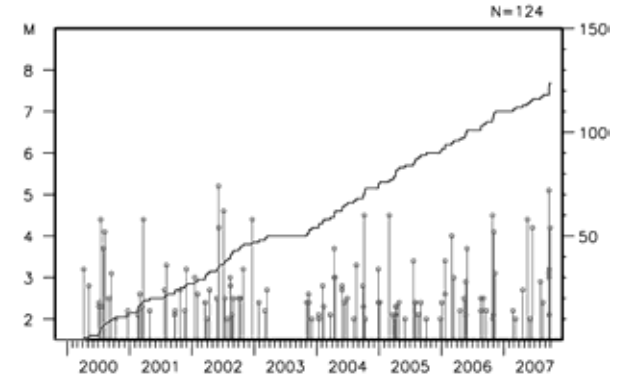
拡大図（深さ 100km 以浅）



領域 a 内の断面図（A - B 投影、M 2.0）

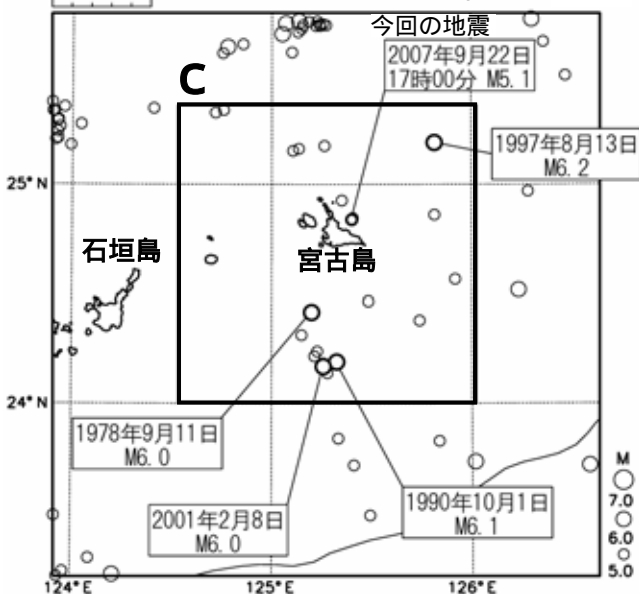


領域 b 内の M - T 図、回数積算図

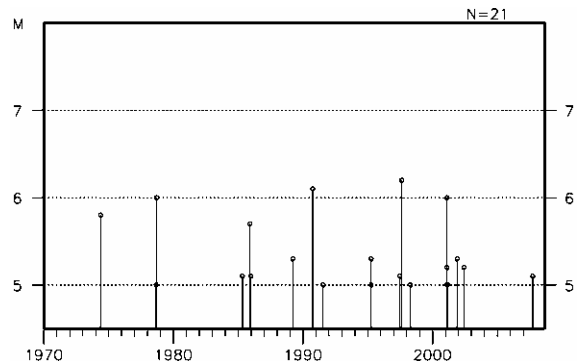


震央分布図

(1970 年 1 月 1 日 ~ 2007 年 9 月 30 日、
深さ 100km 以浅、M 5.0)



領域 c 内の M - T 図



東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動

[概況]

21 日に静岡県西部の地殻内で M3.9（最大震度 2）の地震が発生した。

9 月 26 日から 10 月 2 日にかけて、長野県南部～愛知県東部で深部低周波地震活動があり短期的スロースリップ（ゆっくり滑り）の発生が観測された。

[地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会検討結果]

9 月 25 日に気象庁において第 256 回地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会（定例会）を開催し、気象庁は「最近の東海地域とその周辺の地震・地殻活動」として次のコメントを発表した（図 5～図 9）。

現在のところ、東海地震に直ちに結びつくような変化は観測されていません。

全般的には顕著な地震活動はありません。静岡県中部ではプレート内で通常より活動レベルが低く、地殻内ではやや高い状態になっていますが、その他の地域では概ね平常レベルです。

東海地域及びその周辺の地殻変動には注目すべき特別な変化は観測されていません。

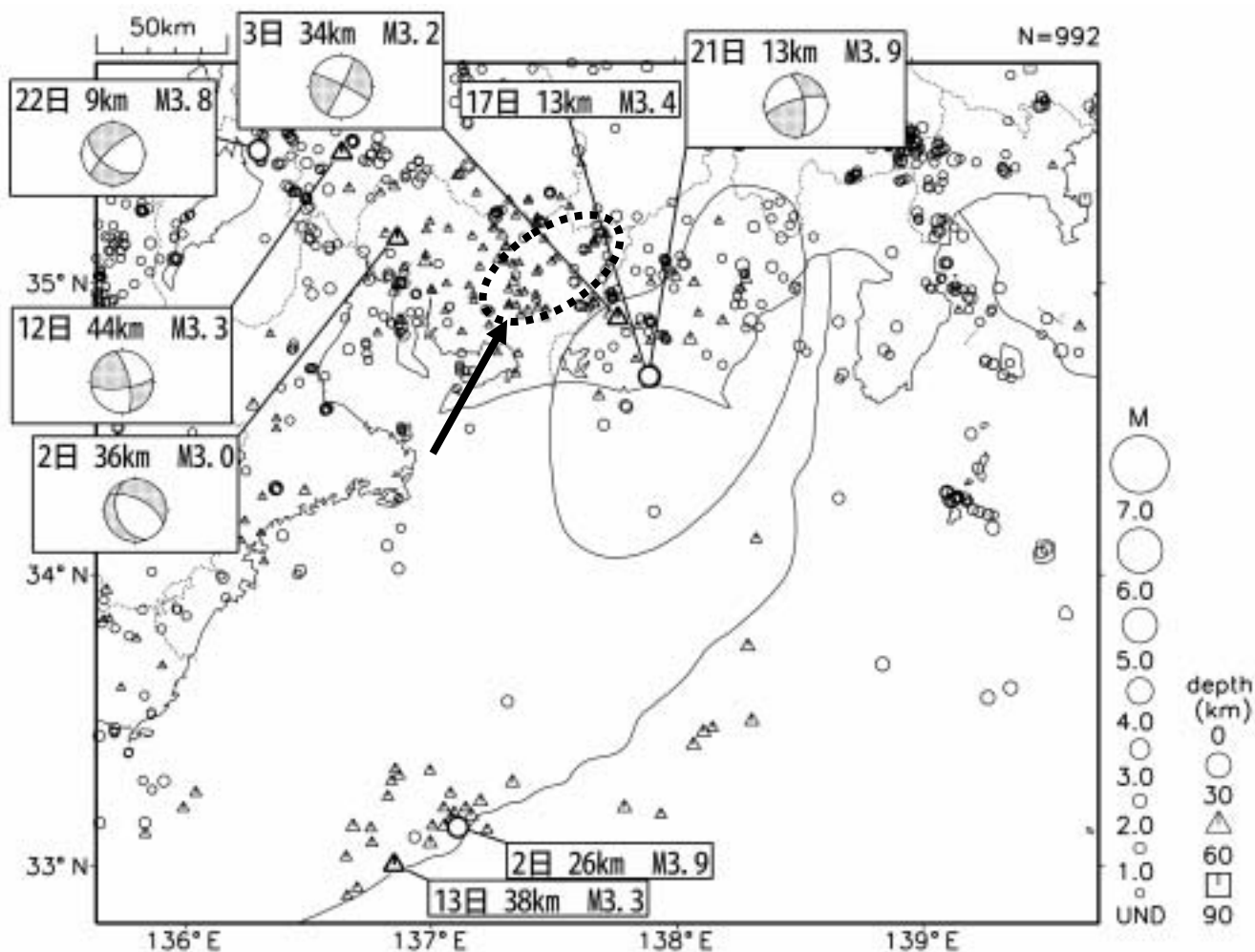


図 1 震央分布図（2007 年 9 月 1 日～30 日：深さ 90km 以浅、M すべて。M3.0 以上の地震に「日、深さ、M」を付けた。すぐ下の図は P 波初動による発震機構（下半球投影）。図中のナス型の領域は東海地震の想定震源域。）

2 日 09 時 51 分、愛知県西部の深さ 36km で M3.0 の地震が発生した。発震機構は北東 - 南西方向に張力軸を持つ正断層型で、フィリピン海プレート内で発生した地震である。

2 日 15 時 39 分、三重県南東沖の深さ 26km で M3.9 の地震が発生した。
3 日 14 時 17 分、静岡県西部の深さ 34km で M3.2 の地震があり、最大震度 1 を観測した。発震

機構は東北東 - 西南西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内で発生した地震である。

12 日 21 時 59 分、岐阜県美濃中西部の深さ 44km で M3.3 の地震があり、最大震度 2 を観測した。発震機構は北西 - 南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内で発生した地震である。

13 日 19 時 19 分、三重県南東沖の深さ 38km で M3.3 の地震が発生した。

17 日 14 時 57 分、静岡県西部の深さ 13km で M3.4 の地震があり、最大震度 2 を観測した。陸域の地殻内で発生した地震である。

21 日 13 時 21 分、静岡県西部の深さ 13km で M3.9 の地震があり、最大震度 2 を観測した。発震機構は西北西 - 東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、陸域の地殻内で発生した地震である。（p 14 を参照）

22 日 11 時 44 分、滋賀県北部の深さ 9km で M3.8 の地震があり、最大震度 2 を観測した。発震機構は東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、陸域の地殻内で発生した地震である。

9 月 26 日から 10 月 2 日にかけて、長野県南部から愛知県東部にかけてのプレート境界の短期的なゆっくり滑りに起因すると見られる、歪変化と深部低周波地震活動が観測された（p 15 ~ 16 を参照）。同様の現象は 2007 年 6 月にも観測されている（平成 19 年 6 月地震・火山月報（防災編）を参照。この現象の詳細については平成 17 年 7 月地震・火山月報（防災編）を参照。）

注：本文中の番号は、図 1 中の数字に対応する。

[東海地域の地震活動の頁で使われる用語]

・「想定震源域」(図 1) と「固着域」(図 5)

東海地震発生時には、「固着域」(プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域)あるいはその周辺の一部からゆっくりしたずれ(前兆すべり)が始まり、最終的には「想定震源域」全体が破壊すると考えられている。

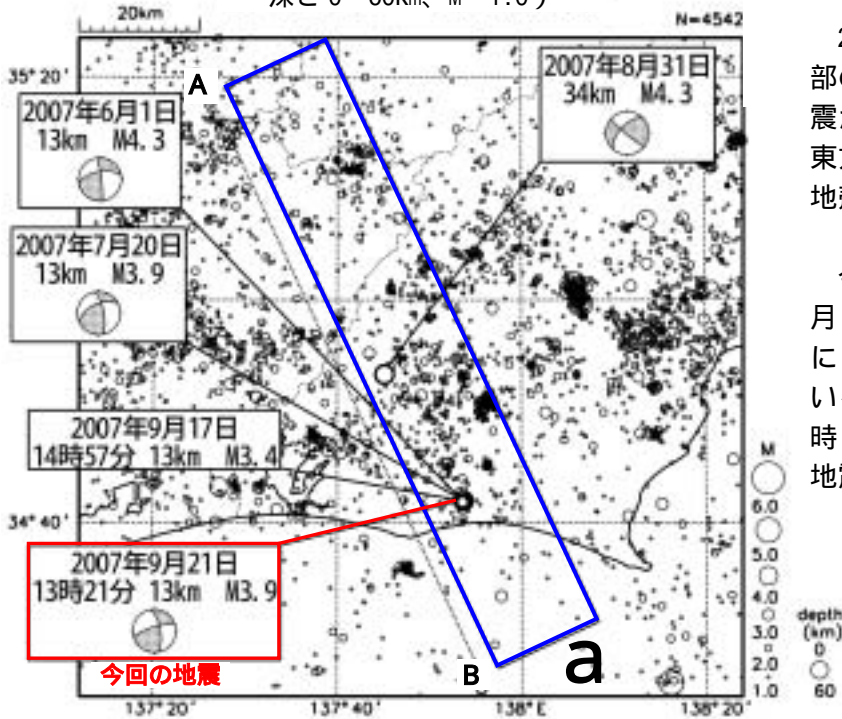
・「クラスタ除去」(図 5 と図 6)

地震は時間空間的に群(クラスタ: cluster)をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的な群(クラスタ)で、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。震央距離が 3 km 以内、発生時間差が 7 日以内の地震をクラスタと見なし、最大地震で代表させている。

大規模な地震から国民の生命・財産を保護することを目的として、昭和 53 年(1978 年)12 月に施行された「大規模地震対策特別措置法」では、大規模な地震の発生のおそれがあり、その地震によって大きな被害が予想されるような地域をあらかじめ「地震防災対策強化地域(以下、「強化地域」という。)として指定し、地震予知のための観測施設の整備を強化し、あらかじめ地震防災に関する計画をたてる等、各種の措置を講じることとしている。強化地域は平成 14 年(2002 年)4 月に見直しが行われ、現在、静岡県全域と東京都、神奈川・山梨・長野・岐阜・愛知及び三重の各県にまたがる 173 市町村(平成 19 年 4 月現在)が強化地域に指定されている。強化地域では、マグニチュード 8 クラスと想定されている大地震(東海地震)が起こった場合、震度 6 弱以上(一部地域では震度 5 強程度)になり、沿岸では大津波の来襲が予想されている。気象庁では東海地震の直前の前兆現象を捕らえるため、地震、地殻変動等の観測データを常時監視している。

9 月 21 日 静岡県西部の地震

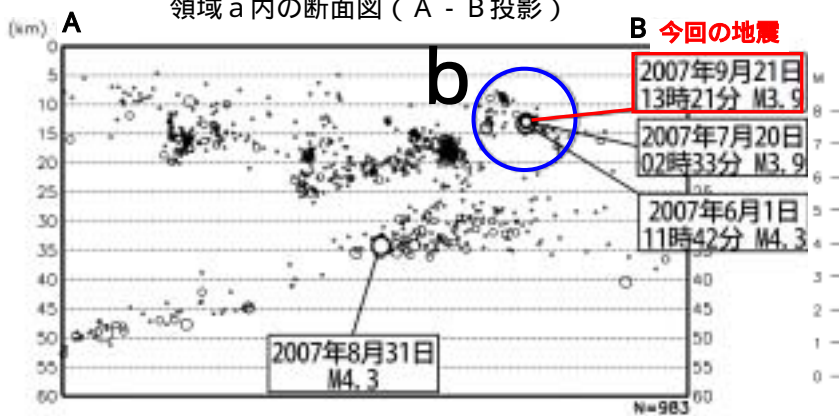
震央分布図（1997 年 10 月 1 日～2007 年 9 月 30 日、
深さ 0～60km、M 1.0）



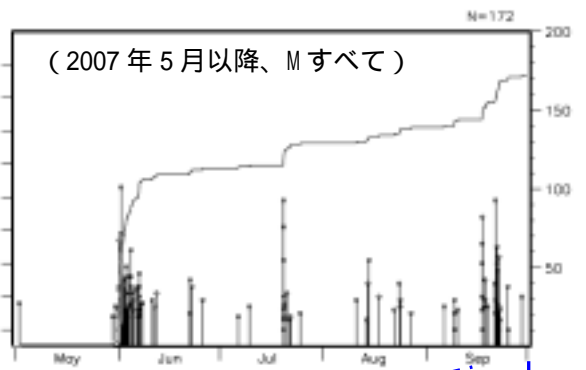
2007 年 9 月 21 日 13 時 21 分に静岡県西部の深さ 13km で M3.9 (最大震度 2) の地震が発生した。発震機構は西北西 - 東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、地殻内で発生した地震である。

今回の地震の震源付近では、2007 年 6 月 1 日に M4.3 (最大震度 4)、7 月 20 日に M3.9 (最大震度 2) の地震が発生している。今回の地震の数日前から 17 日 14 時 57 分に発生した M3.4 (最大震度 2) の地震を最大とする活動が見られていた。

領域 a 内の断面図 (A - B 投影)



領域 b 内の M - T 図、回数積算図



領域 b 内の M - T 図、回数積算図

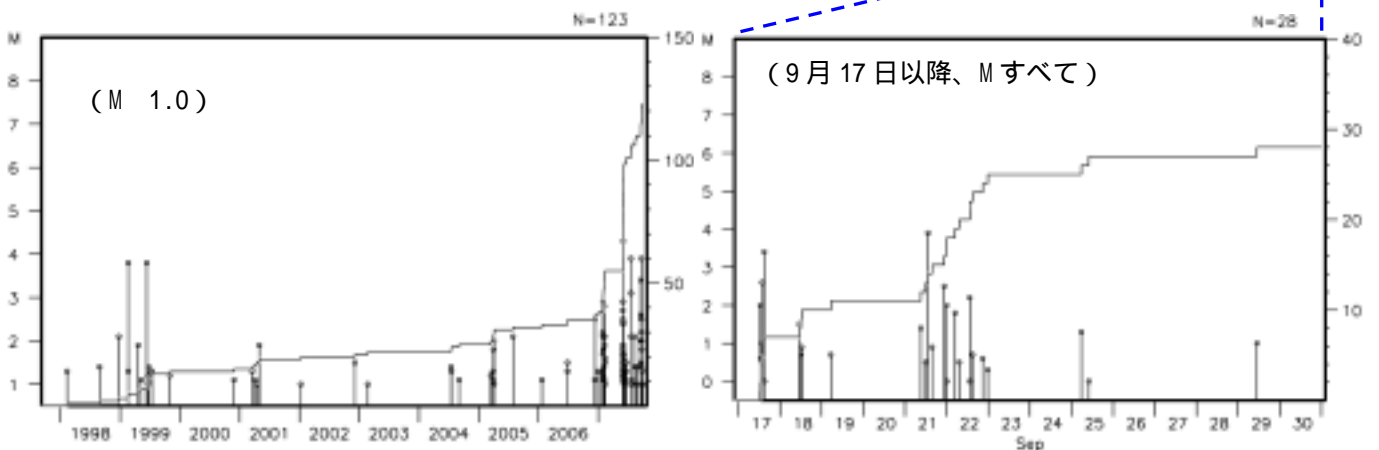
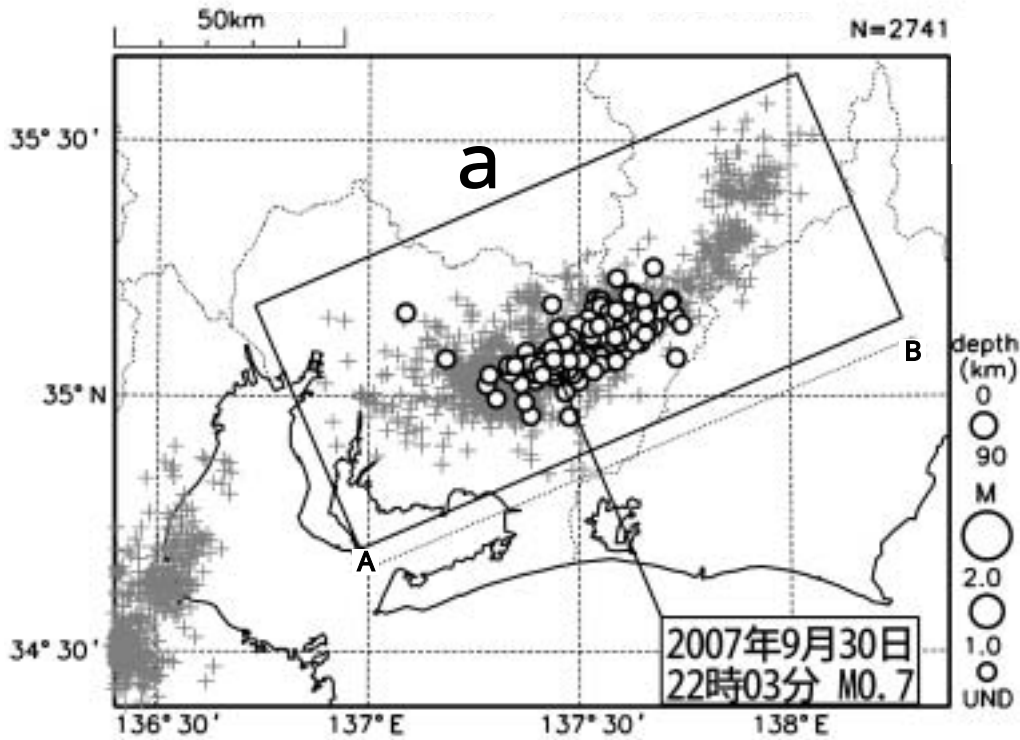


図 2 静岡県西部の地震

2007 年 9 月・10 月 長野県南部 - 愛知県東部の低周波地震活動

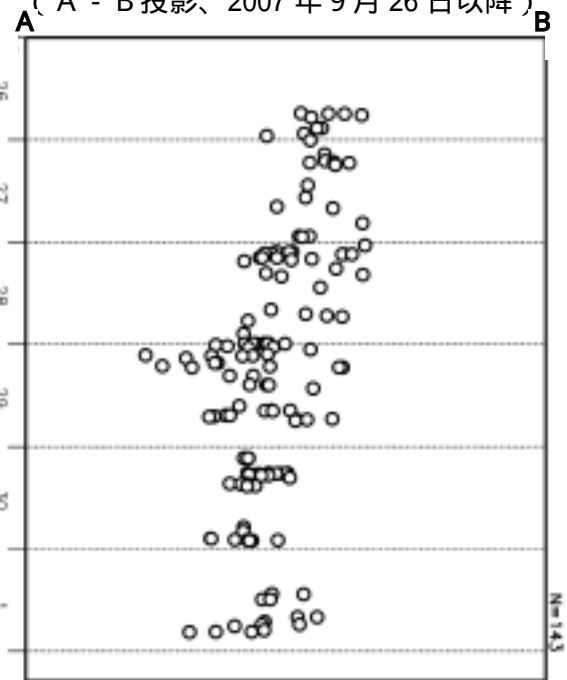
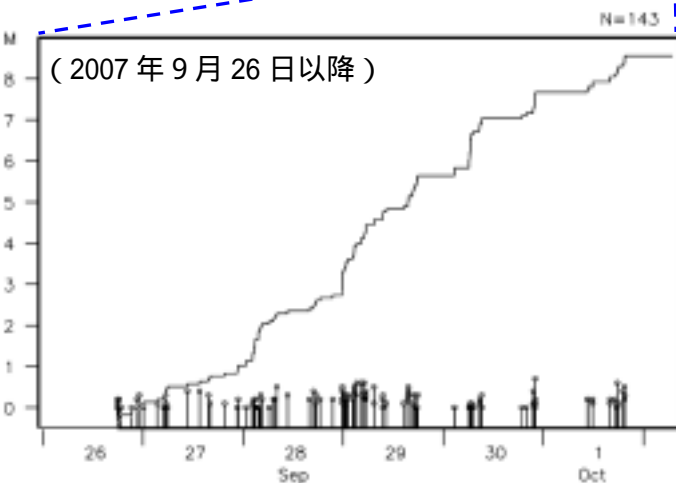
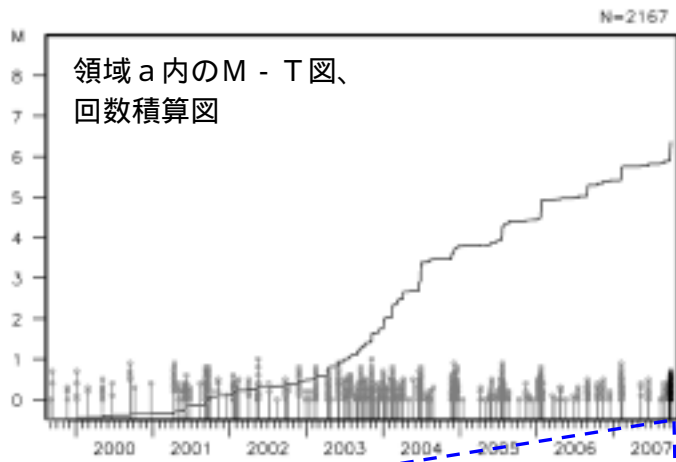
震央分布図

（低周波地震のみ、1999 年 9 月 1 日～2007 年 10 月 2 日 07 時、M すべて）
 [2007 年 9 月 26 日以降の地震を ○ で表示している。]



領域 a 内の時空間分布図

(A - B 投影、2007 年 9 月 26 日以降)



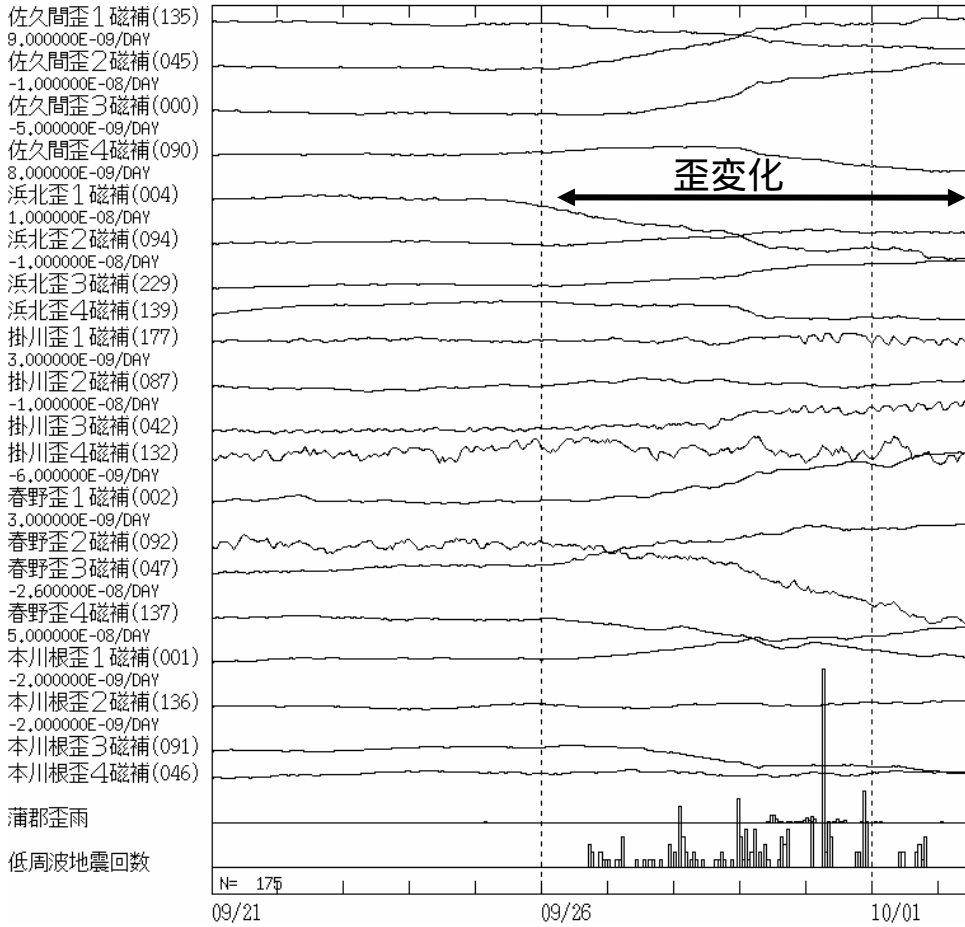
2007 年 9 月 26 日 17 時頃より、長野県南部から愛知県東部にかけて低周波地震が観測された。低周波地震は、29 日にかけて南西に移動するように発生した。最大は 9 月 30 日 22 時 03 分に発生した M0.7 の地震であった。

図 3 長野県南部 - 愛知県東部の低周波地震活動

2007年 9月26日からの低周波地震活動と同期した歪計の変化および推定される滑り候補点

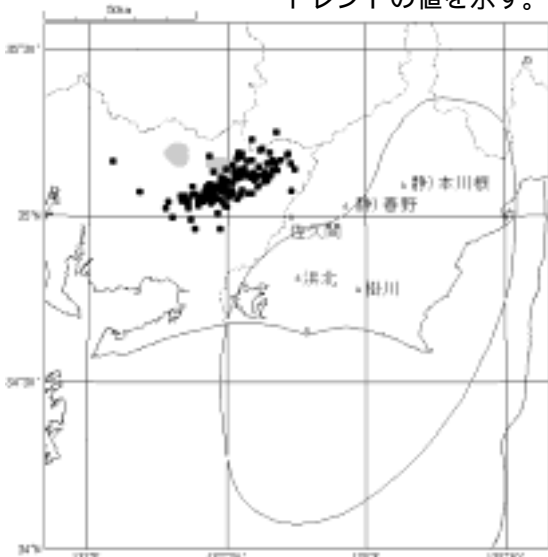
2007/09/21 00:00 -- 2007/10/02 12:00

5.0x10⁻⁸ strain
伸び 60mm/1時間(降水量)
10回/1時間(地震回数)



2007年 9月 21 日から 10月 2日 12 時にかけての歪変化の時系列図

気圧、潮汐、磁気補正を行ったデータを使用。観測点名下の数値は除去した長期トレンドの値を示す。春野、本川根は静岡県整備の観測点である。



今回の歪変化より推定される滑り候補点

黒丸()は、2007年9月26日から10月1日24時までに発生した低周波地震の震央を示す。また、灰色の領域は、推定される滑りの候補点の位置を示す。

佐久間、浜北、掛川、春野（静岡県整備）、本川根（静岡県整備）の歪計において、9月26日から10月2日にかけて、低周波地震活動と同期した変化が認められた。歪変化は9月29日に入ってから急になったが、その後は落ち着いた。なお、9月29日から9月30日にかけては降水があった。

歪計に現れた変化量（9月26日朝～10月2日12時頃）を基に滑りの候補点を推定したところ、低周波地震の発生している領域と重なった。滑りの規模はMw（モーメントマグニチュード）に換算して5.6～5.7である。

図 4 2007年 9月 26 日からの低周波地震活動と同期した歪計の変化および推定される滑り候補点

東海地域の地震活動指数 (クラスタを除いた地震回数による)

2007年9月19日 現在

	① 固着域		② 愛知県		③ 浜名湖			④ 駿河湾
	地殻内	フィリ ピン海 プレート	地殻内	フィリ ピン海 プレート	フィリピン海プレート内			全域
					西側	全域	東側	
短期活動指数	5	5	4	1	3	4	6	2
短期地震回数 (平均)	7 (6.31)	7 (5.90)	14 (13.23)	7 (14.08)	1 (2.46)	6 (5.91)	5 (3.45)	2 (6.06)
中期活動指数	8	6	6	4	1	3	5	1
中期地震回数 (平均)	30 (18.93)	24 (17.69)	48 (39.68)	41 (42.24)	1 (4.93)	9 (11.82)	8 (6.90)	6 (12.12)

* Mしきい値:

M \geq 1.1: 固着域、愛知県、浜名湖、M \geq 1.4: 駿河湾

* クラスタ除去:

震央距離が Δr 以内、発生時間差が Δt 以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。

$\Delta r=3\text{km}$ 、 $\Delta t=7$ 日: 固着域、愛知県、浜名湖

$\Delta r=10\text{km}$ 、 $\Delta t=10$ 日: 駿河湾

* 対象期間:

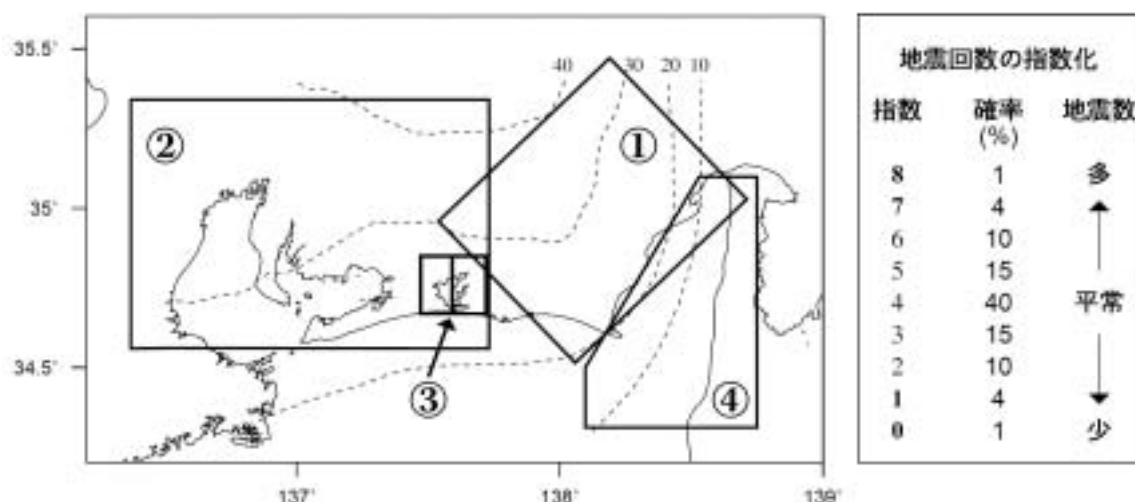
短期: 30日間 (固着域、愛知県)、90日間 (浜名湖、駿河湾)

中期: 90日間 (固着域、愛知県)、180日間 (浜名湖、駿河湾)

* 基準期間:

1997年—2001年 (5年間): 固着域、愛知県、1998年—2000年 (3年間): 浜名湖

1991年—2000年 (10年間): 駿河湾



* プレート境界の等深線を破線で示す。

図5 東海地域の地震活動指数

浜名湖は活動指数の低い状態が継続していたが、7月ごろから東側のみ回復傾向である(今期はほぼ平常の6~5)。固着域の地殻内は活動指数が高い。それ以外の地域は、愛知県プレート内と駿河湾がやや低かった他は、ほぼ平常の活動であった。

浜名湖（フィリピン海プレート内）

1995/ 1/ 1~2007/ 9/ 19 M \geq 1.1 *クラスタ除去したデータ

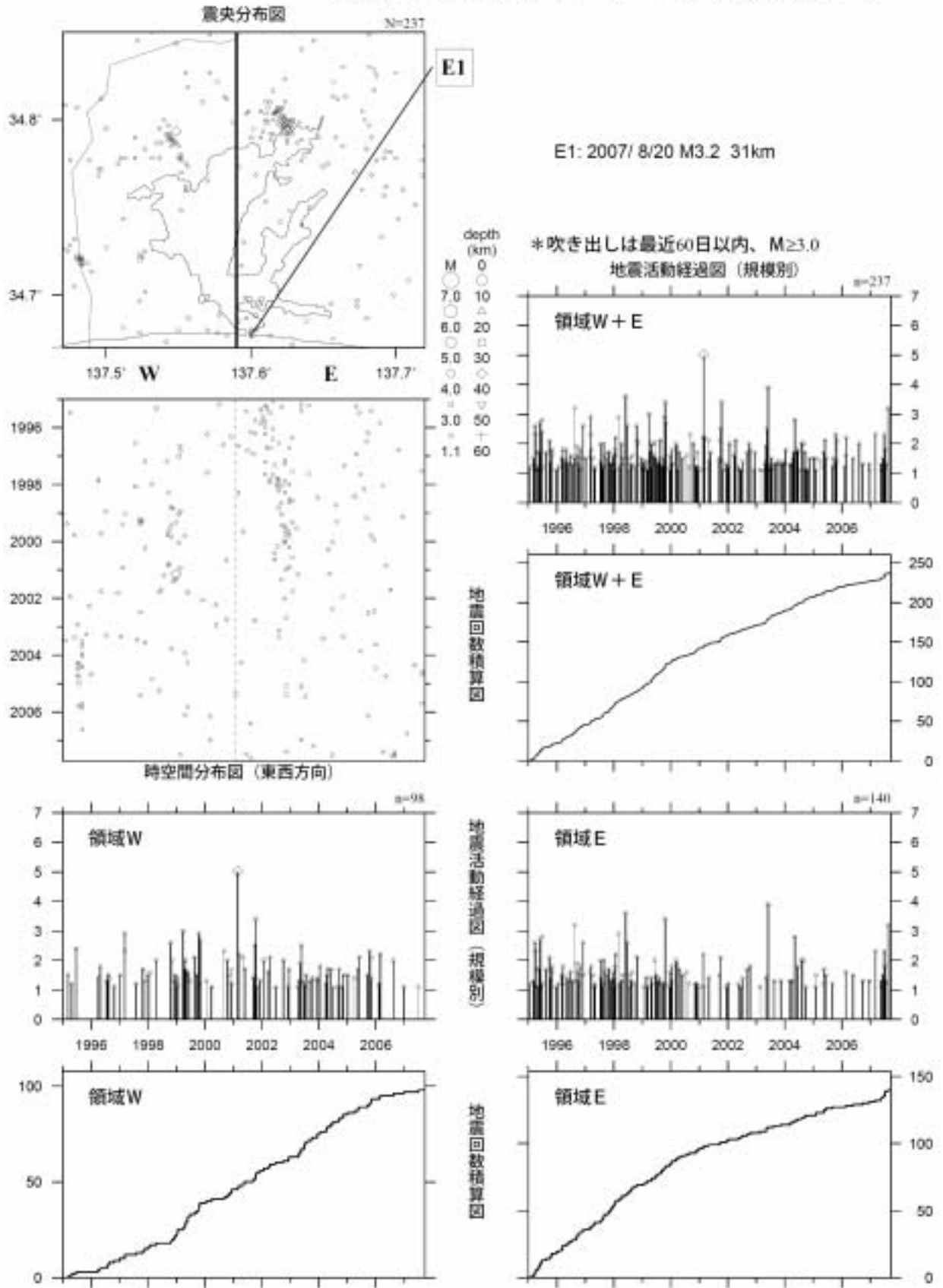


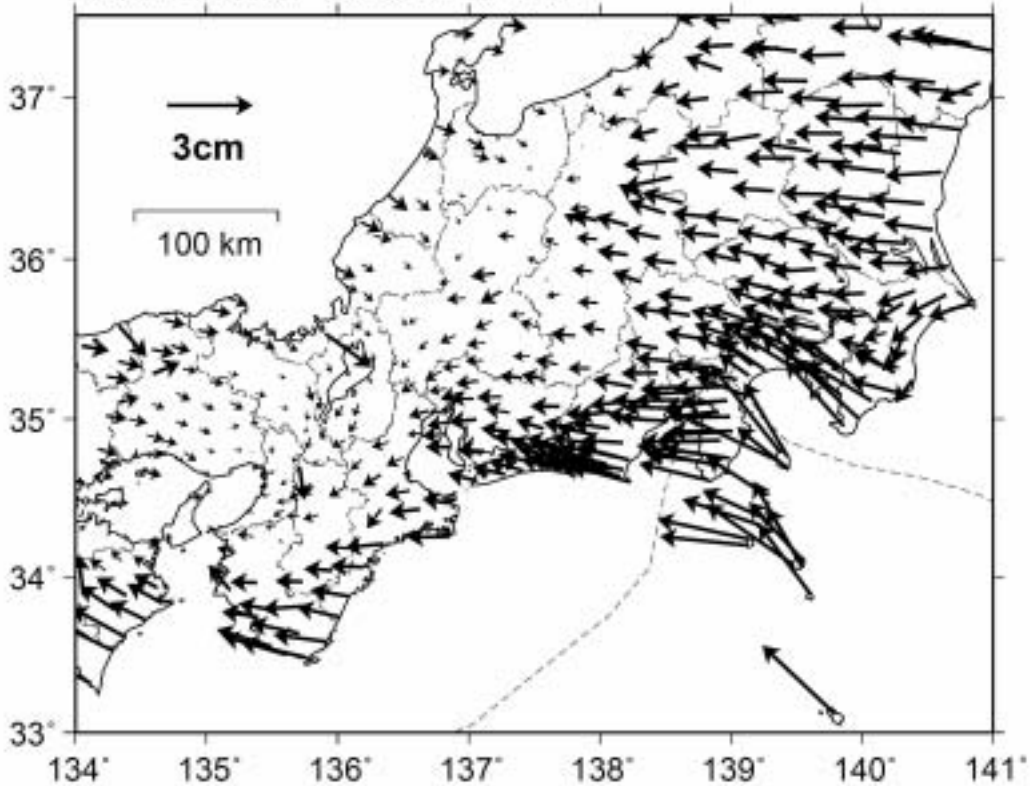
図6 浜名湖付近のフィリピン海プレート内の地震活動

領域Eでは2000年終わりごろからの活動の低下が継続していた中、最近90日間で5回地震が発生し、活動が回復傾向である。8月20日には浜名湖の南でM3.2の地震が発生している。領域Wは2006年以降、活動が低下した状況である。

東海地方の最近の地殻変動（水平変動）【大湊固定】 （2006年8月～2007年8月）

基準期間：2006/8/23 - 2006/9/1 [F2：最終解]

比較期間：2007/8/23 - 2007/9/1 [F2：最終解]



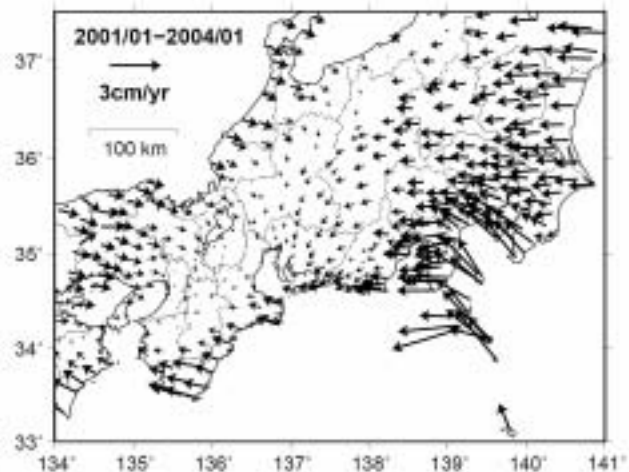
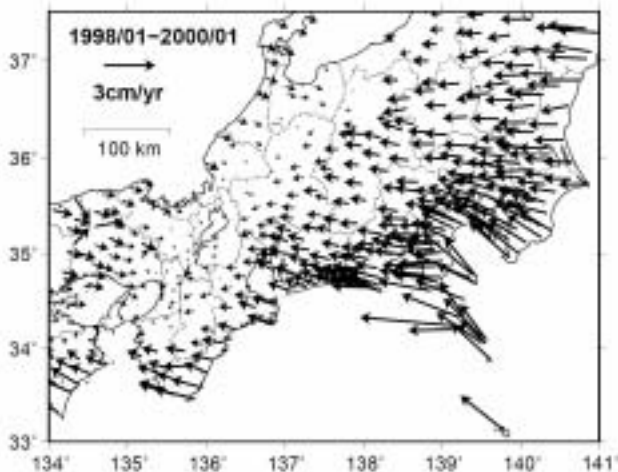
- ・2007年3月25日に発生した能登半島地震による地殻変動の影響は取り除いている。
- ・2007年7月16日に発生した新潟県中越沖地震による地殻変動の影響は取り除いている（暫定）。

スロースリップ開始以前の地殻変動速度

（1998年1月～2000年1月）

スロースリップ進行期の地殻変動速度

（2001年1月～2004年1月）

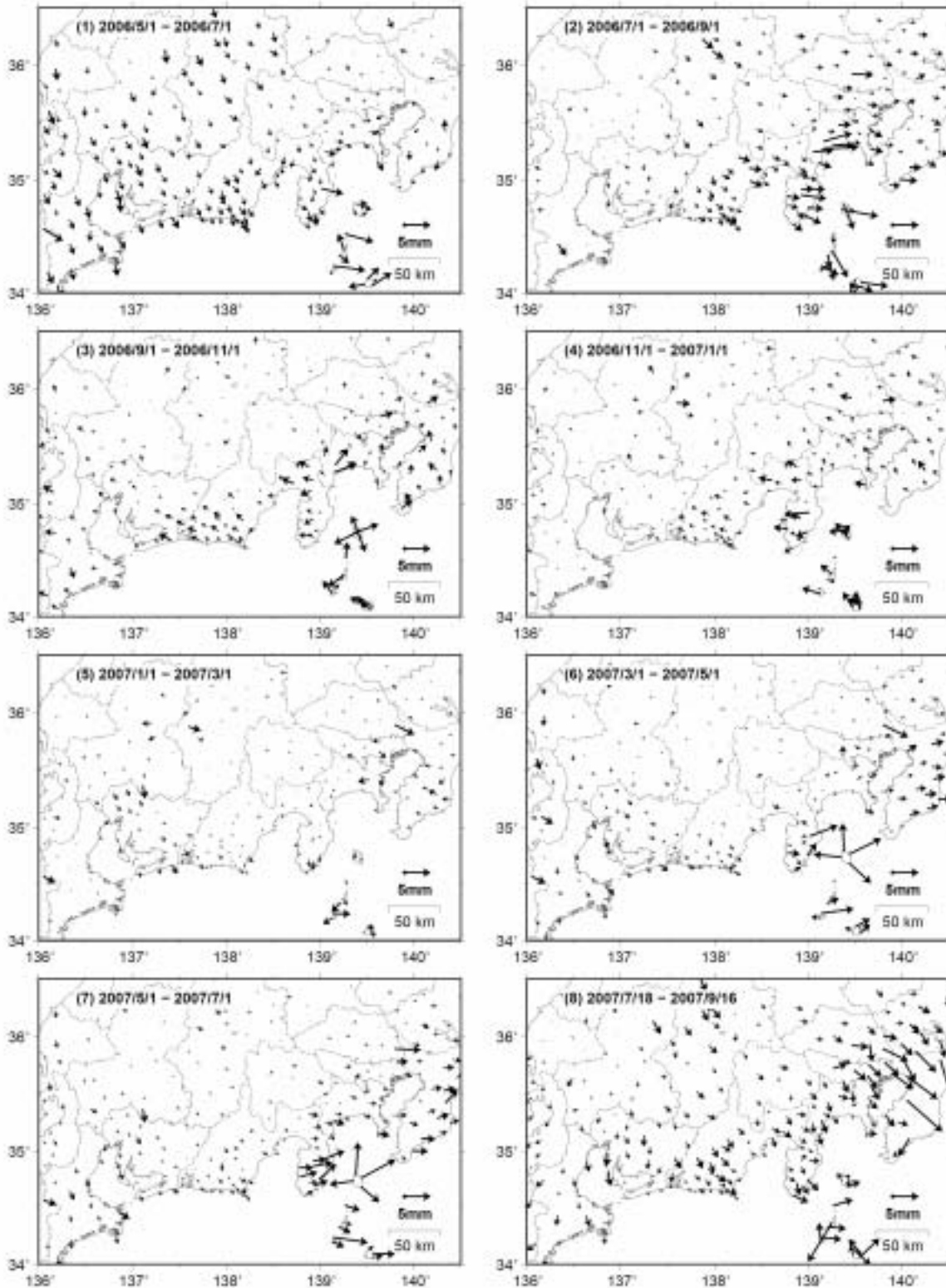


国土地理院資料

図7 国土地理院のGPS観測結果による東海地域の非定常的地殻変動

上図は、最近のGPS観測点が1年前と比べて水平方向にどの程度動いたかを示したものである。（最近：2007年8月23日～2007年9月1日、新潟県のGPS観測点大湊を固定。）東海地方に西～北西方向に変動する領域が見られるが、これは下左図の、スロースリップ（ゆっくり滑り）開始以前の定常的な状態と似ている。

2ヶ月ごとの東海非定常地殻変動（水平変動）【大潟固定】



- ・平滑化した非定常地殻変動について、2ヶ月ごとの変動量を表示している。
- ・(6)は、2007年3月25日に発生した能登半島地震による地殻変動の影響を取り除いている。
- ・(8)は、2007年7月16日に発生した新潟県中越沖地震による地殻変動の影響を取り除いている（暫定）。

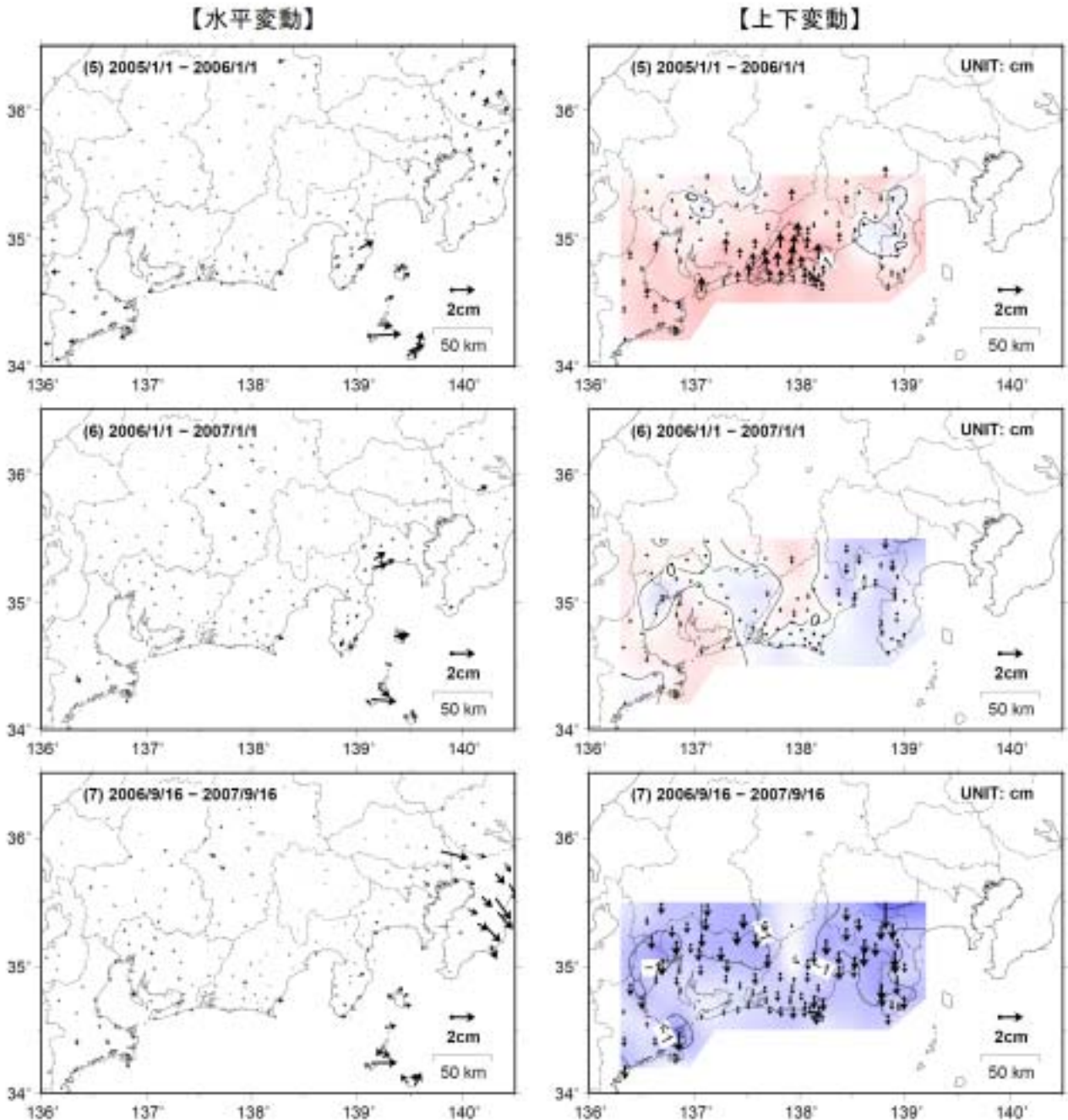
【年周推定（1998.0-2000.0）】国土地理院資料

図8 国土地理院のGPS観測結果による2ヶ月間で見た東海非定常地殻変動

（2006年5月～2007年9月16日の水平変動）大潟固定

最近の図(8)で東海地域に見られる南東向きの動きは、年周変化であると考えられる。ゆっくり滑りによる地殻変動は発生していないと思われる。房総半島で見られる南東向きの動きは、千葉県東方沖のゆっくり滑りによるものと考えられる。

1 年間で見た東海非定常地殻変動 【大潟固定】



- ・平滑化した非定常地殻変動について、1 年間の変動量を表示している。
- ・2003 年以降の上下成分は年周/半年周成分を除去していない。
- ・〈7〉は、2007 年 3 月 25 日に発生した能登半島地震による地殻変動の影響を取り除いている。
- ・〈7〉は、2007 年 7 月 16 日に発生した新潟県中越沖地震による地殻変動の影響を取り除いている（暫定）。

【年周推定 (1998.0-2000.0)】国土地理院資料

図 9 国土地理院の GPS 観測結果による 1 年間で見た東海非定常地殻変動

(2005 年、2006 年、最近 1 年間の水平変動と上下変動) 大潟固定

ゆっくり滑りが停止した後の 2006 年以降 (6) と (7) は、水平変動も上下変動も小さく、浜名湖周辺の顕著な隆起も見られない。

なお、各図の番号は (1)2001 年からの通し番号である。((1)2001 年 ~ (4)2004 年については、平成 19 年 4 月地震・火山月報 (防災編) p31 を参照。)

日本の主な火山活動

平成 19 年（2007 年）9 月の主な火山活動は次のとおりである。

【噴火した火山】

諏訪之瀬島 [活発な状況（レベル 3）]

17 日に爆発的噴火が 2 回発生したほか、28～29 日に小規模な噴火が発生した。

【活発もしくはやや活発な状況の火山】

樽前山 [やや活発な状況]

A 火口及び B 噴気孔群は依然として高温の状態が続いていると推定される。

三宅島 [やや活発な状況]

多量の火山ガスの放出が続いている。

硫黄島 [やや活発な状況]

国土地理院の観測によると、島全体が大きく隆起する地殻変動が続いている。

福徳岡ノ場 [やや活発な状況]

20 日に第三管区海上保安本部が、25 日に海上自衛隊が上空から行った観測によると、火山活動によると見られる変色水が確認された。

桜 島 [比較的静穏な噴火活動（レベル 2）]

9 月は噴火が観測されなかったが、長期にわたり噴火活動が続いている。

薩摩硫黄島 [やや活発な状況（レベル 2）]

噴煙活動はやや活発で、火山性地震のやや多い状態が続いている。

口永良部島 [やや活発な状況（レベル 2）]

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

注 1 レベル

本資料で示すレベルは、現在 12 火山に導入している火山活動度レベルをいう。

注 2 記号の意味

：噴火した火山

：活動が活発もしくはやや活発な状況の火山

：静穏な状況であるが観測データ等に変化のあった火山、もしくはその他の記事を掲載した火山

：海底火山

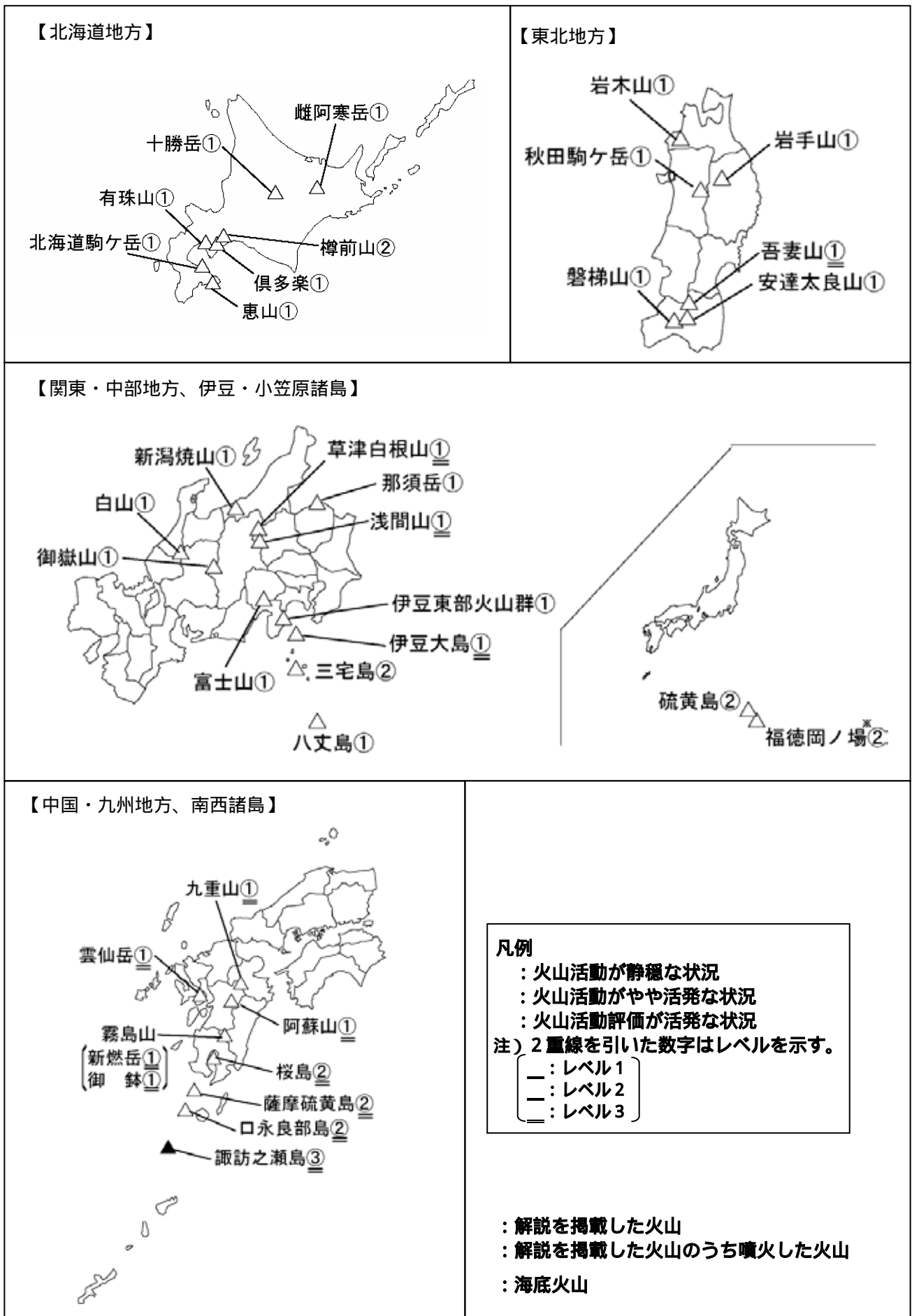


図1 各火山の活動状況

各火山の活動解説

【北海道地方】

雌阿寒岳 めあかんだげ 【静穏な状況】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなかった。また、地磁気連続観測¹⁾では、96-1 火口付近の地下の温度低下によると考えられる変化が続いており、火山活動は静穏に経過している。

1) プロトン磁力計による観測。火山は磁石のように磁気を帯びている。火山体内部で温度上昇があると、山頂火口の北側で全磁力値が増加し、南側で減少がみられる。

十勝岳 としかるだけ 【静穏な状況】

8 月 17 日～21 日（前期間）及び 11～13 日に 62-2 火口周辺で行った GPS 繰り返し観測では、特段の変化はなく、2007 年 7 月以降は膨張傾向は認められていない。

11～13 日に行った現地調査では、62-2 火口及びその周辺の火口の噴煙の状況や地表面温度分布²⁾に変化はなかった。地震活動、噴煙活動は低調な状態で、山麓での GPS 連続観測にも特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過している。

2) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感じて温度分布を測定する測器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。

樽前山 たるまえざん 【やや活発な状況】

A 火口及び B 噴気孔群は、高温の状態が続いていると推定される。

火山活動はやや活発な状況で経過しており、火口周辺では注意が必要である。

なお、地震活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなかった。

倶多楽 くつたら 【静穏な状況】

地震活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過している。

有珠山 うすざん 【静穏な状況】

18 日及び 21 日に行った現地調査では、西山西麓火口群及び山頂火口原の噴気や地表面温度分布²⁾に変化はなかった。地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過している。

北海道駒ヶ岳 ほっかいどうこまがたけ 【静穏な状況】

GPS 連続観測ではわずかな山体膨張が継続し、昭和 4 年火口では、2003 年 9 月以降見られている弱い噴気が時々観測されたが、地震活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過している。

恵山 えざん 【静穏な状況】

地震活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過している。

【東北地方】

岩木山 いわきざん 【静穏な状況】

8 月 30 日（前期間）に行った現地調査では、赤沢上流爆裂火口跡及び鳥ノ海火口に噴気は認められなかった。地震活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過している。

岩手山 いわてざん 【静穏な状況】

8 月 28～29 日（前期間）に行った現地調査では、大地獄谷の噴気の状況や地表面温度分布²⁾に変化はなかった。地震活動、噴煙活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過している。

秋田駒ヶ岳 あきたこまがたけ 【静穏な状況】

地震活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過している。

吾妻山 あづまやま 【静穏な状況（レベル 1）】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過している。

安達太良山 あだたらやま 【静穏な状況】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過している。

磐梯山 ばんだいらん 【静穏な状況】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過している。

【関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島】

那須岳 なすだけ 【静穏な状況】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過している。

草津白根山 くまつしらねさん 【静穏な状況（レベル1）】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなかった。また、地磁気連続観測¹⁾では、湯釜火口付近の地下の温度低下によると考えられる変化が続いており、火山活動は静穏に経過している。

浅間山 あさまやま 【静穏な状況（レベル1）】

噴煙活動はやや活発な状態が続いており、噴煙高度は火口縁上 100～200m で推移した。

13 日及び 20 日に行った現地調査では、二酸化硫黄放出量³⁾は一日当たり 80～200 トンで、やや少ない状態が続いている。

地震活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過している。

3) 紫外線差分吸収分光計（DOAS）による。DOASは、紫外線のある波長帯の二酸化硫黄の吸収を利用して、二酸化硫黄濃度を測定する機器。

新潟焼山 にいがたやけやま 【静穏な状況】

地震活動は低調な状態で、新潟県土木部砂防課の焼山温泉監視カメラでは噴煙活動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過している。

御嶽山 おんたけさん 【静穏な状況】

18～21 日に行った現地調査では、79-7 火口及び 79-10 火口の噴気の状態や地表面温度分布²⁾に変化はなかった。

振幅が小さく継続時間の短い火山性微動や、山頂付近のごく少量の噴気が時々観測されているが、地震活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過している。

白山 はくさん 【静穏な状況】

地震活動は低調な状態で、国土交通省金沢河川国道事務所の土砂災害監視用カメラでは山頂部に噴気は認められず、火山活動は静穏に経過している。

富士山 ふじさん 【静穏な状況】

地震活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過している。

伊豆東部火山群 いずとうぶかざんぐん 【静穏な状況】

地震活動は低調な状態で、噴煙などの表面現象は認められず、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過している。

伊豆大島 いずおshima 【静穏な状況（レベル1）】

GPS、光波距離計⁴⁾及び体積歪計⁵⁾による連続観測では、地下深部へのマグマ注入によると考えられる長期的な島全体の膨張傾向が継続している。

20 日に行った現地調査では、三原山山頂火口内及びその周辺に引き続き弱い噴気が認められた。三原山山頂火口内の中央火孔の温度やその地表面温度分布²⁾に変化はなかった。

16 日に島の西方沖を震源とするマグニチュード⁶⁾1.8 の地震が発生し、震源に近い伊豆大島町元町と伊豆大島町岡田で震度 1 を観測したが、この地震の前後で地震増加はみられず、体積歪計⁵⁾や傾斜計⁷⁾による地殻変動データにも特段の変化は認められず、火山活動は静穏に経過している。

4) レーザなどを用いて山体に設置した反射鏡までの距離を測定する機器。山体の膨張や収縮による距離の変化を観測している。

5) センサーで周囲の岩盤から受ける力による体積の変化をとらえ、岩石の伸びや縮みを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測される。

6) マグニチュードは地震の規模を示す。資料中のマグニチュードは暫定値で、後日変更することがある。

7) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測される。

三宅島 みやけしま 【やや活発な状況】

3 日、20 日及び 28 日に行った現地調査では、二酸化硫黄放出量³⁾は一日当たり 1,100～4,100 トンで、依然として多量の火山ガス放出が続いている。なお、三宅村の火山ガス濃度観測によると、山麓でたびたび高濃度の二酸化硫黄が観測されている。

山頂火口直下を震源とする火山性地震はやや多い状態が続いている。1 日 22 時 33 分にマグニチュード⁶⁾1.9 の高周波地震⁸⁾が発生し、三宅村坪田と三宅村神着で震度 1 を観測した。また、13 日 00 時 19 分にはマグニチュード⁶⁾1.7 の空振⁹⁾を伴う低周波地震¹⁰⁾が発生し、三宅村神着で震度 1 を観測した。地震発生時の噴煙の状況は天候不良のため確認できなかった。

噴煙高度は火口縁上概ね 200m で推移した。

地磁気連続観測¹⁾では、山体内部の温度低下による変化が鈍化しながらも続いている。

GPS 連続観測では、山体浅部の収縮が徐々に小さくなりながら、現在も継続している。

火山活動はやや活発な状況で経過しており、多

量の火山ガスの放出は当分継続すると考えられる。風下にあたる地区では火山ガスに対する警戒が必要である。また、雨による泥流にも注意が必要である。

の破壊によって生じる。

9) 噴火などで発生した空気の急激な圧力変化が大気中を周囲に伝わる現象。

10) 周期の長い波を特徴とした地震。三宅島では、低周波地震が発生した場合には、山頂火口から火山灰噴出を伴うことがある。

8) 周期の短い波を特徴とした地震で、火山体内部の岩盤

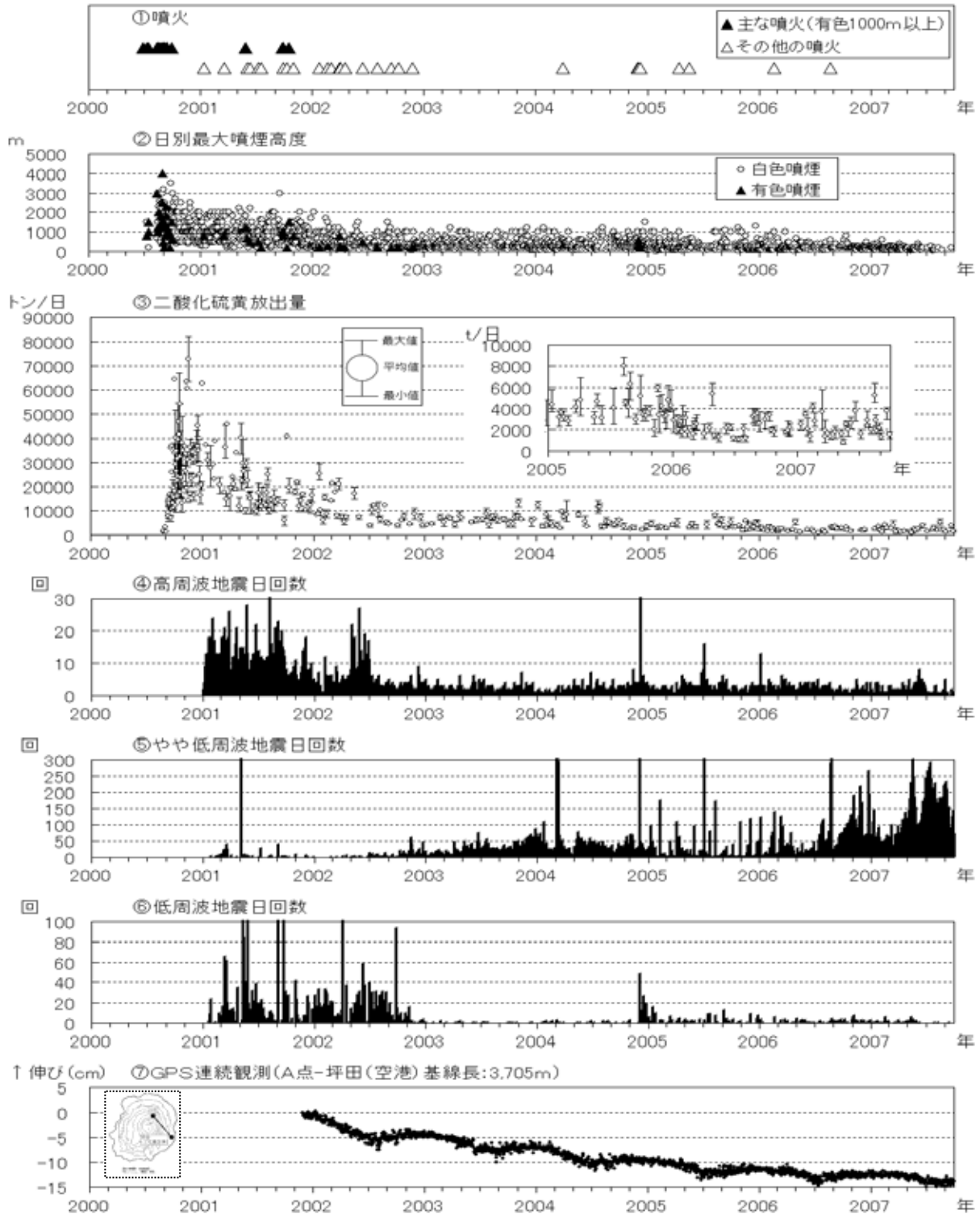


図2 三宅島 最近の火山活動の推移（2000年1月～2007年9月）

は、海上保安庁、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、東京消防庁及び警視庁の協力を得て作成。
、及び は、地震の種類別に計数を開始した2001年1月1日からのデータを掲載

八丈島 はちじょうじま 【静穏な状況】

地震活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過している。

硫黄島 いおうじま 【やや活発な状況】

国土地理院及び防災科学技術研究所の観測によると、島全体が大きく隆起する地殻変動が継続しており、島内の地震活動は回数がやや多いものの落ち着いた状態で推移している。

硫黄島の火山活動はやや活発な状況で経過しており、従来から小規模な水蒸気爆発が見られていた領域では、今後も注意が必要である。

福德岡ノ場 ふくとくおかのば 【やや活発な状況】

20 日の第三管区海上保安本部及び 25 日の海上自衛隊が行った上空からの観測によると、火山活動によるとみられる変色水が確認された。

【九州地方及び南西諸島】

九重山 くじゅうざん 【静穏な状況（レベル 1）】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過している。

阿蘇山 あそざん 【静穏な状況（レベル 1）】

15 日夜、阿蘇火山博物館の火口カメラにより、中岳第一火口南側火口壁の一部の噴気孔で赤熱現象が確認された。この現象は 18 日、20 日及び 26 日に行った現地調査でも確認されているが、中岳第一火口の湯だまりの湯量や表面温度²⁾に特段の変化はなく、きわめて局所的な現象と考えられる。

12 日及び 18 日に行った現地調査では、二酸化硫黄放出量³⁾は一日当たり 200～500 トンで、やや少ない状態が続いている。

地震活動は低調な状態で、噴煙活動、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過している。

なお、阿蘇火山防災会議協議会の観測によると、中岳第一火口付近ではときどき高濃度の二酸化硫黄が観測されており、中岳第一火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要である。

雲仙岳 うんげんだけ 【静穏な状況（レベル 1）】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過している。

霧島山（新燃岳）きりしまやま しんもろだけ 【静穏な状況（レベル 1）】

GPS 連続観測及び繰り返し観測では、新燃岳のわずかな山体膨張が継続しているが、地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地磁気繰り返し観測データ¹⁾に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過している。

霧島山（御鉢）きりしまやま おはち 【静穏な状況（レベル 1）】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地磁気繰り返し観測データ¹⁾や地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過している。

桜島 さくらじま 【比較的静穏な噴火活動（レベル 2）】

今期間、噴火は観測されなかった。

6 日、14 日及び 27 日に行った現地調査では、二酸化硫黄放出量³⁾は一日当たり 300～900 トンで、2007 年 5 月の昭和火口噴火以前と同程度のやや多い状態が続いている。

火山性地震及び火山性微動は少ない状態が続いている。

国土地理院による GPS 連続観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部へのマグマ注入による膨張が継続している。

桜島では長期にわたり噴火活動が継続しており、南岳山頂火口及び昭和火口から半径 2 km 以内では注意が必要である。

薩摩硫黄島 さつまいおうじま 【やや活発な状況（レベル 2）】

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや活発で、噴煙高度は火口縁上概ね 200m で推移した。

火山性地震はやや多い状態が続いている。

火山活動はやや活発な状況で経過しており、硫黄岳山頂火口周辺では注意が必要である。

口永良部島 くちのえらぶじま 【やや活発な状況（レベル 2）】

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

火山活動はやや活発な状況で経過しており、新岳火口周辺では注意が必要である。

なお、遠望カメラ（新岳火口の北西約 3 km に設置）による観測では新岳火口周辺の噴気等は観測されず、GPS 連続観測では、新岳の膨張を示す地殻変動は 2007 年 6 月頃よりほぼ停止した状態で経過している。

すねのせしま
諏訪之瀬島 【活発な状況（レベル3）】

17 日に御岳火口で爆発的噴火が 2 回発生したほか、十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、28～29 日に小規模な噴火が発生し、集落（御岳の南

南西約 4km）で微量の降灰が認められた。

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

火山活動は活発な状況で経過しており、御岳火口から半径 2 km 以内では注意が必要である。

資料 1 2007 年 9 月の火山情報発表状況

火山情報の発表はなかった。

資料 2 過去 1 年間の火山活動の状況（やや活発もしくは活発な状況であった火山）

火 山 名		平成18年			平成19年									
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
十 勝 岳	噴火活動													
樽 前 山	噴火活動													
御 嶽 山	噴火活動													
三 宅 島	噴火活動													
硫 黄 島	噴火活動													
福 徳 岡 ノ 場	噴火活動												-	
霧 島 山（新燃岳）	噴火レベル													
霧 島 山（御鉢）	噴火レベル													
桜 島	噴火レベル													
薩 摩 硫 黄 島	噴火レベル													
口 永 良 部 島	噴火レベル													
諏 訪 之 瀬 島	噴火レベル													

「噴火」は噴火の有無を示す。「レベル」あるいは「活動」は、火山活動度レベルが導入されている火山については火山活動度レベルを、それ以外の火山については活動評価を示す。

2007 年 9 月に観測の報告があり、やや活発な状況と評価した。

凡例

- ：噴火
- ：火山活動が静穏な状況もしくはレベル 1
- ：火山活動がやや活発な状況もしくはレベル 2
- ：火山活動が活発な状況もしくはレベル 3
- ：観測データがなく評価対象外

資料 3 全国の火山活動評価結果（9月30日現在）

（1）主な活火山（36 火山）

	火山名	火山活動評価（9月30日現在）	最近の活動経過
北海道地方	雌阿寒岳	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏 平成 18 年 2 月 18 日 やや活発 3 月 21 日 【噴火】活発 4 月 12 日 やや活発 5 月 25 日 静穏
	十勝岳	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 やや活発 平成 19 年 2 月 16 日 静穏
	樽前山	やや活発な状況	平成 17 年 6 月 21 日 やや活発
	倶多楽	静穏な状況	平成 18 年 2 月 28 日 静穏
	有珠山	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	北海道駒ヶ岳	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	恵山	静穏な状況	平成 17 年 11 月 2 日 静穏
東北地方	岩手山	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	秋田駒ヶ岳	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	栗駒山	静穏な状況	平成 18 年 11 月 14 日 静穏
	吾妻山	静穏な状況（レベル1）	平成 17 年 2 月 1 日 静穏
	安達太良山	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	磐梯山	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島	那須岳	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	草津白根山	静穏な状況（レベル1）	平成 17 年 2 月 1 日 静穏（レベル1）
	浅間山	静穏な状況（レベル1）	平成 15 年 11 月 4 日 やや活発（レベル2） 平成 16 年 7 月 20 日 静穏（レベル1） 7 月 31 日 やや活発（レベル2） 9 月 1 日 【噴火】活発（レベル3） 平成 17 年 6 月 21 日 やや活発（レベル2） 平成 18 年 9 月 22 日 静穏（レベル1）
	新潟焼山	静穏な状況	平成 18 年 2 月 28 日 静穏
	御嶽山	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏 平成 19 年 1 月 19 日 やや活発 平成 19 年 5 月 25 日 静穏
	白山	静穏な状況	平成 17 年 11 月 2 日 静穏
	富士山	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	箱根山	静穏な状況	平成 18 年 11 月 14 日 静穏
	伊豆東部火山群	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	伊豆大島	静穏な状況（レベル1）	平成 15 年 11 月 4 日 静穏（レベル1）
	三宅島	やや活発な状況	平成 17 年 6 月 21 日 やや活発
	八丈島	静穏な状況	平成 18 年 2 月 28 日 静穏
	硫黄島	やや活発な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏 平成 19 年 1 月 9 日 やや活発
福徳岡ノ場	やや活発な状況	平成 17 年 11 月 2 日 やや活発	

	火山名	火山活動評価（9月30日現在）	最近の活動経過
九州地方・南西諸島	九重山	静穏な状況（レベル1）	平成 17 年 2 月 1 日 静穏（レベル1）
	阿蘇山	静穏な状況（レベル1）	平成 15 年 11 月 4 日 やや活発（レベル2） 平成 16 年 1 月 14 日 【噴火（土砂噴出）】 活発（レベル3） 2 月 13 日 やや活発（レベル2） 平成 17 年 4 月 14 日 【噴火（土砂噴出）】 活発（レベル3） 5 月 13 日 やや活発（レベル2） 平成 18 年 1 月 20 日 静穏（レベル1） 3 月 24 日 やや活発（レベル2） 8 月 4 日 静穏（レベル1）
	雲仙岳	静穏な状況（レベル1）	平成 15 年 11 月 4 日 静穏（レベル1）
	霧島山（新燃岳）	静穏な状況（レベル1）	平成 17 年 2 月 1 日 静穏（レベル1） 平成 18 年 2 月 1 日 やや活発（レベル2） 5 月 22 日 静穏（レベル1） 平成 18 年 12 月 3 日 やや活発（レベル2） 平成 19 年 1 月 9 日 静穏（レベル1）
	霧島山（御鉢）	静穏な状況（レベル1）	平成 17 年 2 月 1 日 やや活発（レベル2） 平成 18 年 5 月 22 日 静穏（レベル1） 平成 19 年 2 月 5 日 やや活発（レベル2） 平成 19 年 3 月 5 日 静穏（レベル1）
	桜島	比較的静穏な噴火活動（レベル2）	平成 15 年 11 月 4 日 比較的静穏な噴火活動（レベル2） 平成 18 年 6 月 12 日 【昭和火口から噴火】 活発（レベル3） 8 月 18 日 比較的静穏な噴火活動（レベル2）
	薩摩硫黄島	やや活発な状況（レベル2）	平成 17 年 2 月 1 日 やや活発（レベル2）
	口永良部島	やや活発な状況（レベル2）	平成 17 年 2 月 1 日 やや活発（レベル2）
	諏訪之瀬島	活発な状況（レベル3）	平成 17 年 2 月 1 日 【噴火継続】 活発（レベル3）
	硫黄島	静穏な状況	平成 19 年 2 月 16 日 静穏

注）最近の活動経過の欄は、火山活動度レベル導入火山（ ）にはレベル導入日からの、それ以外の火山（ ）には第 101 回火山噴火予知連絡会（平成 17 年 6 月 21 日開催）以降最初に評価を明記した火山噴火予知連絡会開催日からの活動経過を示しています。

（2）その他の活火山（49 火山）

以下の活火山では、いずれも火山活動は静穏な状況である。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌプリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島
東北地方	恐山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方 及び伊豆・小笠原諸島	高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島

（補足）評価対象外の活火山（23 火山）

無人島：伊豆鳥島、西之島

岩礁あるいは岩：ペヨネース列岩、須美寿島、孀婦岩

海底火山：海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山、西表島北北東海底火山

北方四島：茂世路岳、散布山、指白岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

世界の主な地震

9月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

2007年9月1日00時～9月30日24時（日本時間）

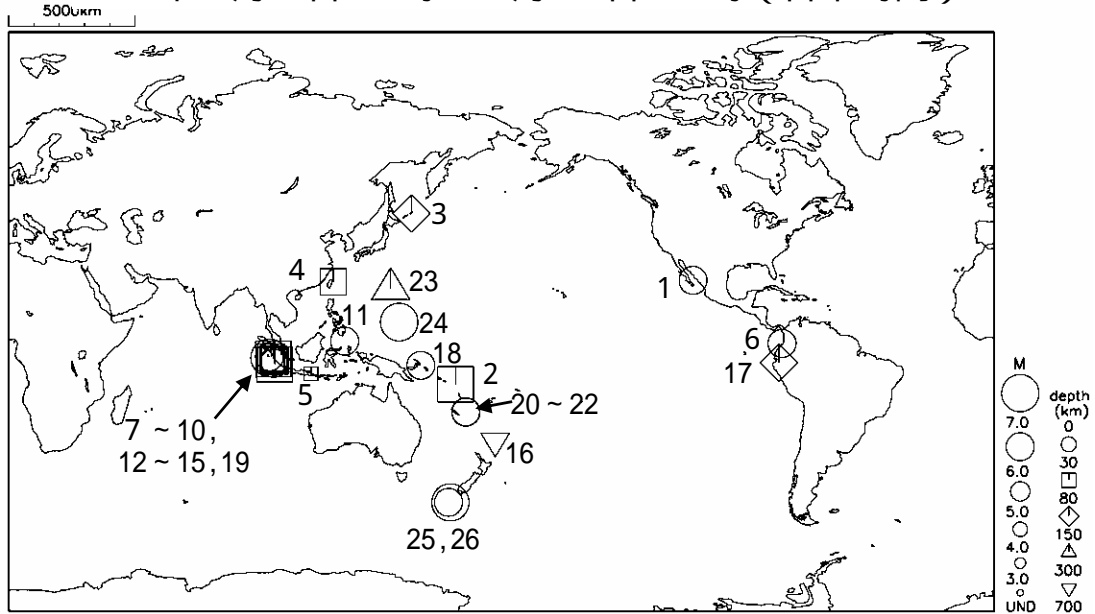


図1 2007年9月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布
 <震源要素は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による>

- * : 数字は、表1の番号に対応する。
- ** : マグニチュードは mb（実体波マグニチュード）、Ms（表面波マグニチュード）、Mw（モーメントマグニチュード）のいずれか大きい値を用いて表示している。
- *** : 日本付近で発生した地震については、震源要素及びマグニチュードは気象庁による。

表1 2007年9月に世界で発生したマグニチュード6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	月 日 時	緯度	経度	深さ (km)	mb	Ms	Mw	震央地名	備考(被害状況など)
1	09月02日04時14分	N24° 53.8'W109° 41.1'		10	5.6	5.9	6.1	メキシコ、カリフォルニア湾	
2	09月02日10時05分	S11° 36.5'E165° 46.4'		35	5.9	7.3	7.2	サンタクルーズ諸島	NWPTA発表（p32参照）
3	09月04日01時14分	N45° 01.1'E150° 07.4'		126	6.2	(6.3)	6.2	千島列島	(p4参照)
4	09月07日02時51分	N24° 24.7'E122° 16.4'		66	6.0	(6.6)	6.2	台湾	建物被害1件、NWPTA発表（p10参照）
5	09月10日03時36分	S 7° 51.0'E114° 19.5'		35	4.8			バリ海	負傷者13人以上、建物被害
6	09月10日10時49分	N 2° 57.3'W 78° 02.2'		10			6.8	コロンビア西岸	
7	09月12日20時10分	S 4° 30.0'E101° 21.6'		34	7.0	8.5	8.4	インドネシア、スマトラ南部	死者25人以上、負傷者161人以上
8	09月12日23時40分	S 3° 13.6'E101° 21.6'		18	6.0			インドネシア、スマトラ南部	建物被害52,522件
9	09月13日08時49分	S 2° 32.1'E100° 55.6'		35			7.9	インドネシア、スマトラ南部	No.7の地震により津波を観測 TWI発表(No.7.9.10) (p33~34参照)
10	09月13日12時35分	S 2° 09.3'E 99° 34.8'		22	6.4		7.0	インドネシア、スマトラ南部	
11	09月13日18時48分	N 3° 47.2'E126° 18.7'		10	6.2	6.2	6.3	インドネシア、タラウド諸島	NWPTA発表
12	09月14日01時09分	S 3° 13.5'E101° 27.7'		50	6.1		6.0	インドネシア、スマトラ南部	
13	09月14日15時01分	S 4° 06.6'E101° 09.2'		23	6.0		6.2	インドネシア、スマトラ南部	TWI発表
14	09月19日16時27分	S 2° 42.3'E100° 56.7'		35	5.8	5.6	6.0	インドネシア、スマトラ南部	
15	09月20日17時31分	S 2° 01.3'E100° 08.2'		30	6.4	6.5	6.7	インドネシア、スマトラ南部	
16	09月25日14時16分	S30° 58.9'E179° 53.0'		413	5.1		6.2	ケルマデック諸島	
17	09月26日13時43分	S 3° 54.2'W 79° 11.1'		100	6.2		5.9	エクアドル沿岸	
18	09月26日21時36分	S 4° 52.8'E153° 24.1'		10			6.7	バブアニューギニア、ニューアイルランド	
19	09月27日00時43分	S 1° 44.7'E 99° 30.9'		26	5.8	6.1	6.0	インドネシア、スマトラ南部	
20	09月28日04時57分	S21° 16.6'E169° 21.9'		21	6.2	6.3	6.1	ローヤリティー諸島南東方	
21	09月28日10時01分	S21° 20.8'E169° 25.2'		10	5.9	6.4	6.3	ローヤリティー諸島南東方	
22	09月28日10時35分	S21° 15.4'E169° 26.4'		10	6.1	6.5	6.5	ローヤリティー諸島南東方	
23	09月28日22時38分	N21° 59.3'E142° 41.0'		272			7.4	マリアナ諸島	(p35参照)
24	09月30日11時08分	N10° 29.2'E145° 40.9'		10	6.4	7.1	6.9	マリアナ諸島南方	NWPTA発表（p36参照）
25	09月30日14時23分	S49° 25.0'E163° 57.2'		10	6.4	7.3	7.4	オークランド諸島	(p37参照)
26	09月30日18時47分	S49° 24.5'E163° 15.9'		10	6.7	6.7	6.6	オークランド諸島	

- ・震源要素、被害状況等は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による(2007年10月10日現在)。ただし、日本付近で発生した地震については震源要素及びマグニチュード(Msの欄に括弧を付して記載)は気象庁による。
- ・時分は震源時で日本時間[日本時間=協定世界時+9時間]である。
- ・NWPTAは、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報、TWIは気象庁がインド洋沿岸諸国に暫定提供しているインド洋津波監視情報である(地震・火山月報(防災編)2005年5月号参照)。

9月2日 サンタクルーズ諸島の地震

9月2日 10時05分（日本時間）サンタクルーズ諸島でマグニチュード Ms7.3（米国地質調査所[以下、USGS と表記]による表面波マグニチュード）の地震が発生した。この地震について、気象庁は同日 10時32分に「局地的に破壊的な津波発生の可能性あり」の旨の北西太平洋津波情報を、11時15分に「日本への津波の影響なし」の旨の遠地地震に関する情報（日本国内向け）を発表した。

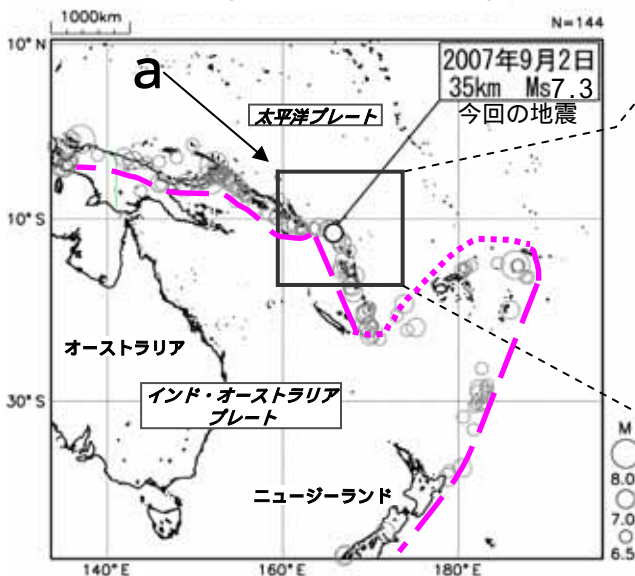
この地震による被害の報告はない。

この付近はインド・オーストラリアプレートが太平洋プレートの下に高角度で沈み込んでいるところで、今回の地震はこのプレート境界付近で発生したと考えられる。今回の地震の発震機構は東北東-西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、この付近でよく見られる型であった。

今回の地震の震源付近は地震活動の活発なところで、1997年4月21日に Ms7.9（被害の報告なし、土佐清水で 16cm の津波）など M7 を超える地震が時折発生している。

震央分布図

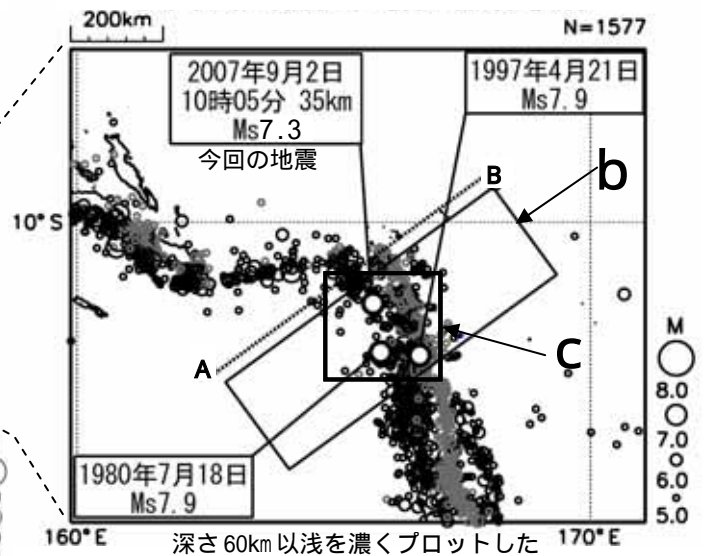
（1990年1月以降、M 6.5、深さ 100km 以浅）
震源データは USGS による。破線はおおまかなプレート境界（点線は不明瞭な境界）を示す。



2007年8月以前の震源を薄くプロットした

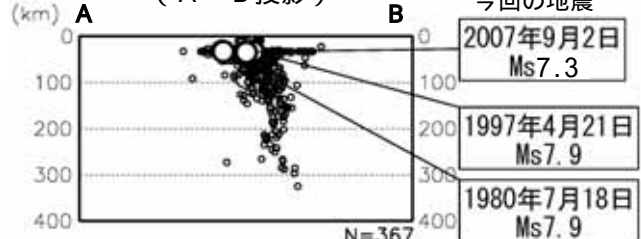
領域 a の震央分布図

（1970年1月以降、M 5.0、深さ 400km 以浅）



領域 b 内の断面図

（A B 投影）

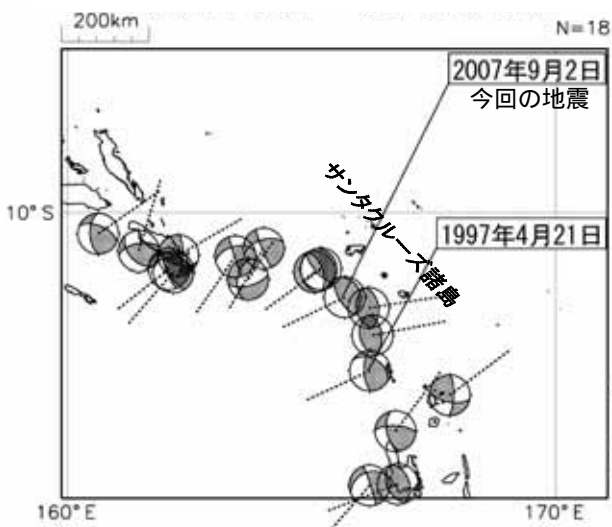


USGS によると、震源計算により深さの精度が得られない地震については、深さを 33km に固定している。

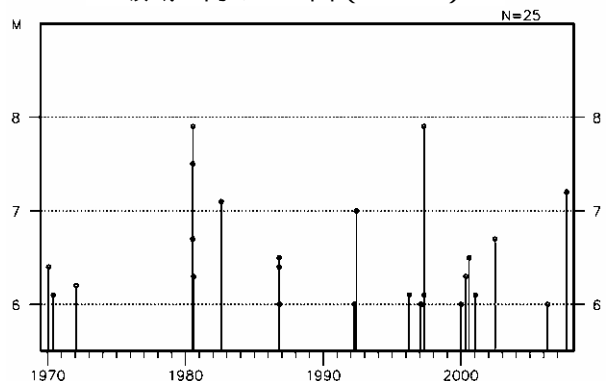
領域 c の発震機構分布図 (Global CMT 解)

（2000年以降、M 6.0、深さ 50km 以浅）

シンボルからのびる点線は圧力軸の方向を示す。



領域 c 内の M-T 図 (M 6.0)



9 月 12 日 インドネシア、スマトラ南部の地震

2007 年 9 月 12 日 20 時 10 分（日本時間）インドネシアのスマトラ南部（首都ジャカルタの西北西約 640km 付近）の深さ 34km で Mw8.4（Global CMT 解によるモーメントマグニチュード、以下同じ）の地震が発生した。この地震により、インドネシアのブンクルとパダンで死者 25 名以上、負傷者 161 名などの被害を生じた（10 月 10 日現在、USGS による）。この地震について気象庁は、同日 20 時 36 分に「インド洋の広域で破壊的な津波発生の可能性あり」の旨の「インド洋津波監視情報」を、20 時 47 分に「日本への津波の影響なし、インド洋で津波発生の可能性あり」の旨の「遠地地震に関する情報」を発表した。この地震により津波が発生し、インドネシアのパダンで津波の最大の高さ 1.1m を観測した。

この付近はインド・オーストラリアプレートがユーラシアプレートの下に沈み込んでいる地域で、今回の地震はインド・オーストラリアプレートとユーラシアプレートの境界で発生した地震と考えられる。

今回の地震の震源付近では 2000 年 6 月 5 日に Mw7.8 の地震が発生し、死者 103 名、負傷者 2,585 名などの被害が発生している。インドネシア付近では、2004 年 12 月 26 日に発生したスマトラ島西方沖の地震（Mw9.0）など、甚大な被害を伴う地震が発生している。

図 1 - 1 震央分布図（1970 年 1 月 1 日～、M 5.0、深さ 100km 以浅）
震源データは USGS、Mw は Global CMT 解による。2007 年 9 月 1 日以降の震源を濃く表示した。→ はインド・オーストラリアプレートのおおよその進行方向を示す。

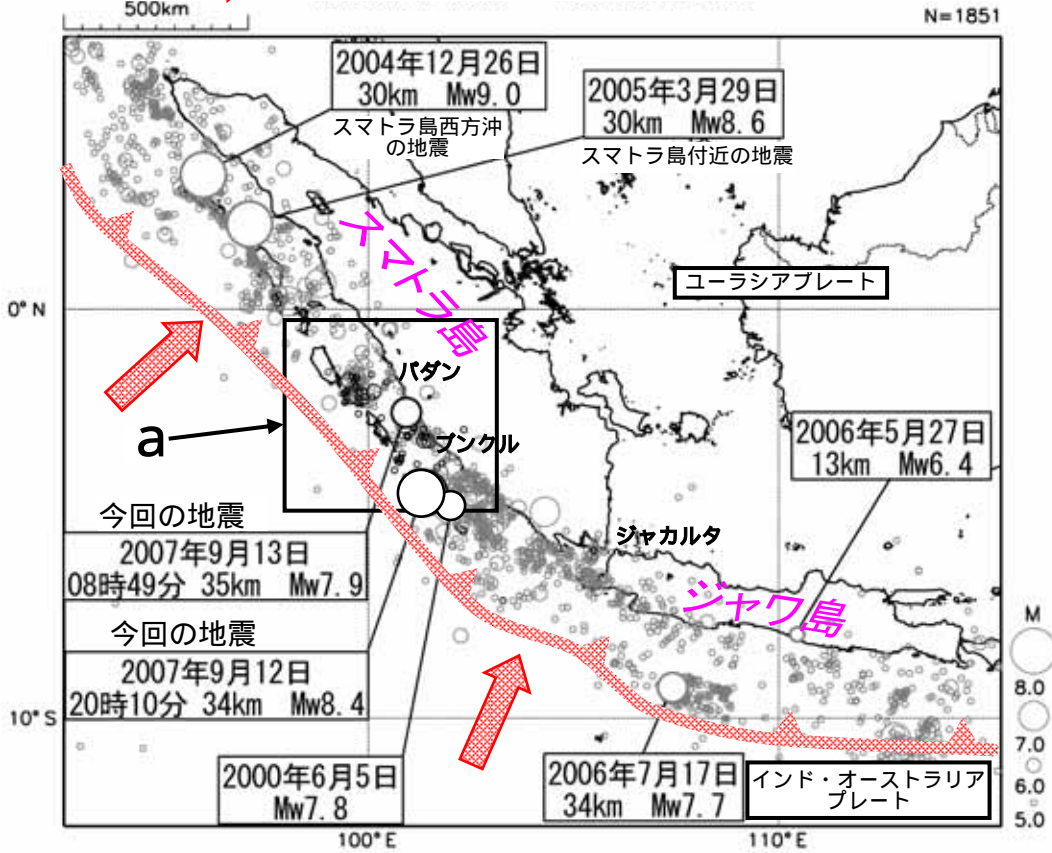


図 1 - 3 領域 a の拡大図（深さ 0~300km、M 4.0）
2007 年 9 月 1 日以降の震源を濃く表示

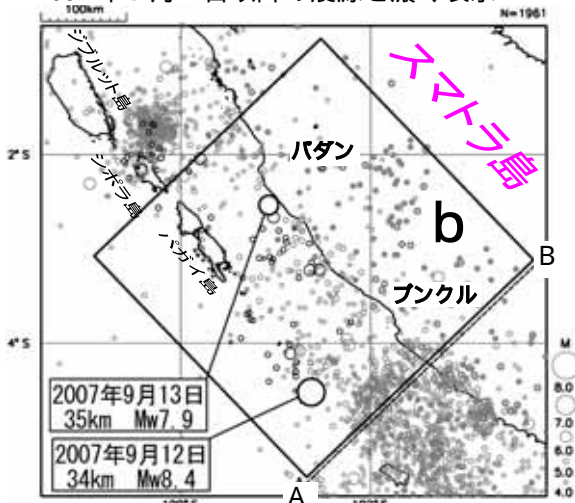
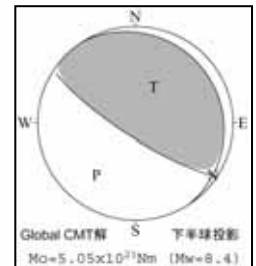
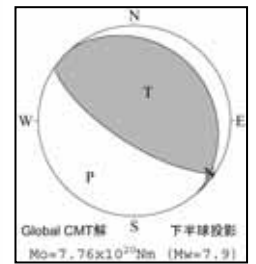


図 1 - 2 Global CMT 解

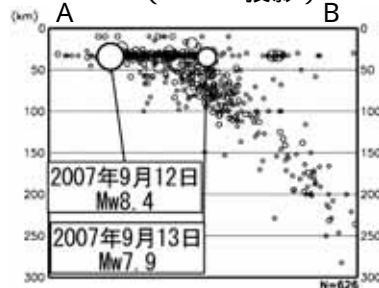


2007 年 9 月 12 日 Mw8.4



2007 年 9 月 13 日 Mw7.9

図 1 - 4 領域 b の断面図（A - B 投影）



今回の地震（Mw8.4）の発震機構は北東 - 南西方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。なお、今回の地震の震源から北北西約 220km 離れた場所で、9 月 13 日 08 時 49 分に Mw7.9（深さ 35km）の地震が発生している。

（ 1 ） 地震波形の比較

最近 10 年間の世界で発生した地震をみると、今回の地震の規模は 2004 年 12 月 26 日のスマトラ島西方沖の地震（Mw9.0）、2005 年 3 月 29 日のスマトラ島付近の地震（Mw8.6）に次いで大きいものであった。気象庁精密地震観測室（長野県長野市松代町）の広帯域地震計で観測した、今回の地震と 2004 年 12 月 26 日スマトラ島西方沖（Mw9.0）の地震波形を図 2 に示す。今回の地震は、2004 年 12 月 26 日スマトラ島西方沖の地震（Mw9.0）ほどは規模が大きくなかったことが波形からも見て取れる。

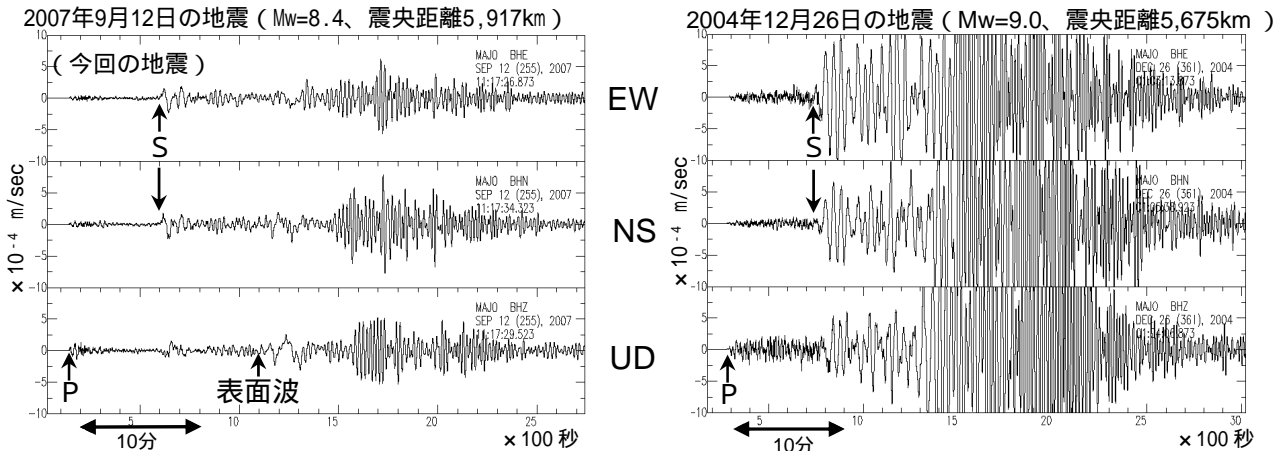


図 2 今回の地震（Mw8.4）と 2004 年 12 月 26 日スマトラ島西方沖（Mw9.0）の地震波形
気象庁精密地震観測室（長野県長野市松代町）の広帯域地震計で観測された波形を示す。図中に P 波、S 波、表面波を矢印で示した。縦軸のスケールはすべて同じにしている。

（ 2 ） 津波

今回の地震によりインド洋の各地の検潮所で観測した津波の波形を図 3 - 2 に、津波の観測結果を表 3 に示す。パダン検潮所（インドネシア）で日本時間の 12 日 23 時 27 分に津波の最大の高さ 1.1m を観測するなど、インド洋の各地の検潮所で津波が観測された。なお、津波による被害は報告されていない。



図 3 - 1 気象庁が津波監視に用いている検潮所は津波を観測した検潮所（表 3 に対応）を、の数字は図 3 - 2 及び表 3 の検潮所と対応している。

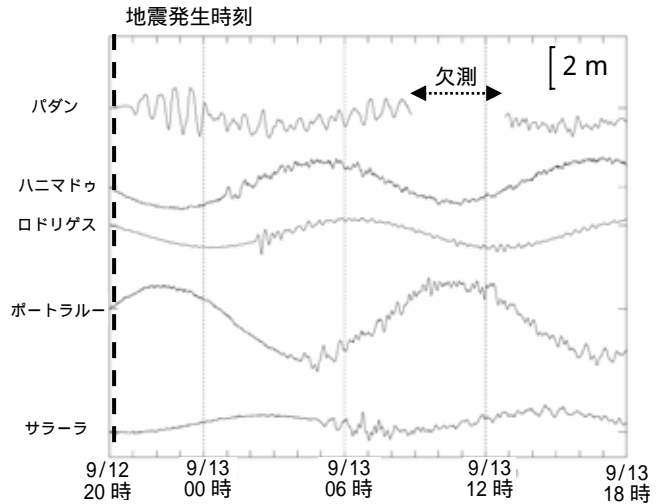


図 3 - 2 検潮所で観測した津波の波形
津波の最大の高さ 0.4m 以上のものを示した。

表 3 津波の観測結果（検潮所名の数字は図 3 - 1 ~ 2 に対応している）

検潮所名(国名)	津波観測値		最大の高さ	
	到達時刻	押し・引き及び高さ	発現時刻	高さ
パダン(インドネシア)	12日 20:55	引き 0.4m	12日 23:27	1.1m
ココス諸島(オーストラリア)	12日 21:28	押し 0.1m	12日 21:39	0.1m
チラチャップ(インドネシア)	12日 22:13	不明	13日 01:26	0.2m
シボルガ(インドネシア)	12日 22:45	不明	13日 05:20	0.2m
コロambo(スリランカ)	13日 00:17	押し 0.1m	13日 02:53	0.3m
ガン(モルディブ)	13日 00:17	押し 0.2m	13日 00:38	0.2m
ディエゴガルシア(英領チャゴス諸島)	13日 00:22	押し 0.1m	13日 00:32	0.1m
マレ(モルディブ)	13日 00:30	押し 0.1m	13日 00:41	0.1m
ハニマドゥ(モルディブ)	13日 00:57	押し 0.4m	13日 01:03	0.4m
ロドリゲス島(モーリシャス)	13日 02:13	押し 0.3m	13日 02:39	0.6m
ポートルラー(セーシェル)	13日 03:21	不明	13日 05:06	0.6m
サララ(オマン)	13日 04:48	引き 0.3m	13日 06:48	0.5m

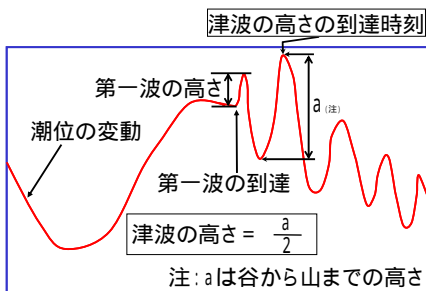


図 3 - 3 津波の測り方の模式図

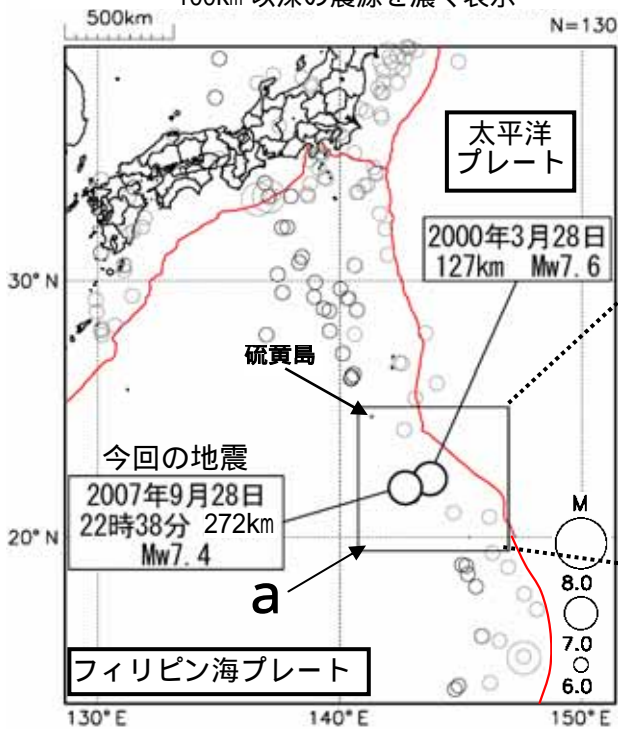
9月28日 マリアナ諸島の地震

2007年9月28日22時38分（日本時間）にマリアナ諸島の深さ272kmでMw7.4（Global CMT 解によるモーメントマグニチュード、気象庁によるマグニチュードはM7.6）の地震が発生し、国内で最大震度2を観測した。この地震により気象庁は23時01分に北西太平洋津波情報（津波発生の可能性なし）を発表した。この地震による被害の報告はない（10月10日現在、USGSによる）。

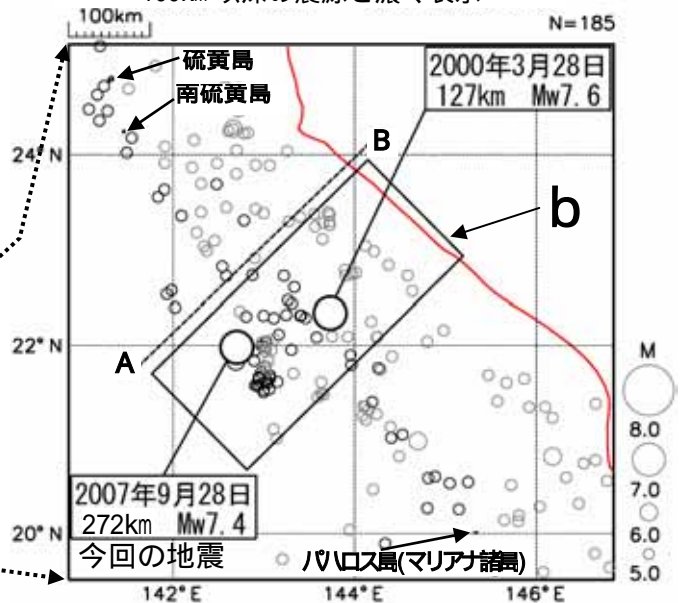
この付近は、太平洋プレートがフィリピン海プレートの下に高角で沈み込んでいるところで、今回の地震は太平洋プレート内部で発生した地震と考えられる。発震機構（Global CMT 解）は太平洋プレートの沈み込む方向に張力軸を持つ型であった。

1970年以降の100km以深の地震活動を見ると、2000年3月28日にMw7.6（深さ127km、国内で最大震度3）が発生しているものの、今回の地震の震源付近でM7を超える地震は珍しい。

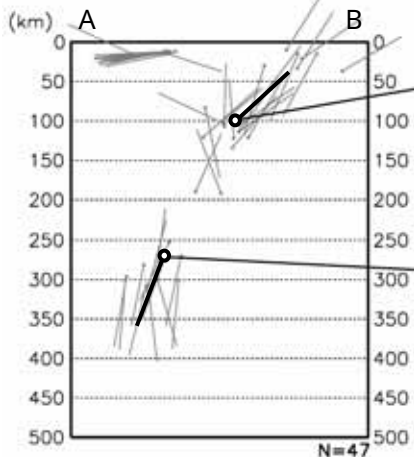
震央分布図（震源はUSGSによる）
（1970年1月1日～2007年10月2日、深さ0～700km、M 6.0）
100km以深の震源を濃く表示



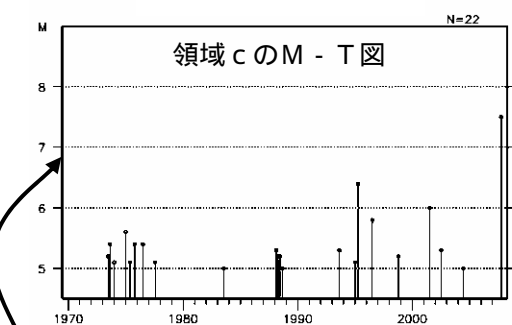
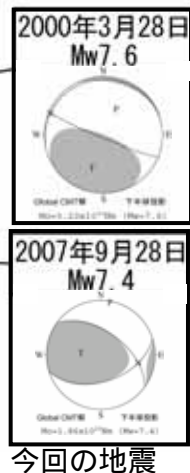
領域 a の拡大図 (M 5.0、深さ 500km 以浅)
100km 以深の震源を濃く表示



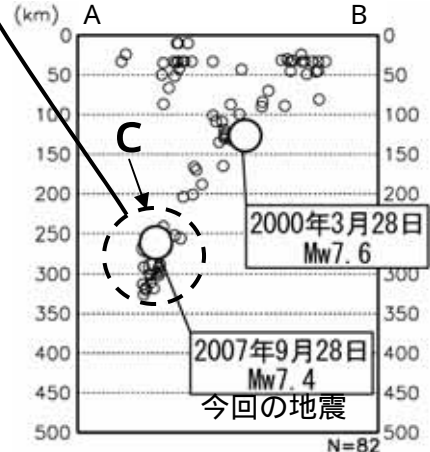
領域 b の張力軸の断面図 (A - B 投影)
(Global CMT 解による)



発震機構解
(Global CMT 解)



領域 b の断面図 (A - B 投影)



9 月 30 日 マリアナ諸島南方（グアム付近）の地震

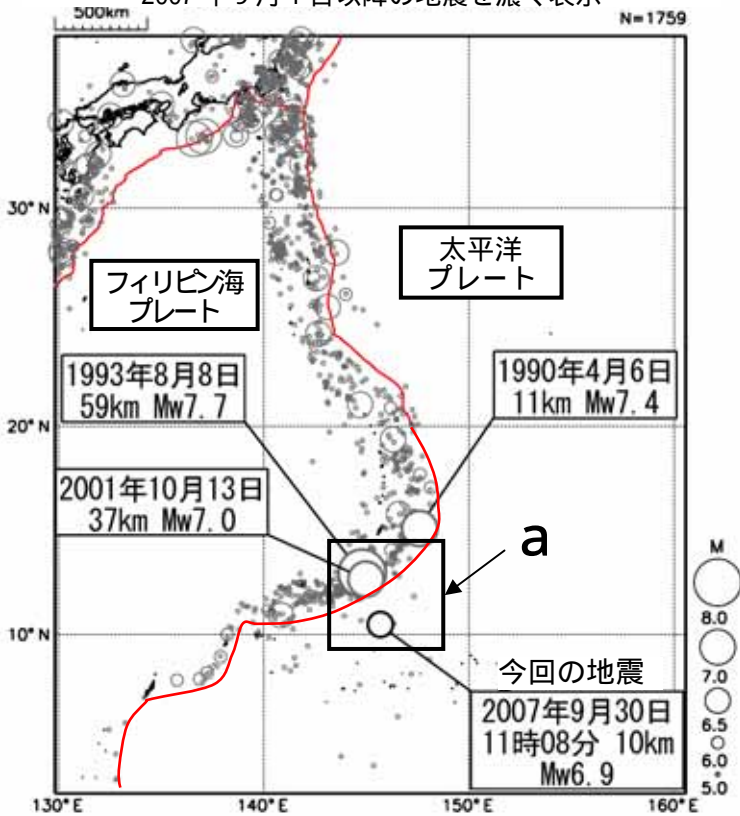
2007 年 9 月 30 日 11 時 08 分（日本時間）にマリアナ諸島南方（グアム付近）の深さ 10km で Mw6.9（Global CMT 解によるモーメントマグニチュード、以下同じ）の地震が発生した。この地震により気象庁は 11 時 27 分に北西太平洋津波情報（震央付近で局所的に、破壊的な津波発生の可能性）12 時 47 分に遠地震に関する情報（日本沿岸に若干の海面変動の可能性）を発表した。この地震による津波の報告はない（10 月 3 日現在、太平洋津波警報センターによる）。また、この地震による被害の報告はない（10 月 3 日現在、USGS による）。

今回の地震は太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界より南東側で発生しており、太平洋プレート内部で発生した地震と考えられる。発震機構（Global CMT 解）はほぼ北西 - 南東方向に張力軸を持つ横ずれ型であった。

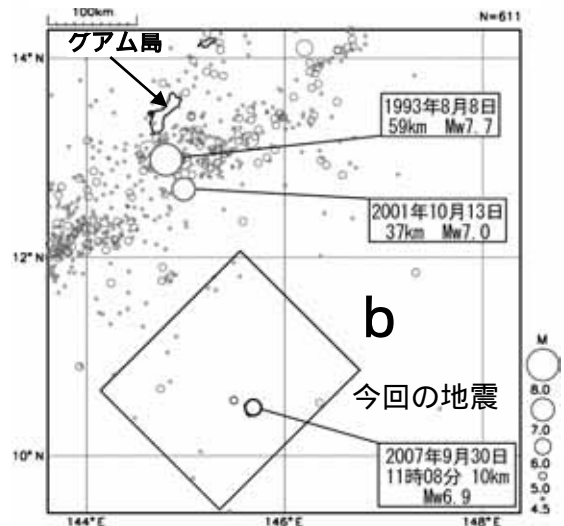
1970 年以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近では M6 を超える地震は発生していなかった。

なお、プレート境界より北西側では、1993 年 8 月 8 日に Mw7.7 の地震（日本の太平洋沿岸で津波観測、最大の高さは日南市油津の 46cm）が発生するなど地震活動が活発である。

震央分布図（震源は USGS による）
（1970 年 1 月 1 日～2007 年 10 月 2 日、深さ 100km 以浅、M 5.0）
2007 年 9 月 1 日以降の地震を濃く表示



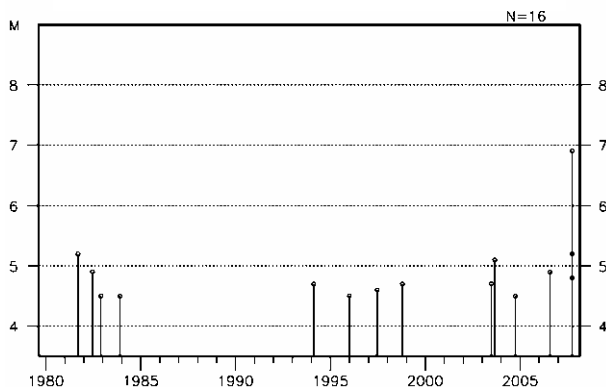
領域 a の拡大図（M 4.5）



領域 a の発震機構解（Global CMT 解による）
（1990 年 1 月 1 日～2007 年 10 月 3 日）



領域 b の M - T 図（M 4.5）



発震機構解から伸びる線は張力軸の方向を示す

9月30日 オークランド諸島（ニュージーランド付近）の地震

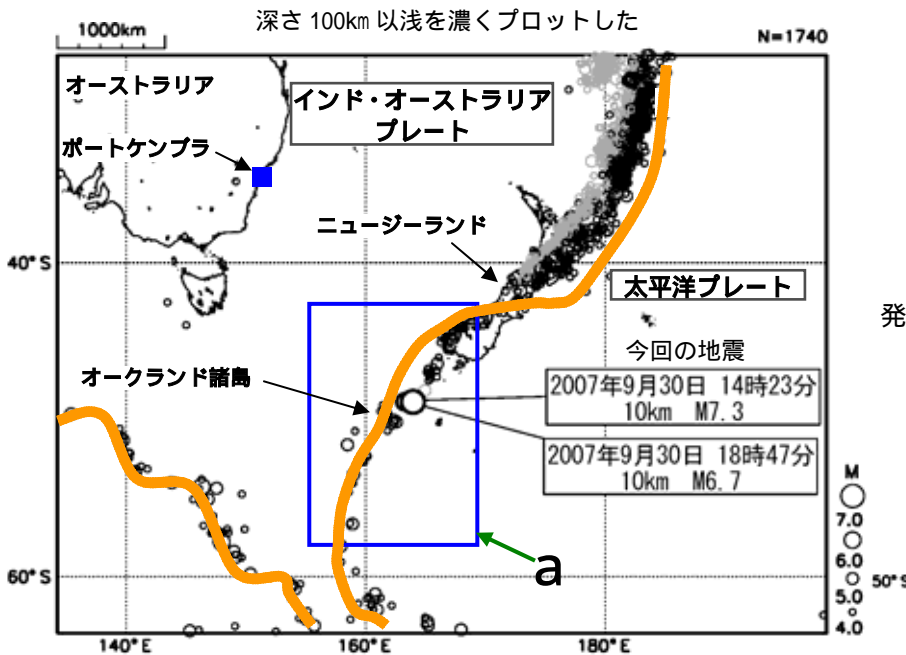
2007年9月30日14時23分ころ（日本時間）オークランド諸島（ニュージーランド付近）でMs7.3（米国地質調査所[以下、USGS]による表面波マグニチュード）の地震が発生した。この地震について、気象庁は同日14時48分に「遠地地震に関する情報」（日本への津波の影響なし、日本国内向け）を発表した。この地震によりオーストラリアのポートケンブラで11cmの津波が観測された。

この地震の発震機構は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとインド・オーストラリアプレートの境界付近で発生したと考えられる。今回の地震の震央付近では、北側で逆断層型、南側で横ずれ断層型が多く見られる。

30日18時47分にM6.7の余震が発生し、その後も余震が発生している。

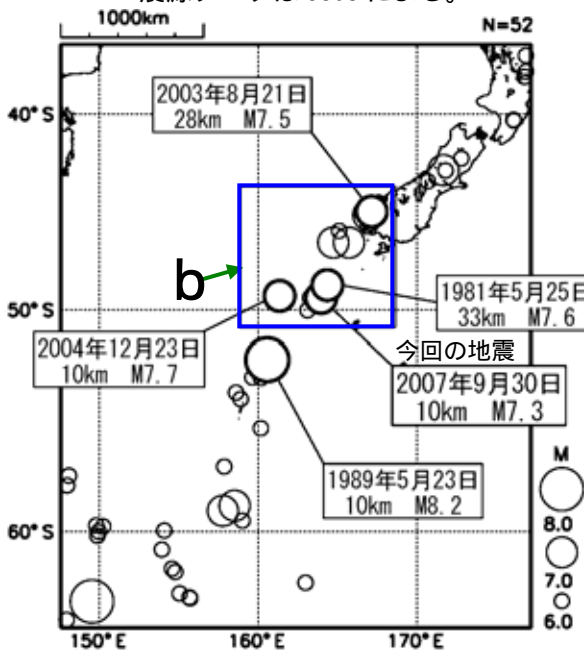
1970年以降の活動を見ると、この付近ではM7を超える地震が時々発生しており、最近では2004年12月23日にM7.7の地震が発生している。

震央分布図（2004年10月以降、M 4.0、深さ700km以浅）
（震源データはUSGSによる。—— はおおまかなプレート境界。）

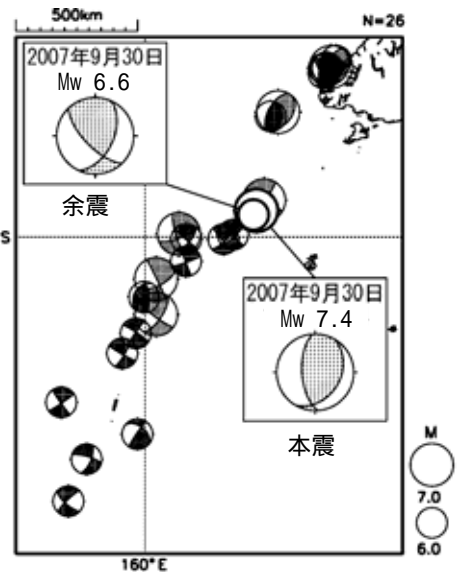


震央分布図

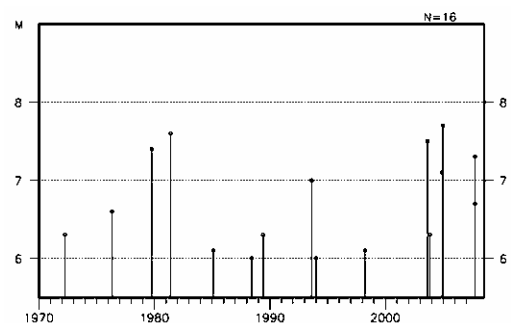
（1970年1月以降、M 6.0、深さ100km以浅）
震源データはUSGSによる。



領域 a の発震機構分布図
（1980年1月以降、M 6.0、
深さ100km以深）
発震機構、MwはGlobal CMT解による



領域 b 内の M - T 図



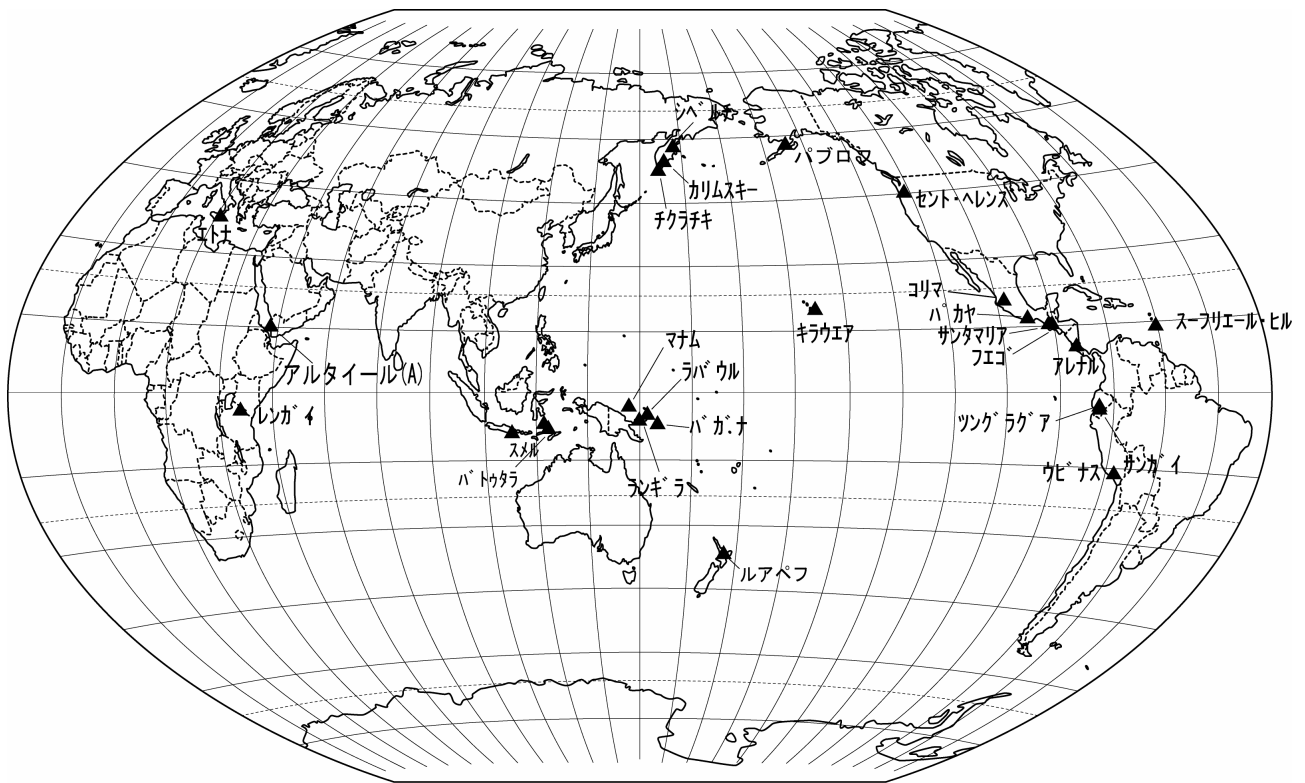
世界の主な火山活動

平成 19 年（2007 年）9 月に噴火したと報告された主な火山（日本を除く）は下図のとおりである。このうち、顕著な活動が見られた主な火山は以下のとおりである。

アルタイル（紅海、イエメン）（図中A）

30 日に噴火した。溶岩が約 1 km 流れ、海にまで達した。噴火活動は少なくとも 10 月 1 日まで続いた。この噴火により 3 名が死亡し、軍事基地の兵士全員が避難した。

（以上、米国スミソニアン自然史博物館の GVP（Global Volcanism Program）による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。）



付表

1. 震度 1 以上を観測した地震の表

地震の震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は「地震・火山月報（カタログ編）」、震度データは「地震年報」を参照。震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（各年の地震・火山月報（防災編）12月号の付録1参照）を記す。なお、*のついている地点は、地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「F」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。

震度 3 以上を観測した地震については、震源要素を**太字**で表示する。

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
1	1 04 04	千葉県南部 千葉県 1 大多喜町大多喜 * =0.7	35° 15.0' N	140° 16.6' E	15km	M: 2.3
2	1 05 53	福島県会津 福島県 1 下郷町高崎 * =0.5	37° 17.3' N	139° 52.1' E	8km	M: 2.1
3	1 15 42	浦河沖 北海道 1 新ひだか町静内ときわ町=0.9 浦河町潮見=0.9 新ひだか町三石旭町 * =0.8 函館市川汲町 * =0.7 浦河町築地 * =0.7 新ひだか町静内御幸町 * =0.5	42° 00.5' N	142° 32.4' E	65km	M: 3.8
4	1 22 33	三宅島近海 東京都 1 三宅村坪田=0.9 三宅村神着=0.7	34° 05.5' N	139° 31.7' E	0km	M: 1.9
5	2 08 21	福岡県北西沖 福岡県 1 福岡西区玄界島=1.1	33° 44.9' N	130° 08.3' E	11km	M: 3.1
6	2 12 26	和歌山県南方沖 和歌山県 1 串本町串本 * =0.6 古座川町高池 * =0.6 新宮市新宮=0.5	33° 29.9' N	135° 36.6' E	25km	M: 3.1
7	2 23 54	奄美大島近海 鹿児島県 2 喜界町滝川=1.5	28° 07.4' N	130° 22.7' E	23km	M: 3.6
8	3 05 24	岩手県沿岸北部 青森県 2 階上町道仏 * =1.8 1 青森南部町平 * =1.1 五戸町古館=1.0 青森南部町苦米地 * =0.8 八戸市内丸 * =0.7 十和田市奥瀬 * =0.5 岩手県 2 岩手洋野町大野 * =2.2 八幡平市田頭 * =1.8 盛岡市玉山区浜民 * =1.7 山田町大沢 * =1.7 北上市二子町 * =1.5 1 花巻市大迫町=1.3 盛岡市玉山区藪川 * =1.2 葛巻町葛巻元木=1.2 普代村銅屋 * =1.2 花巻市大迫総合支所 * =1.2 野田村野田 * =1.1 九戸村伊保内 * =1.1 釜石市中妻町 * =1.1 宮古市田老 * =1.0 大槌町新町 * =1.0 川井村田代 * =1.0 遠野市松崎町 * =1.0 一関市室根町 * =1.0 紫波町日詰 * =0.9 宮古市鎌ヶ崎=0.9 岩手町五日市 * =0.9 軽米町軽米 * =0.9 遠野市宮守町 * =0.9 二戸市福岡=0.9 宮古市五月町 * =0.8 川井村川井 * =0.8 盛岡市馬場町 * =0.8 久慈市川崎町=0.8 二戸市浄法寺町 * =0.8 大船渡市大船渡町=0.8 釜石市只越町=0.8 岩手洋野町種市=0.7 宮古市茂市 * =0.7 八幡平市大更=0.7 八幡平市野駄 * =0.7 二戸市石切所 * =0.7 陸前高田市高田町 * =0.6 花巻市石鳥谷町 * =0.6 葛巻町消防分署 * =0.5 久慈市長内町 * =0.5 山田町八幡町=0.5 田野畑村田野畑=0.5 田野畑村役場 * =0.5 盛岡市山王町=0.5 宮城県 1 気仙沼市赤岩=0.5 秋田県 1 横手市大雄 * =0.6	39° 46.3' N	141° 58.0' E	67km	M: 4.0
9	3 10 30	日向灘 宮崎県 1 宮崎市霧島=0.5	31° 57.5' N	131° 52.3' E	36km	M: 3.3
10	3 14 17	静岡県西部 静岡県 1 新居町浜名 * =0.9 牧之原市静波 * =0.6 浜松天竜区佐久間町 * =0.5 浜松天竜区春野町 * =0.5 愛知県 1 新城市作手高里 * =0.6 豊田市小原町 * =0.6 豊田市大沼町 * =0.6	34° 53.8' N	137° 45.6' E	34km	M: 3.2
11	3 20 13	福岡県北西沖 福岡県 1 福岡西区玄界島=0.6	33° 44.9' N	130° 08.3' E	11km	M: 2.8
12	4 01 14	千島列島 北海道 2 標津町北2条 * =1.9 根室市落石東 * =1.7 標茶町塘路 * =1.6 白糠町西1条 * =1.6 浦幌町桜町 * =1.6 別海町常盤=1.6 十勝大樹町生花 * =1.5 釧路市音別町直別 * =1.5 釧路町別保 * =1.5 函館市新浜町 * =1.5 1 根室市瑤瑠 * =1.4 別海町本別海 * =1.3 根室市厚床 * =1.3 釧路市幸町=1.3 釧路市阿寒町中央 * =1.3 浜中町霧多布 * =1.1 根室市牧の内 * =1.1 厚岸町真栄町 * =1.0 清里町羽衣町 * =1.0 函館市泊町 * =0.9 新ひだか町静内ときわ町=0.9 標茶町川上 * =0.8 鶴居村鶴居東 * =0.8 浦河町潮見=0.7 根室市弥栄=0.7 十勝大樹町東本通 * =0.7 弟子屈町弟子屈 * =0.7 弟子屈町美里=0.6 厚岸町尾幌=0.6 幕別町忠類錦町 * =0.6 浦河町築地 * =0.6 豊頃町茂岩本町 * =0.5 青森県 2 八戸市南郷区 * =1.7 東通村小田野沢 * =1.6 1 東北町上北南 * =1.3 おいらせ町中下田 * =1.3 東通村砂子又 * =1.1 七戸町森ノ上 * =1.0 六戸町犬落瀬 * =1.0 五戸町古館=1.0 青森南部町苦米地 * =1.0 野辺地町野辺地 * =0.9	45° 01.1' N	150° 07.4' E	126km	M: 6.3

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		八戸市内丸 * = 0.9 おいらせ町上明堂 * = 0.8 大間町大間 * = 0.8 外ヶ浜町蟹田 * = 0.8 五戸町倉石中市 * = 0.8 七戸町七戸 * = 0.7 むつ市金曲 = 0.7 藤崎町西豊田 * = 0.6 十和田市西十二番町 * = 0.5 東北町塔ノ沢山 * = 0.5 三沢市桜町 * = 0.5 六ヶ所村尾駈 = 0.5 青森市浪岡 * = 0.5 八戸市湊町 = 0.5 岩手県 2 盛岡市玉山区藪川 * = 1.9 1 大槌町新町 * = 1.2 二戸市福岡 = 1.1 矢巾町南矢幅 * = 1.1 普代村銅屋 * = 1.0 岩手洋野町大野 * = 1.0 二戸市浄法寺町 * = 1.0 滝沢村鶴飼 * = 1.0 北上市二子町 * = 1.0 花巻市石鳥谷町 * = 0.8 八幡平市野駄 * = 0.8 軽米町軽米 * = 0.8 遠野市松崎町 * = 0.7 八幡平市田頭 * = 0.7 盛岡市山王町 = 0.6 宮城県 2 登米市迫町 * = 1.8 1 栗原市金成 * = 1.4 登米市登米町 * = 1.1 登米市米山町 * = 1.0 登米市南方町 * = 1.0 栗原市若柳 * = 0.9 宮城美里町木間塚 * = 0.9 石巻市桃生町 * = 0.9 栗原市志波姫 * = 0.7 登米市中田町 = 0.7 大崎市古川三日町 = 0.7 南三陸町志津川 = 0.6 大崎市松山 * = 0.6 大河原町新南 * = 0.6 石巻市門脇 * = 0.6 石巻市相野谷 * = 0.6 石巻市前谷地 * = 0.6 大崎市田尻 * = 0.5				
13	4 07 01	天草灘 長崎県 1 長崎市元町 * = 0.9	32° 34.4' N	129° 53.1' E	12km	M: 3.2
14	4 07 46	和歌山県北部 和歌山県 1 海南市下津 * = 0.6	34° 08.8' N	135° 09.8' E	4km	M: 1.6
15	4 09 44	鳥取県中部 鳥取県 1 倉吉市葵町 * = 0.7 北栄町土下 * = 0.7	35° 24.4' N	133° 50.5' E	8km	M: 2.2
16	4 12 52	宮城県北部 宮城県 1 登米市米山町 * = 1.4 登米市南方町 * = 1.3 登米市迫町 * = 0.5	38° 38.4' N	141° 11.5' E	9km	M: 2.5
17	5 00 19	大阪府北部 京都府 3 亀岡市安町 = 2.6 2 亀岡市余部町 * = 2.1 南丹市八木町八木 * = 1.5 京丹波町蒲生 * = 1.5 1 八幡市八幡 * = 1.4 南丹市園部町小桜町 * = 1.4 京都右京区京北周山町 * = 1.3 大山崎町円明寺 * = 1.2 福知山市三和町千束 * = 0.9 久御山町田井 * = 0.8 長岡京市開田 * = 0.7 京都中京区西ノ京 = 0.7 城陽市寺田 * = 0.7 宇治市宇治琵琶 = 0.6 井手町井手 * = 0.6 京丹波町橋爪 * = 0.6 宇治田原町荒木 * = 0.5 南丹市日吉町保野田 * = 0.5 大阪府 3 能勢町役場 * = 2.9 2 能勢町今西 * = 2.4 豊能町余野 * = 2.0 高槻市消防本部 * = 1.5 1 島本町若山台 * = 1.4 高槻市立第2中学校 * = 1.3 高槻市桃園町 = 1.2 寝屋川市役所 * = 1.0 箕面市粟生外院 * = 0.8 枚方市大垣内 * = 0.6 守口市京阪本通 * = 0.5 池田市城南 * = 0.5 兵庫県 2 三田市下里 * = 1.9 猪名川町紫合 * = 1.6 1 篠山市北新町 = 1.2 西宮市平木 * = 1.0 川西市中央町 * = 1.0 宝塚市東洋町 * = 0.9 篠山市杉 * = 0.8 西宮市名塩 * = 0.7 篠山市宮田 * = 0.7 三田市下深田 = 0.5 西宮市宮前町 = 0.5 丹波市市島町 * = 0.5 奈良県 1 奈良市月ヶ瀬尾山 * = 0.9	34° 57.8' N	135° 26.7' E	9km	M: 3.7
18	5 00 49	宮古島近海 沖縄県 1 宮古島市城辺福北 = 0.9 宮古島市平良下里 = 0.8 宮古島市城辺福西 * = 0.8 宮古島市平良西仲宗根 = 0.7 宮古島市平良西里 * = 0.6	24° 59.2' N	125° 36.6' E	53km	M: 4.0
19	5 02 28	大阪府北部 京都府 大阪府 1 亀岡市安町 = 0.8 1 能勢町役場 * = 1.0 能勢町今西 * = 0.6 豊能町余野 * = 0.6	34° 57.8' N	135° 26.9' E	9km	M: 2.6
20	5 03 58	長野県南部 長野県 岐阜県 1 木曾町新開 * = 0.5 1 高山市高根町 * = 0.5	35° 56.3' N	137° 37.5' E	11km	M: 2.4
21	5 09 51	山形県最上地方 山形県 1 大蔵村清水 * = 0.9	38° 42.4' N	140° 12.8' E	6km	M: 1.8
22	5 11 19	留萌支庁南部 北海道 1 小平町達布 * = 0.8	44° 04.0' N	141° 42.3' E	6km	M: 2.2
23	5 17 03	根室半島南東沖 北海道 2 根室市落石東 * = 1.6 1 根室市牧の内 * = 1.4 根室市瑠瑠瑠 * = 1.4 根室市厚床 * = 0.9 別海町本別海 * = 0.6 別海町常盤 = 0.5	43° 16.7' N	146° 11.1' E	80km	M: 4.1
24	6 05 33	沖縄本島近海 沖縄県 1 国頭村辺土名 * = 0.6	26° 17.8' N	129° 24.0' E	44km	M: 4.4
25	6 08 02	和歌山県北部 和歌山県 1 かつらぎ町丁ノ町 * = 0.7 紀の川市粉河 = 0.5	34° 15.0' N	135° 25.0' E	8km	M: 2.1
26	6 12 34	八丈島東方沖 東京都 2 八丈町三根 = 1.5 1 八丈町大賀郷金土川 * = 1.1 八丈町大賀郷西見 = 0.5	32° 53.9' N	140° 42.4' E	63km	M: 4.3

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
27	6 15 27	大隅半島東方沖 鹿児島県 1 錦江町田代支所*0.7 鹿屋市礼元*0.5 鹿屋市新栄町=0.5	31°01.8' N	131°34.1' E	34km	M: 3.9
28	7 00 26	福島県会津 福島県 1 檜枝岐村上河原*0.8	37°02.0' N	139°23.1' E	7km	M: 2.0
29	7 02 51	台湾付近 沖縄県 3 与那国町役場*3.0 与那国町祖納=2.5 2 竹富町船浮=2.4 石垣市新栄町*2.1 竹富町大原=2.1 石垣市登野城=2.1 竹富町波照間=1.9 竹富町黒島=1.9 竹富町上原*1.9 石垣市美崎町*1.8 石垣市伊原間*1.5 1 石垣市新川=1.2 多良間村塩川=1.1 宮古島市平良西仲宗根=1.0 宮古島市平良狩保*0.9 多良間村仲筋*0.9 宮古島市城辺福西*0.8 宮古島市城辺福北=0.8 宮古島市平良下里=0.6	24°24.7' N	122°16.4' E	66km	M: 6.6
30	7 02 55	台湾付近 沖縄県 1 与那国町役場*1.2 与那国町祖納=0.7 竹富町船浮=0.7	24°21.0' N	122°21.2' E	66km	M: 4.8
31	7 23 36	奄美大島近海 鹿児島県 3 瀬戸内町与路島*2.7 2 奄美市名瀬港町=2.3 奄美市住用町西仲間*2.3 天城町平土野*2.1 瀬戸内町古仁屋*2.0 奄美市笠利町里*2.0 宇検村湯湾*1.7 大和村思勝*1.7 奄美市名瀬幸町*1.6 伊仙町伊仙*1.5 1 喜界町滝川=1.1 天城町当部=0.9 龍郷町屋入=0.7	28°04.4' N	129°23.4' E	40km	M: 4.7
32	8 02 33	新潟県上中越沖 新潟県 1 柏崎市西山町池浦=1.3 柏崎市中央町*1.1 小千谷市土川*0.9 出雲崎町米田=0.9 刈羽村割町新田=0.8 長岡市千手*0.5	37°23.1' N	138°30.8' E	19km	M: 3.2
33	8 13 05	宮古島近海 沖縄県 1 宮古島市平良西仲宗根=0.7	24°56.7' N	124°52.2' E	14km	M: 4.1
34	8 16 17	岩手県沖 岩手県 1 山田町大沢*0.5	39°09.3' N	142°25.6' E	28km	M: 3.5
35	8 16 21	石川県能登地方 石川県 1 輪島市門前町走出=0.5	37°18.0' N	136°47.5' E	8km	M: 2.6
36	9 05 54	東京湾 東京都 神奈川県 1 東京新宿区上落合*0.7 東京千代田区大手町=0.6 1 三浦市城山町*1.1 横浜青葉区市が尾町*0.9 横浜鶴見区鶴見*0.8 横浜神奈川区白幡上町*0.8 横浜都筑区茅ヶ崎*0.7 横浜中区山手町=0.6 川崎川崎区宮前町*0.6	35°33.3' N	139°58.3' E	81km	M: 3.4
37	9 14 01	岩手県沖 青森県 岩手県 1 八戸市内丸*0.7 1 岩手洋野町大野*0.9 釜石市中妻町*0.9 陸前高田市高田町*0.8 釜石市只越町=0.7 大船渡市大船渡町=0.5	39°28.3' N	142°16.6' E	81km	M: 3.8
38	9 14 45	日高支庁中部 北海道 2 新ひだか町静内ときわ町=1.7 新ひだか町三石旭町*1.7 浦幌町桜町*1.7 幕別町忠類錦町*1.6 浦河町潮見=1.6 1 函館市新浜町*1.3 新ひだか町静内御幸町*1.2 浦河町築地*1.2 安平町早来北進*1.1 帯広市東4条=1.1 帯広市東6条*1.0 本別町向陽町*0.9 豊頃町茂岩本町*0.8 むかわ町穂別*0.7 平取町振内*0.7 千歳市若草*0.7 本別町北2丁目=0.7 浦河町野深=0.7 函館市泊町*0.7 足寄町南1条*0.6 更別村更別*0.6 釧路市音別町直別*0.6 音更町元町*0.6 安平町追分柏が丘*0.5 函館市川汲町*0.5 幕別町本町*0.5 青森県 1 東通村小田野沢*0.8	42°21.8' N	142°26.1' E	85km	M: 4.2
39	10 09 34	能登半島沖 石川県 1 志賀町香能*0.9	37°09.3' N	136°32.9' E	8km	M: 3.0
40	10 13 40	苫小牧沖 北海道 1 函館市泊町*0.5	41°40.6' N	141°28.0' E	114km	M: 3.4
41	10 14 29	浦河沖 北海道 2 浦河町潮見=2.3 新ひだか町静内ときわ町=2.0 浦河町築地*1.9 恵庭市京町*1.8 新ひだか町三石旭町*1.8 浦河町野深=1.7 安平町追分柏が丘*1.7 江別市緑町*1.6 函館市新浜町*1.5 南幌町栄町*1.5 安平町早来北進*1.5 1 千歳市若草*1.4 函館市泊町*1.4 函館市川汲町*1.4 新ひだか町静内御幸町*1.4 千歳市支笏湖温泉*1.3 むかわ町松風*1.3 札幌北区太平*1.2 胆振伊達市大滝区本町*1.2 千歳市北栄=1.1 新篠津村第47線*1.1 千歳市新千歳空港=1.0 平取町振内*1.0 江別市高砂町=1.0 幕別町忠類錦町*1.0 当別町白樺*1.0 登別市桜木町*1.0 鹿部町宮浜*0.9 北広島市共栄*0.9 むかわ町穂別*0.9 苫小牧市旭町*0.9 日高支庁日高町門別*0.8 登別市鉾山=0.8 胆振伊達市梅本=0.8 白老町大町=0.8 函館市尾札部町=0.8 岩見沢市5条=0.8 小樽市勝納町=0.7 様似町栄町*0.7 三笠市幸町*0.7 余市町浜中町*0.6 えりも町えりも岬*0.6 栗山町松風*0.6 苫小牧市末広町=0.6 帯広市東6条*0.5 由仁町新光*0.5 本別町北2丁目=0.5	41°59.3' N	142°34.0' E	63km	M: 4.5

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
42	11 01 31	青森県 1 東通村小田野沢 *=1.4 東通村砂子又 *=1.3 むつ市大畑町中島 *=0.8 大間町大間 *=0.8 むつ市金曲=0.7 佐井村佐井 *=0.6				
		岩手県沿岸北部 39° 55.9' N 141° 52.6' E 72km M: 3.5				
		岩手県 1 岩手洋野町大野 *=1.4 普代村銅屋 *=1.1 宮古市茂市 *=0.7 八幡平市田頭 *=0.7 二戸市福岡=0.5 田野畑村田野畑=0.5 軽米町軽米 *=0.5 北上市二子町 *=0.5				
43	11 04 32	神奈川県西部 1 熱海市泉 *=0.6	35° 11.3' N	139° 06.3' E	12km	M: 1.8
44	11 14 55	長野県南部 1 王滝村鈴ヶ沢 *=0.8	35° 51.6' N	137° 30.3' E	6km	M: 2.1
45	11 21 45	福岡県北西沖 1 福岡西区玄界島=0.6	33° 42.4' N	130° 13.6' E	6km	M: 2.7
46	12 07 33	熊本県熊本地方 1 八代市泉支所 *=0.7	32° 31.5' N	130° 51.3' E	5km	M: 2.3
47	12 10 29	福島県会津 1 檜枝岐村上河原 *=1.4	37° 02.2' N	139° 23.6' E	8km	M: 2.5
48	12 12 06	岐阜県美濃中西部 1 本巣市根尾 *=0.9 揖斐川町東杉原 *=0.7 岐阜山県市谷合 *=0.6 揖斐川町東津汲 *=0.5	35° 38.0' N	136° 36.4' E	10km	M: 2.6
49	12 21 59	岐阜県美濃中西部 2 美濃市役所 *=1.5 1 八百津町八百津 *=1.4 岐阜山県市谷合 *=1.1 可児市広見 *=1.0 郡上市八幡町旭 *=1.0 郡上市和良町 *=1.0 大野町大野 *=0.9 岐阜川辺町中川辺 *=0.9 御嵩町御嵩 *=0.8 関市洞戸市場 *=0.8 美濃加茂市太田町=0.8 大垣市墨俣町 *=0.7 輪之内町四郷 *=0.7 岐阜山県市大門 *=0.7 富加町滝田 *=0.6 関市武芸川町 *=0.6 関市若草通り *=0.6 美濃加茂市西町 *=0.5	35° 27.6' N	136° 36.2' E	44km	M: 3.3
		愛知県 1 七宝町桂 *=0.8 知多市八幡 *=0.6 愛知江南市赤童子町 *=0.5				
50	12 22 04	内浦湾 1 函館市川汲町 *=0.9	41° 54.8' N	141° 00.8' E	10km	M: 2.0
51	13 00 19	三宅島近海 1 三宅村神着=0.5	34° 04.8' N	139° 30.3' E	0km	M: 1.7
52	13 04 54	茨城県沖 1 日立市助川小学校 *=0.7	36° 23.8' N	140° 55.7' E	47km	M: 3.1
53	13 09 12	岐阜県飛騨地方 1 高山市高根町 *=1.2	36° 02.1' N	137° 23.0' E	7km	M: 2.3
54	13 10 06	和歌山県北部 1 和歌山市男野芝丁=0.8 和歌山市一番丁 *=0.8	34° 11.6' N	135° 12.7' E	5km	M: 2.1
55	14 01 51	網走支庁網走地方 1 根室市厚床 *=1.2	43° 56.1' N	144° 51.8' E	155km	M: 3.8
56	14 06 54	和歌山県北部 1 紀の川市桃山町元 *=1.3 紀の川市貴志川町神戸 *=1.0 紀の川市粉河=0.8 紀美野町下佐々 *=0.7 和歌山市男野芝丁=0.5 岩出市西野 *=0.5	34° 12.8' N	135° 18.7' E	5km	M: 2.8
57	14 08 31	福島県会津 1 只見町只見 *=1.1 南会津町界 *=0.8 西会津町登世島 *=0.6	37° 24.9' N	139° 24.4' E	6km	M: 3.1
58	14 09 37	福島県会津 1 檜枝岐村上河原 *=1.3	37° 02.1' N	139° 23.3' E	8km	M: 2.1
59	14 10 21	新島・神津島近海 1 新島村式根島=1.0	34° 17.5' N	139° 07.1' E	10km	M: 2.5
60	15 01 18	千葉県南部 1 勝浦市新官 *=0.9 勝浦市墨名=0.7	35° 09.2' N	140° 14.1' E	14km	M: 2.2
61	15 06 04	日向灘 1 佐伯市蒲江=0.8 佐伯市中村南=0.6 宮崎県 1 宮崎都農町役場 *=1.2 延岡市北川町川内名白石 *=1.0 門川町本町 *=0.8 延岡市北浦町古江 *=0.7 延岡市北方町卯 *=0.6 延岡市古城町 *=0.6	32° 27.4' N	131° 52.4' E	32km	M: 3.8

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
62	15 06 24	天草灘 長崎県 1 長崎市元町 * =0.8	32° 34.4' N	129° 53.5' E	12km	M: 2.8
63	15 06 44	鹿児島県薩摩地方 鹿児島県 1 鹿児島市喜入町 * =0.5	31° 24.8' N	130° 31.0' E	3km	M: 1.8
64	15 06 59	新島・神津島近海 東京都 1 神津島村金長=0.6	34° 16.0' N	139° 08.7' E	8km	M: 2.0
65	15 12 15	新潟県中越地方 新潟県 1 小千谷市土川 * =0.5	37° 12.7' N	138° 49.5' E	8km	M: 2.2
66	16 13 35	山形県庄内地方 山形県 1 酒田市宮野浦 * =0.7 酒田市本町 * =0.7 大蔵村肘折 * =0.7 戸沢村古口 * =0.7	38° 51.3' N	139° 57.5' E	18km	M: 3.1
67	16 16 09	長野県北部 新潟県 1 上越市安塚区安塚 * =0.7	37° 01.5' N	138° 29.3' E	11km	M: 2.3
68	16 18 36	静岡県中部 静岡県 1 静岡葵区峰山=0.5	35° 04.7' N	138° 16.8' E	2km	M: 2.6
69	16 19 13	伊豆大島近海 東京都 1 伊豆大島町元町=0.8 伊豆大島町岡田 * =0.8	34° 43.8' N	139° 19.1' E	0km	M: 1.8
70	16 19 44	岩手県沖 岩手県 1 岩手洋野町大野 * =0.8	40° 22.2' N	142° 16.3' E	40km	M: 3.5
71	17 10 30	広島県北部 広島県 1 広島三次市吉舎町 * =1.3 北広島町有田=0.7 三原市大和町 * =0.7 三原市久井町 * =0.5	34° 39.5' N	132° 52.9' E	20km	M: 3.2
72	17 11 32	鹿児島県薩摩地方 鹿児島県 1 鹿児島市喜入町 * =1.1	31° 24.7' N	130° 30.8' E	4km	M: 2.1
73	17 11 50	新潟県中越地方 新潟県 1 小千谷市土川 * =0.6	37° 13.3' N	138° 50.9' E	7km	M: 2.4
74	17 13 42	静岡県西部 静岡県 1 掛川市長谷 * =1.1 掛川市三俣 * =0.8 掛川市西大淵 * =0.5	34° 41.9' N	137° 53.4' E	13km	M: 2.6
75	17 14 57	静岡県西部 静岡県 2 掛川市長谷 * =2.0 1 掛川市西大淵 * =1.2 磐田市森岡 * =1.1 掛川市三俣 * =1.1 静岡菊川市赤土 * =1.1 袋井市浅名 * =1.0 袋井市新屋=1.0 浜松中区三組町=0.9 浜松天竜区春野町 * =0.9 磐田市国府台 * =0.8 静岡菊川市堀之内 * =0.6 静岡森町森 * =0.6 磐田市見付 * =0.6 浜松中区元城町 * =0.5	34° 41.9' N	137° 53.3' E	13km	M: 3.4
76	18 01 35	新潟県上中越沖 新潟県 2 柏崎市西山町池浦=1.9 出雲崎町米田=1.6 刈羽村割町新田=1.6 1 出雲崎町川西 * =1.0 柏崎市中央町 * =0.9 長岡市小国町法坂 * =0.8 小千谷市土川 * =0.7 長岡市千手 * =0.5	37° 26.7' N	138° 34.2' E	19km	M: 3.4
77	18 03 16	八丈島東方沖 東京都 1 八丈町三根=1.4	33° 32.0' N	140° 27.3' E	59km	M: 4.5
78	18 11 26	八丈島東方沖 東京都 1 八丈町三根=0.7	33° 31.4' N	140° 26.5' E	57km	M: 3.4
79	18 15 17	熊本県阿蘇地方 熊本県 1 産山村山鹿 * =0.5	33° 00.3' N	131° 07.3' E	11km	M: 2.4
80	19 17 38	大隅半島東方沖 宮崎県 1 串間市都井 * =1.4 日南市油津=1.1 串間市奈留=0.7 鹿児島県 1 鹿屋市新栄町=0.6 大崎町仮宿 * =0.6 錦江町田代支所 * =0.6	31° 07.5' N	131° 43.3' E	37km	M: 3.8
81	20 00 06	日向灘 宮崎県 1 高鍋町上江 * =0.7 宮崎市松橋 * =0.6 宮崎市霧島=0.5	31° 46.9' N	131° 54.9' E	28km	M: 4.0
82	20 01 31	栃木県北部 群馬県 1 沼田市利根町 * =0.6	36° 39.5' N	139° 26.8' E	5km	M: 2.3
83	20 20 05	石川県西方沖 石川県 2 志賀町香能 * =2.2 1 輪島市門前町走出=1.3 志賀町富来領家町=1.3 穴水町大町 * =1.1 志賀町末吉千古 * =0.7 輪島市鳳至町=0.7 中能登町能登部下 * =0.7 七尾市本府中町=0.6 羽咋市旭町 * =0.6	37° 08.9' N	136° 29.8' E	9km	M: 3.9

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		七尾市能登島向田町 * =0.5 中能登町井田 * =0.5 七尾市田鶴浜町=0.5				
84	20 20 10	福井県嶺北 福井県 1 南越前町今庄 * =0.6 敦賀市松栄町=0.5	35° 46.7' N	136° 09.2' E	10km	M: 2.9
85	20 23 51	日向灘 宮崎県 1 延岡市北浦町古江 * =0.5 宮崎都農町役場 * =0.5	32° 25.7' N	132° 09.7' E	27km	M: 3.3
86	21 00 08	神奈川県西部 神奈川県 1 真鶴町真鶴 * =0.8 箱根町湯本 * =0.6	35° 13.3' N	139° 05.8' E	8km	M: 2.5
87	21 00 43	紀伊水道 和歌山県 1 海南市下津 * =0.6	34° 10.1' N	135° 07.2' E	8km	M: 2.4
88	21 03 49	福島県浜通り 宮城県 福島県 1 岩沼市桜 * =0.9 宮城川崎町前川 * =0.6 名取市増田 * =0.5 1 田村市都路町 * =1.2 南相馬市原町区高見町 * =1.0 川内村下川内=0.8 葛尾村落合関下 * =0.8 二本松市針道 * =0.8	37° 37.9' N	140° 53.8' E	104km	M: 3.7
89	21 04 24	宮崎県南部山沿い 宮崎県 1 小林市真方=0.7	31° 53.8' N	131° 01.5' E	10km	M: 2.6
90	21 07 54	千葉県東方沖 茨城県 2 取手市藤代 * =1.8 神栖市波崎 * =1.6 稲敷市結佐 * =1.5 1 稲敷市役所 * =1.3 神栖市溝口 * =1.3 潮来市辻 * =1.1 石岡市柿岡=0.9 稲敷市江戸崎甲 * =0.9 筑西市舟生=0.8 利根町布川=0.7 坂東市岩井=0.7 銚田市銚田=0.6 埼玉県 2 宮代町笠原 * =1.8 1 春日部市谷原新田 * =1.3 久喜市青葉 * =1.1 鳩ヶ谷市三ツ和 * =0.8 千葉県 2 いすみ市岬町長者 * =2.1 いすみ市国府台 * =1.9 睦沢町下之郷 * =1.8 長生村本郷 * =1.8 東金市日吉台 * =1.7 市原市姉崎 * =1.7 九十九里町片貝 * =1.6 銚子市川口町=1.6 銚子市若宮町 * =1.6 白子町関 * =1.6 匝瑺市今泉 * =1.6 香取市羽根川 * =1.6 横芝光町宮川 * =1.6 山武市蓮沼八 * =1.6 旭市南堀之内 * =1.6 旭市萩園 * =1.6 旭市二 * =1.5 長南町長南 * =1.5 1 東庄町笹川 * =1.4 大網白里町大網 * =1.4 千葉中央区中央港=1.4 本埜村笠神 * =1.4 香取市役所 * =1.3 香取市仁良 * =1.3 旭市高生 * =1.3 鴨川市横渚 * =1.3 いすみ市大原 * =1.3 館山市長須賀=1.2 多古町多古=1.2 君津市久留里市場 * =1.2 千葉一宮町一宮=1.2 東金市東新宿=1.2 長柄町大津倉=1.0 香取市佐原諏訪台 * =0.9 勝浦市新官 * =0.8 勝浦市墨名=0.8 鴨川市八色=0.7 東京都 1 東京足立区神明南 * =1.3 東京足立区伊興 * =1.0 東京荒川区東尾久 * =0.9 東京江東区亀戸 * =0.8 東京足立区千住 * =0.7 東京江東区森下 * =0.7 東京葛飾区金町 * =0.7 神奈川県 1 横浜中区山手町=0.9 横浜中区山田町 * =0.9 中井町比奈窪 * =0.5	35° 14.9' N	141° 12.9' E	35km	M: 5.1
91	21 13 21	静岡県西部 静岡県 2 静岡菊川市赤土 * =2.3 掛川市長谷 * =2.2 袋井市新屋=2.2 掛川市三保 * =2.2 掛川市西大淵 * =2.0 静岡森町森 * =1.7 磐田市福田 * =1.7 静岡菊川市堀之内 * =1.7 浜松天竜区春野町 * =1.7 牧之原市鬼女新田=1.6 磐田市森岡 * =1.6 牧之原市静波 * =1.5 1 牧之原市相良 * =1.4 磐田市国府台 * =1.4 磐田市下野部 * =1.4 川根町家山=1.3 磐田市見付 * =1.2 浜松天竜区佐久間町 * =1.1 島田市金谷河原 * =0.9 岡部町岡部 * =0.9 御前崎市御前崎=0.9 島田市中央町=0.8 大井川町宗高 * =0.8 御前崎市池新田 * =0.8 浜松中区元城町 * =0.8 磐田市岡 * =0.8 浜松中区中央一丁目 * =0.7 浜松中区三組町=0.7 吉田町住吉 * =0.6 焼津市東小川 * =0.5 御前崎市白羽 * =0.5 長野県 1 壳木村役場 * =0.9 長野高森町下市田 * =0.6 天龍村天龍小学校 * =0.6 木曾町日義 * =0.5 泰阜村役場 * =0.5 岐阜県 1 恵那市上矢作町 * =0.9 中津川市福岡 * =0.7 中津川市本町 * =0.5 愛知県 1 豊田市小原町 * =0.6 豊田市大洞町=0.5 豊田市小渡町 * =0.5	34° 41.8' N	137° 53.6' E	13km	M: 3.9
92	21 21 31	茨城県北部 栃木県 1 茂木町小井戸 * =0.5	36° 26.6' N	140° 36.4' E	56km	M: 3.0
93	21 23 57	大阪府北部 大阪府 3 能勢町役場 * =2.5 2 豊能町余野 * =2.3 能勢町今西 * =2.1 1 高槻市立第2中学校 * =1.3 高槻市消防本部 * =1.3 高槻市桃園町=1.2 箕面市粟生外院 * =1.1 島本町若山台 * =1.1 寝屋川市役所 * =0.6 枚方市大垣内 * =0.6 箕面市箕面=0.5 京都府 2 亀岡市安町=2.1 1 亀岡市余部町 * =1.4 八幡市八幡 * =1.2 大山崎町円明寺 * =1.1 南丹市園部町小桜町 * =1.0 南丹市八木町八木 * =0.9 京丹波町蒲生 * =0.7 久御山町田井 * =0.7 京都右京区京北周山町 * =0.6 宇治市宇治琵琶=0.6 宇治田原町荒木 * =0.6 福知山市三和町千束 * =0.5 井手町井手 * =0.5 兵庫県 2 三田市下里 * =1.7 猪名川町紫合 * =1.5 1 西宮市平木 * =1.0 西宮市名塩 * =1.0 宝塚市東洋町 * =0.9 川西市中央町 * =0.9 三田市下深田=0.8 篠山市北新町=0.8 篠山市杉 * =0.7 篠山市宮田 * =0.6	34° 57.9' N	135° 26.7' E	10km	M: 3.5
94	22 00 51	紀伊水道 和歌山県 1 和歌山市一番丁 * =0.7 和歌山市男野芝丁=0.5	34° 13.1' N	135° 08.9' E	7km	M: 2.3

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
95	22 09 34	新潟県中越地方 新潟県 2 魚沼市今泉 * =1.7	37° 18.6' N	138° 58.6' E	10km	M: 2.7
96	22 11 44	滋賀県北部 岐阜県 2 揖斐川町東杉原 * =1.8 揖斐川町東津汲 * =1.7 揖斐川町西横山 * =1.5 1 輪之内町四郷 * =1.3 本巣市根尾 * =1.3 養老町高田 * =1.1 揖斐川町春日 * =1.0 郡上市大和町 * =0.9 関ヶ原町関ヶ原 * =0.9 揖斐川町坂内 * =0.9 揖斐川町谷汲 * =0.9 瑞穂市別府 * =0.8 岐阜山県市谷合 * =0.8 揖斐川町三輪 * =0.8 海津市南濃町 * =0.8 岐阜山県市大門 * =0.7 海津市平田町 * =0.6 郡上市八幡町旭 * =0.6 岐阜山県市高木 * =0.6 瑞穂市宮田 * =0.5 大垣市丸の内 * =0.5 岐南町八剣 * =0.5 岐阜池田町六之井 * =0.5 神戸町神戸 * =0.5 滋賀県 2 長浜市落合町 * =2.4 木之本町木之本 * =2.3 湖北町速水 * =2.2 余呉町中之郷 * =2.2 高月町渡岸寺 * =2.1 西浅井町大浦 * =2.0 米原市長岡 * =1.8 長浜市公園町 * =1.6 長浜市高田町 * =1.5 高島市勝野 * =1.5 1 彦根市元町 * =1.2 長浜市内保町 * =1.2 米原市春照 * =1.2 米原市下多良 * =1.2 高島市今津町日置前 * =1.0 高島市マキノ町 * =1.0 東近江市躰光寺町 * =1.0 彦根市城町 =0.9 米原市顔戸 * =0.9 高島市朽木柏 * =0.8 大津市北消防署志賀分署 =0.7 守山市吉身 * =0.7 近江八幡市桜宮町 =0.6 高島市朽木市場 * =0.6 多賀町多賀 * =0.6 豊郷町石畑 * =0.5 野洲市西河原 * =0.5 東近江市市子川原町 * =0.5 福井県 1 敦賀市松栄町 =1.0 敦賀市中央 * =0.8 福井美浜町郷市 * =0.7 愛知県 1 新城市作手高里 * =0.5 三重県 1 鈴鹿市神戸 * =1.0 三重朝日町小向 * =0.5	35° 27.9' N	136° 15.2' E	9km	M: 3.8
97	22 17 00	宮古島近海 沖縄県 3 宮古島市平良西仲宗根 =3.2 宮古島市平良狩俣 * =2.7 宮古島市平良西里 * =2.7 宮古島市平良下里 =2.5 宮古島市城辺福北 =2.5 2 宮古島市城辺福西 * =2.3 多良間村塩川 =2.2 多良間村仲筋 * =1.5 1 石垣市新栄町 * =0.9 石垣市登野城 =0.5	24° 50.3' N	125° 24.0' E	48km	M: 5.1
98	22 23 35	宮古島近海 沖縄県 1 宮古島市平良狩俣 * =0.9 宮古島市平良西仲宗根 =0.7	24° 50.1' N	125° 24.5' E	49km	M: 3.2
99	23 12 36	岩手県内陸南部 岩手県 1 奥州市衣川区 * =1.1	39° 02.5' N	140° 55.6' E	7km	M: 3.0
100	24 11 21	日向灘 宮崎県 1 西都市上の宮 * =0.7	32° 01.9' N	131° 35.3' E	37km	M: 3.0
101	24 17 12	天草灘 長崎県 3 長崎市元町 * =2.8 長崎市長浦町 =2.6 時津町浦 * =2.5 2 雲仙市小浜町雲仙 =2.2 南島原市口之津町 * =2.2 長崎市南山手 =2.2 諫早市多良見町 * =2.1 平戸市志々伎町 * =2.0 長与町嬉里 * =2.0 南島原市加津佐町 * =2.0 雲仙市南串山町 * =1.9 南島原市西有家町 * =1.9 南島原市北有馬町 * =1.7 鹿町町下歌ヶ浦 * =1.6 南島原市有家町 * =1.6 長崎市神浦夏井町 * =1.6 佐々町本田原 * =1.6 大村市玖島 * =1.5 平戸市岩の上町 =1.5 諫早市東小路町 =1.5 雲仙市小浜町北本町 * =1.5 諫早市堂崎町 * =1.5 長崎市香焼町 * =1.5 1 平戸市田平町 * =1.4 長崎市野母町 * =1.4 長崎市高島町 * =1.4 佐世保市干尽町 =1.3 平戸市鏡川町 * =1.3 西海市大瀬戸町 * =1.2 松浦市志佐町 * =1.2 雲仙市千々石町 * =1.1 長崎市黒浜町 =1.1 雲仙市国見町 =1.0 佐世保市八幡町 * =0.9 諫早市飯盛町 * =0.9 西海市崎戸町 * =0.9 川棚町中組 * =0.8 諫早市森山町 * =0.8 佐世保市吉井町 * =0.7 佐世保市世知原町 * =0.6 雲仙市瑞穂町 * =0.6 島原市下折橋町 * =0.6 江迎町長坂 * =0.5 平戸市生月町 * =0.5 五島市岐宿町 * =0.5 熊本県 3 天草市天草町 * =2.6 天草市河浦町 * =2.6 2 天草市五和町 * =2.4 苓北町志岐 * =2.2 天草市東浜町 * =2.1 人吉市城本町 =2.0 水俣市牧ノ内 * =1.7 天草市新和町 * =1.7 上天草市大矢野町 =1.6 天草市牛深町 =1.6 1 水俣市陣内 * =1.3 上天草市姫戸町 * =1.3 天草市本町 =1.2 人吉市蟹作町 * =1.1 芦北町芦北 =1.0 上天草市松島町 * =0.9 宇土市浦田町 * =0.9 宇城市三角町 * =0.9 宇城市豊野町 * =0.9 熊本美里町永富 * =0.8 八代市坂本町 * =0.7 天草市有明町 * =0.7 熊本市東町 * =0.6 熊本市京町 =0.5 山都町浜町 * =0.5 天草市倉岳町 * =0.5 上天草市龍ヶ岳町 * =0.5 福岡県 1 みやま市瀬高町 * =0.9 八女市本町 * =0.7 柳川市大和町 * =0.7 柳川市三橋町 * =0.6 八女市吉田 * =0.6 大木町八町牟田 * =0.5 二丈町深江 * =0.5 佐賀県 1 伊万里市立花町 * =0.6 鹿児島県 1 長島町鷹巣 * =1.4 鹿児島出水市緑町 * =1.1 大口市鳥巣 * =1.1 薩摩川内市上甕町 * =1.1 さつま町宮之城保健センタ * =0.8 いちき串木野市緑町 * =0.6 阿久根市赤瀬川 =0.5 薩摩川内市中郷 =0.5 さつま町宮之城屋地 =0.5 薩摩川内市下甕町青瀬 =0.5	32° 34.6' N	129° 58.1' E	14km	M: 4.1
102	24 17 45	栃木県南部 群馬県 2 大泉町日の出 * =1.5 1 邑楽町中野 * =1.4 前橋市粕川町 * =1.3 桐生市新里町 * =1.2 館林市美園町 * =1.0 伊勢崎市西久保町 * =0.9 板倉町板倉 =0.9 群馬千代田町赤岩 * =0.9 桐生市黒保根町 * =0.8 伊勢崎市東町 * =0.8 群馬明和町新里 * =0.7 茨城県 1 石岡市柿岡 =1.1 五霞町小福田 * =0.9 筑西市舟生 =0.8 栃木県 1 市貝町市場 * =1.3 鹿沼市晃望台 * =1.2 宇都宮市明保野町 =1.1 佐野市中町 * =1.0 栃木二宮町石島 * =1.0 佐野市高砂町 * =1.0 大平町富田 * =0.9 日光市中宮祠 =0.9 小山市神鳥谷 * =0.9 佐野市田沼町 * =0.9 栃木市旭町 =0.5	36° 25.1' N	139° 46.7' E	88km	M: 3.7

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
103	24 22 43	埼玉県 1 久喜市下早見=-0.9 桶川市泉 *=0.9 行田市南河原 *=0.8 熊谷市宮町 *=0.7 熊谷市大里 *=0.7 川島町平沼 *=0.7 行田市本丸 *=0.6 久喜市青葉 *=0.6 北本市本町 *=0.5 滑川町福田 *=0.5	35° 14.8' N	137° 14.7' E	16km	M: 2.9
104	24 23 01	愛知県西部 岐阜県 1 八百津町八百津 *=0.6 愛知県 1 豊田市小原町 *=0.6	32° 08.6' N	131° 28.2' E	45km	M: 2.7
105	25 07 18	宮崎県北部平野部 宮崎県 2 西都市上の宮 *=1.5	34° 58.0' N	135° 26.6' E	9km	M: 2.6
106	25 21 02	大阪府北部 大阪府 1 豊能町余野 *=0.7	37° 15.5' N	136° 46.7' E	10km	M: 2.6
107	26 02 14	石川県能登地方 石川県 1 穴水町大町 *=0.5	41° 28.4' N	142° 01.2' E	64km	M: 3.7
108	26 02 47	青森県東方沖 青森県 1 東通村砂子又 *=1.0 東通村小田野沢 *=0.7 六ヶ所村尾駸=0.7 八戸市湊町=0.5	35° 51.5' N	137° 36.8' E	10km	M: 2.1
109	26 07 35	長野県南部 岐阜県 1 高山市高根町 *=0.5	41° 29.0' N	143° 30.5' E	60km	M: 4.3
110	26 13 59	十勝沖 北海道 1 浦河町潮見=1.4 浦河町築地 *=1.3 えりも町えりも岬 *=1.3 釧路市音別町直別 *=0.9 室蘭市寿町 *=0.6 青森県 1 青森南部町平 *=1.0 五戸町古館=0.6 八戸市湊町=0.5 岩手県 1 岩手洋野町大野 *=0.5	24° 44.5' N	125° 26.8' E	48km	M: 3.2
111	27 04 36	宮古島近海 沖縄県 1 宮古島市平良西仲宗根=0.5 宮古島市城辺福北=0.5	29° 35.1' N	130° 07.7' E	26km	M: 4.1
112	27 20 29	奄美大島北東沖 鹿児島県 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.9	35° 05.5' N	140° 23.4' E	64km	M: 3.5
113	28 22 38	千葉県南東沖 千葉県 1 大多喜町大多喜 *=1.4 館山市長須賀=1.2 鴨川市横渚 *=1.1 勝浦市新官 *=1.1 鴨川市八色=1.0 勝浦市墨名=0.9 いすみ市国府台 *=0.9 市原市姉崎 *=0.8 睦沢町下之郷 *=0.7 君津市久留里市場 *=0.5 東京都 1 伊豆大島町岡田 *=0.6	21° 59.1' N	143° 05.8' E	268km	M: 7.6
		丸森町鳥屋 *=2.0 1 大崎市鳴子 *=1.3 白石市巨理町 *=1.3 岩沼市桜 *=1.2 宮城美里町木間塚 *=1.1 石巻市門脇 *=1.1 登米市南方町 *=0.9 登米市迫町 *=0.9 大崎市古川三日町=0.9 大河原町新南 *=0.9 登米市登米町 *=0.8 栗原市若柳 *=0.7 栗原市金成 *=0.7 栗原市花山 *=0.7 大崎市松山 *=0.7 宮城加美町中新田 *=0.7 宮城加美町宮崎 *=0.7 蔵王町円田 *=0.7 登米市米山町 *=0.7 色麻町四竈 *=0.7 石巻市前谷地 *=0.6 宮城美里町北浦 *=0.6 大崎市岩出山 *=0.6 栗原市高清水 *=0.6 宮城川崎町前川 *=0.6 巨理町下小路 *=0.6 名取市増田 *=0.6 山元町浅生原 *=0.5 大崎市田尻 *=0.5 宮城加美町小野田 *=0.5 石巻市桃生町 *=0.5 東松島市矢本 *=0.5				
		山形県 2 中山町長崎 *=2.0 1 上山市河崎 *=1.4 河北町谷地=1.2 酒田市亀ヶ崎=1.2 米沢市林泉寺 *=1.0 遊佐町遊佐=1.0				
		福島県 2 猪苗代町千代田 *=1.9 南相馬市小高区 *=1.6 双葉町新山 *=1.5 郡山市湖南町 *=1.5 1 福島市松木町=1.4 猪苗代町城南=1.4 福島市桜木町 *=1.3 いわき市小名浜=1.2 いわき市錦町 *=1.1 浪江町幾世橋=1.0 須賀川市八幡山 *=1.0 郡山市朝日=0.9 南相馬市原町区高見町 *=0.9 福島広野町下北迫苗代替 *=0.7 浅川町浅川 *=0.6				
		茨城県 2 つくばみらい市加藤 *=1.7 取手市藤代 *=1.6 石岡市石岡 *=1.5 1 茨城町小堤 *=1.4 石岡市柿岡=1.3 筑西市舟生=1.2 坂東市岩井=1.1 つくば市天王台 *=0.9 利根町布川=0.8				
		埼玉県 2 宮代町笠原 *=2.0 大利根町北下新井 *=1.6 久喜市青葉 *=1.5 春日部市谷原新田 *=1.5 幸手市東 *=1.5 1 戸田市上戸田 *=1.3 さいたま大宮区天沼町 *=1.2 熊谷市大里 *=1.1 加須市下三俣 *=1.1 鳩ヶ谷市三ツ和 *=1.0 久喜市下早見=0.9 行田市南河原 *=0.8 川島町平沼 *=0.8 吉見町下細谷 *=0.6 毛呂山町岩井 *=0.6				
		千葉県 2 鋸南町下佐久間 *=1.6 館山市北条 *=1.6 浦安市猫実 *=1.5 館山市長須賀=1.5 1 鴨川市横渚 *=1.3 市原市姉崎 *=1.2 千葉中央区中央港=1.0 鴨川市八色=1.0 多古町多古=1.0 長生村本郷 *=0.9 君津市久留里市場 *=0.9 君津市久保 *=0.9 南房総市久枝 *=0.9				
		東京都 2 小笠原村母島=2.2 小笠原村父島三日月山=2.0 小笠原村父島西町=1.8 東京江戸川区船堀 *=1.5 1 東京江戸川区中央=1.3 東京千代田区大手町=1.1 東京江東区東陽 *=1.1 東京江東区亀戸 *=1.1 東京大田区東京国際空港=1.1 東京大田区本羽田 *=1.1 東京荒川区東尾久 *=1.0 東京足立区伊興 *=1.0 東京足立区神明南 *=1.0 東京北区赤羽南 *=0.9 東京荒川区荒川 *=0.9 東京葛飾区金町 *=0.9 東京中央区勝どき *=0.9 東京墨田区東向島 *=0.9 東京江東区森下 *=0.9 東京板橋区板橋 *=0.8 東京足立区千住 *=0.8 東京大田区多摩川 *=0.8 東京品川区平塚 *=0.6 東京大田区大森東 *=0.6				

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		東京品川区広町 * =0.5 町田市中町 * =0.5 伊豆大島町波浮港 * =0.5 神奈川県 2 神奈川二宮町中里 * =2.0 1 横浜中区山手町 * =1.2 横浜西区浜松町 * =1.1 横浜中区山手町 =1.1 海老名市大谷 * =1.1 横浜緑区白山町 * =1.0 中井町比奈窪 * =1.0 神奈川大井町金子 * =0.9 寒川町宮山 * =0.7 真鶴町真鶴 * =0.7 綾瀬市深谷 * =0.6 新潟県 2 南魚沼市六日町 =1.5 1 刈羽村割町新田 =1.2 秋田県 1 由利本荘市西目町沼田 * =0.5 横手市大雄 * =0.5 秋田美郷町飯詰 * =0.5 栃木県 1 日光市中宮祠 =1.1 真岡市田町 * =1.0 鹿沼市見望台 * =0.9 宇都宮市明保野町 =0.7 益子町益子 =0.6 群馬県 1 群馬明和町新里 * =1.1 桐生市黒保根町 * =0.7 片品村東小川 =0.6 群馬千代田町赤岩 * =0.6 長野県 1 諏訪市湖岸通り =1.2 長野南牧村海ノ口 * =1.0 佐久市中込 * =0.9 諏訪市高島 * =0.8 佐久市白田 * =0.7 飯綱町芋川 * =0.6 御代田町御代田 * =0.6 小諸市相生町 * =0.5 静岡県 1 伊豆の国市四日町 * =1.3 伊豆の国市長岡 * =0.9 静岡清水町堂庭 * =0.6 松崎町宮内 * =0.5 福岡県 1 大川市酒見 * =1.3 久留米市城島町 * =0.9 柳川市三橋町 * =0.8 柳川市本町 * =0.7 大木町八町牟田 * =0.7				
114	29 03 03	根室半島南東沖 北海道 1 根室市瑤瑤瑠 * =0.9 根室市牧の内 * =0.6	42° 53.6' N	146° 12.6' E	43km	M: 4.0
115	29 08 25	房総半島南方沖 東京都 1 八丈町三根 =1.3 御蔵島村 =1.2 八丈町大賀郷金土川 * =0.8 八丈町大賀郷西見 =0.6 三宅村坪田 =0.5	33° 59.3' N	140° 19.2' E	29km	M: 4.4
116	29 08 48	新潟県上中越沖 新潟県 1 小千谷市土川 * =1.1 柏崎市中央町 * =0.8 上越市大島区岡 * =0.7 柏崎市西山町池浦 =0.6 刈羽村割町新田 =0.5	37° 22.3' N	138° 30.2' E	21km	M: 3.0
117	29 09 18	大隅半島東方沖 鹿児島県 1 鹿屋市札元 * =0.8 大崎町仮宿 * =0.7	31° 26.8' N	131° 08.4' E	55km	M: 3.0
118	29 11 24	熊本県阿蘇地方 熊本県 2 南阿蘇村中松 =1.7 1 阿蘇市内牧 * =0.8	32° 55.4' N	131° 00.4' E	5km	M: 2.5
119	29 14 53	青森県東方沖 青森県 1 東通村砂子又 * =1.4 東通村小田野沢 * =1.1 八戸市湊町 =1.0 階上町道仏 * =1.0 野辺地町田狭沢 * =0.8 六ヶ所村尾駈 =0.7 野辺地町野辺地 * =0.5 岩手県 1 岩手洋野町大野 * =0.8	41° 28.5' N	142° 00.7' E	64km	M: 3.8
120	29 17 51	宮古島近海 沖縄県 2 宮古島市平良西仲宗根 =1.9 1 宮古島市平良狩俣 * =1.4 宮古島市平良西里 * =1.2 宮古島市平良下里 =1.1 宮古島市城辺福北 =0.8 宮古島市城辺福西 * =0.6	24° 49.4' N	125° 23.8' E	50km	M: 4.2
121	30 03 46	紀伊水道 和歌山県 1 和歌山市一番丁 * =1.4 和歌山市男野芝丁 =0.9 海南市下津 * =0.9 海南市日方 * =0.7 紀美野町下佐々 * =0.6 湯浅町湯浅 * =0.5	34° 10.3' N	135° 06.9' E	7km	M: 3.0
122	30 07 49	茨城県沖 福島県 1 田村市都路町 * =0.6 白河市新白河 * =0.6 栃木県 1 茂木町小井戸 * =0.7	36° 40.6' N	141° 19.3' E	48km	M: 3.8
123	30 11 11	沖縄本島近海 沖縄県 2 西原町嘉手苅 * =2.2 宜野湾市野嵩 * =2.1 1 那覇市樋川 =1.4 那覇市那覇空港 =1.4 那覇市港町 * =1.3 読谷村座喜味 =1.2 南風原町兼城 * =1.2 浦添市安波茶 * =1.1 北中城村喜舎場 * =1.1 与那原町上与那原 * =1.1 沖縄市仲宗根町 * =1.1 南城市玉城前川 =1.1 南城市玉城富里 * =1.1 うるま市みどり町 * =1.0 恩納村恩納 * =1.0 豊見城市翁長 * =1.0 南城市知念久手堅 * =0.9 本部町役場 * =0.7 嘉手納町嘉手納 * =0.6 北谷町桑江 * =0.6 宜野座村宜野座 * =0.5	26° 22.5' N	127° 42.5' E	20km	M: 3.6
124	30 19 05	岩手県内陸南部 岩手県 1 一関市千厩町 * =1.1 岩手洋野町大野 * =0.9 一関市室根町 * =0.7 宮城県 1 気仙沼市赤岩 =0.5	39° 22.7' N	141° 34.0' E	111km	M: 3.6
125	30 19 46	石川県能登地方 石川県 1 輪島市門前町走出 =0.9 輪島市鳳至町 =0.6 穴水町大町 * =0.6	37° 17.8' N	136° 45.6' E	9km	M: 2.8
126	30 23 46	福島県会津 福島県 1 柳津町大成沢 =0.5	37° 25.5' N	139° 41.6' E	4km	M: 2.1

付表 2 . 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
 <平成 18 年（2006 年）9 月～平成 19 年（2007 年）9 月>

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
2007年 9月	99	21	6							126	
2007年 8月	107	35	23	4	1					170	平成19年(2007年)新潟県中越沖地震の余震 (震度3:1回、震度2:5回、震度1:13回) 九十九里浜付近の地震活動 (震度5弱:1回、震度4:3回、 震度3:7回、震度2:7回、震度1:10回)
2007年 7月	169	83	24	7			1	1		285	平成19年(2007年)新潟県中越沖地震とその余震 (震度6強:1回、震度6弱:1回、 震度4:5回、震度3:11回、 震度2:49回、震度1:71回) 伊豆大島近海(震度3:5回、 震度2:6回、震度1:25回)
2007年 6月	126	47	13	9						195	大分県中部(震度4:3回、震度3:6回、 震度2:16回、震度1:39回) 平成19年(2007年)能登半島地震の余震 (震度4:1回、震度3:1回、 震度2:3回、震度1:6回)
2007年 5月	92	37	10	3						142	平成19年(2007年)能登半島地震の余震 (震度4:1回、震度2:9回、 震度1:20回)
2007年 4月	135	47	23	7		1				213	15日 三重県中部(震度5強) 平成19年(2007年)能登半島地震の余震 (震度4:1回、震度3:7回、 震度2:20回、震度1:66回)
2007年 3月	280	105	35	8	3			1		432	平成19年(2007年)能登半島地震とその余震 (震度6強:1回、震度5弱:3回、 震度4:6回、震度3:25回、 震度2:74回、震度1:213回)
2007年 2月	62	21	3	1						87	
2007年 1月	63	28	10	1						102	新島・神津島近海 (震度2:3回、震度1:11回)
2006年12月	82	46	14	3						145	新島・神津島近海(震度4:1回、 震度3:6回、震度2:12回、 震度1:14回)
2006年11月	98	22	11	4						135	新島・神津島近海 (震度3:2回、震度2:2回、 震度1:8回)
2006年10月	73	23	5	1						102	
2006年 9月	64	21	11	1						97	
2007年計	1133	424	147	40	4	1	1	2		1752	(平成19年1月～平成19年9月)
過去1年計	1386	515	177	48	4	1	1	2		2134	(平成18年10月～平成19年9月)

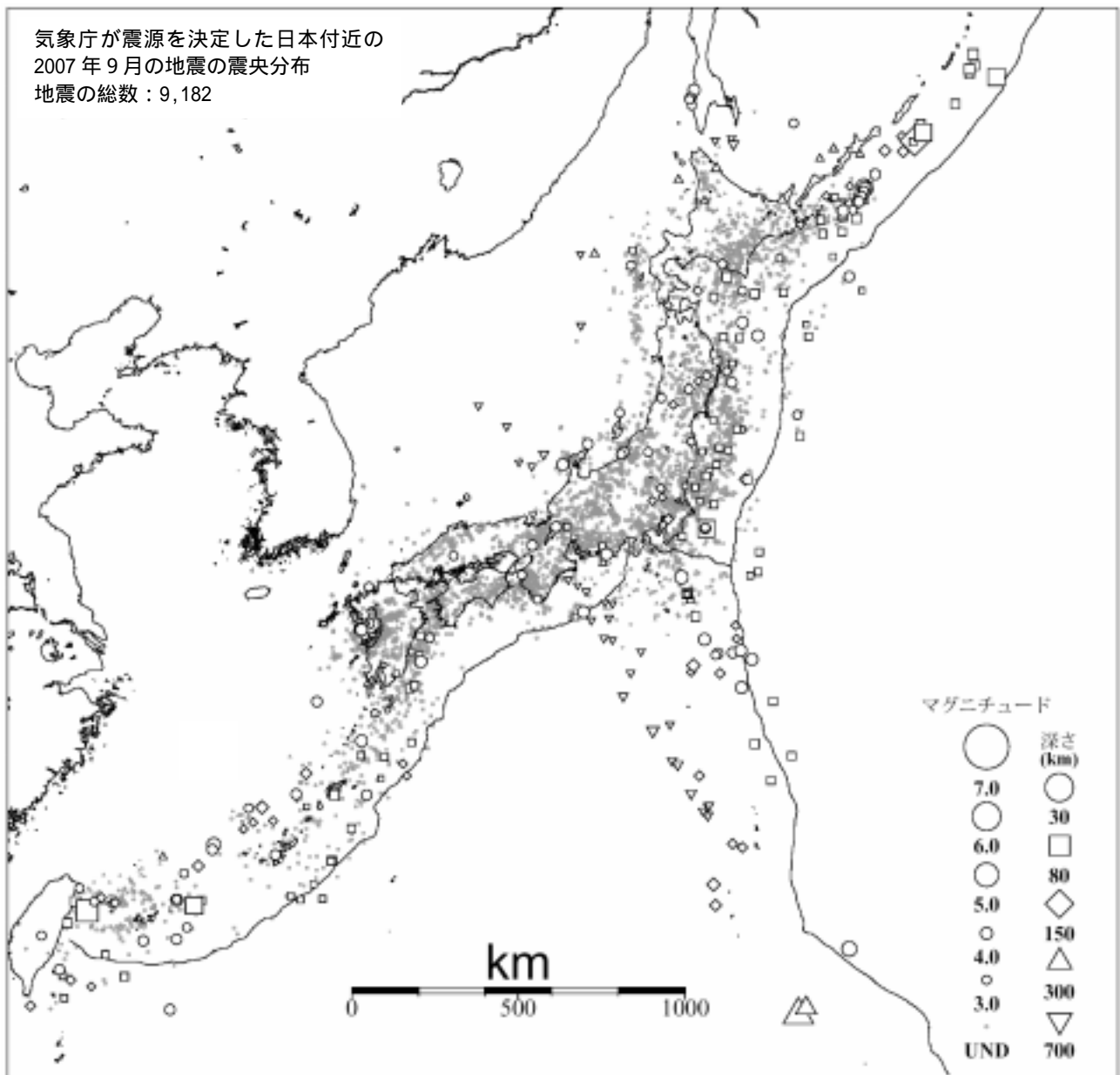
注) 「記事」欄の「*」は関連の地震で震度1以上を観測した地震の回数。「記事」欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。
 地方公共団体等の震度計による震度の発表開始年月日。
 平成9(1997)年11月10日 秋田県、埼玉県、横浜市(神奈川県)、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、山口県
 平成10(1998)年6月15日 群馬県、福井県、静岡県、三重県、島根県、愛媛県
 10月15日 青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、
 宮崎県、鹿児島県
 平成11(1999)年7月21日 東京都、長野県
 平成12(2000)年1月12日 栃木県、千葉県、岐阜県、名古屋市(愛知県)
 3月28日 滋賀県
 7月18日 富山県、香川県、大分県
 平成13(2001)年3月22日 佐賀県 5月10日 山梨県、川崎市(神奈川県)
 7月19日 高知県 12月12日 福島県
 平成14(2002)年3月20日 岩手県、宮城県、神奈川県、福岡県、仙台市(宮城県)
 7月29日 北海道、長崎県
 平成15(2003)年3月10日 沖縄県
 平成16(2004)年5月26日 独立行政法人防災科学技術研究所

付表3 日本及びその周辺におけるマグニチュード(M)別の月別地震回数
 <平成18年(2006年)9月~平成19年(2007年)9月>

	M3.0 ~ M3.9	M4.0 ~ M4.9	M5.0 ~ M5.9	M6.0 ~ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0以上	計 M4.0以上	記事
2007年9月	224	52	4	2	1	283	59	4日:千島列島(M6.3) 7日:台湾付近(M6.6) 28日:マリアナ諸島(M7.6)
2007年8月	404	104	18	3		529	125	1日:沖縄本島北西沖(M6.1) 2日:サハリン西方沖(M6.4) 7日:沖縄本島北西沖(M6.3)
2007年7月	349	76	14	3		442	93	9日:千島列島東方(M6.2) 16日:平成19年(2007年)新潟県中越沖地震(M6.8) 16日:京都府沖(M6.7) 平成19年(2007年)新潟県中越沖地震の余震活動 (M3.0~3.9:88回、M4.0~4.9:12回、 M5.0~5.9:1回)
2007年6月	268	70	11			349	81	
2007年5月	264	70	11			345	81	平成19年(2007年)能登半島地震の余震活動 (M3.0~3.9:20回、M4.0~4.9:3回)
2007年4月	374	110	33	3		520	146	20日:宮古島北西沖(M6.3,M6.7,M6.1) 平成19年(2007年)能登半島地震の余震活動 (M3.0~3.9:55回、M4.0~4.9:8回)
2007年3月	474	106	13	3		596	122	8日:鳥島近海(M6.0) 9日:日本海北部(M6.2) 25日:平成19年(2007年)能登半島地震(M6.9) 平成19年(2007年)能登半島地震の余震活動 (M3.0~3.9:231回、M4.0~4.9:29回、 M5.0~5.9:3回)
2007年2月	233	57	9	1		300	67	17日:十勝沖(M6.2)
2007年1月	244	113	24	2	2	385	141	13日:千島列島東方(M8.2) 14日:千島列島東方(M6.5) 25日:台湾付近(M6.1) 31日:マリアナ諸島(M7.1)
2006年12月	274	107	26	2	1	410	136	8日:千島列島東方(M6.4) 26日:台湾付近(M6.9、M7.2)
2006年11月	254	76	42	3	1	376	122	15日:千島列島東方(M7.9、M6.6) 16日:千島列島東方(M6.1) 18日:奄美大島近海(M6.0)
2006年10月	254	75	19	7		355	101	1日:千島列島東方(M6.8、M6.6) 9日:台湾南方沖(M6.1) 11日:福島県沖(M6.0) 12日:与那国島近海(M6.2) 13日:千島列島東方(M6.3) 24日:鳥島近海(M6.8)
2006年9月	268	62	10	1		341	73	28日:千島列島東方(M6.0)
2007年計	2834	758	137	17	3	3749	915	(平成19年1月~平成19年9月)
過去1年計	3616	1016	224	29	5	4890	1274	(平成18年10月~平成19年9月)

注)日本及びその周辺:原則、北緯20~49度、東経120~154度の範囲。「記事」欄には主にM6.0以上の地震について記載した。

気象庁が震源を決定した日本付近の
2007年9月の地震の震央分布
地震の総数：9,182



M3.0以上の地震の震央を白抜きで示す。